

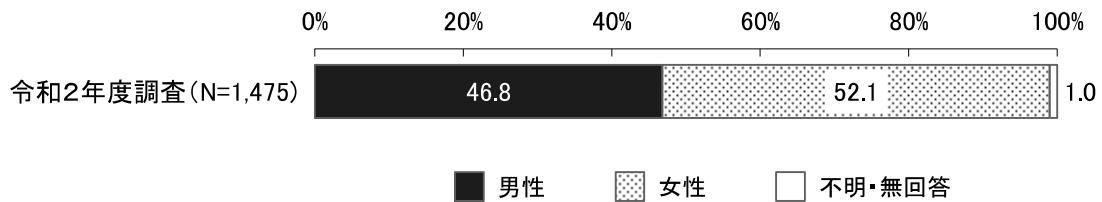
## III. 調査結果

### 1 回答者について

問1 あなたの性別を教えてください。(どちらかの番号に○)

※自認する性別をお答えください。

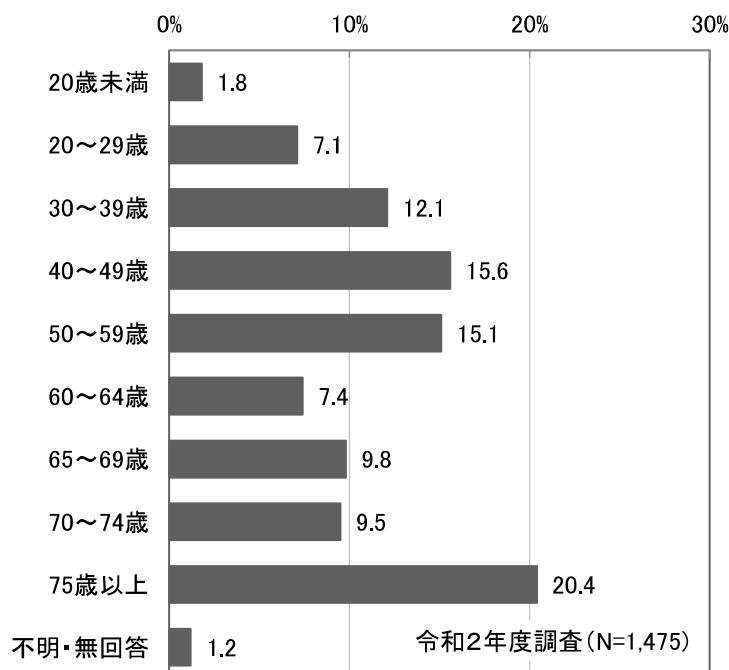
令和2年度調査では、全体で「男性」が46.8%、「女性」が52.1%となってています。



問2 あなたの年齢を教えてください。(令和2年9月1日現在の満年齢)

(1つの番号に○)

令和2年度調査では、全体で「75歳以上」が20.4%と最も高く、次いで「40~49歳」が15.6%、「50~59歳」が15.1%となっています。

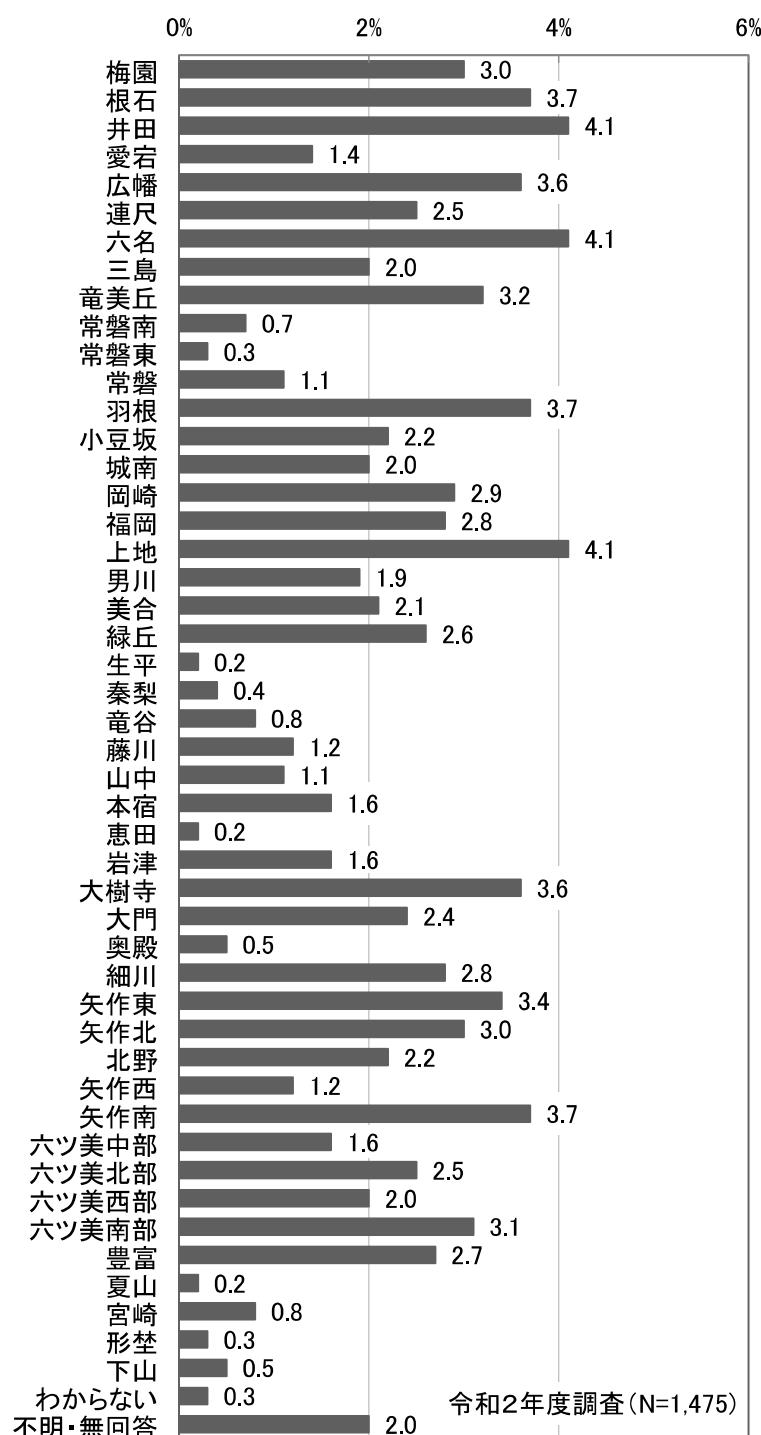


問3 あなたのお住まいの小学校区はどちらですか。(1つの番号に○)

小学校区がわからない方は、お住まいの町名をお書きください。

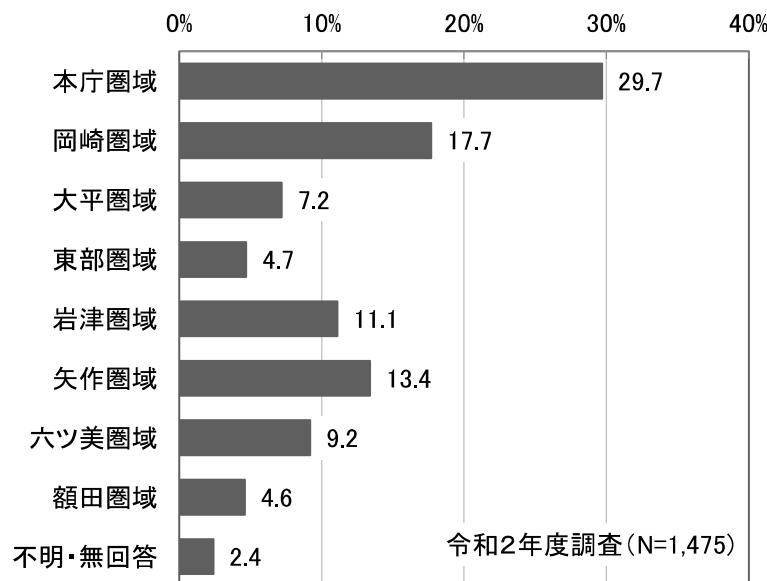
令和2年度調査では、全体で「井田」「六名」「上地」がそれぞれ 4.1%と最も高く、次いで「根石」「羽根」「矢作南」がそれぞれ 3.7%、「広幡」「大樹寺」がそれぞれ 3.6%となっていま

す。



## ■お住まいの日常生活圏域※の状況

お住まいの日常生活圏域の状況について、令和2年度調査では、全体で「本庁圏域」が29.7%と最も高く、次いで「岡崎圏域」が17.7%、「矢作圏域」が13.4%となっています。

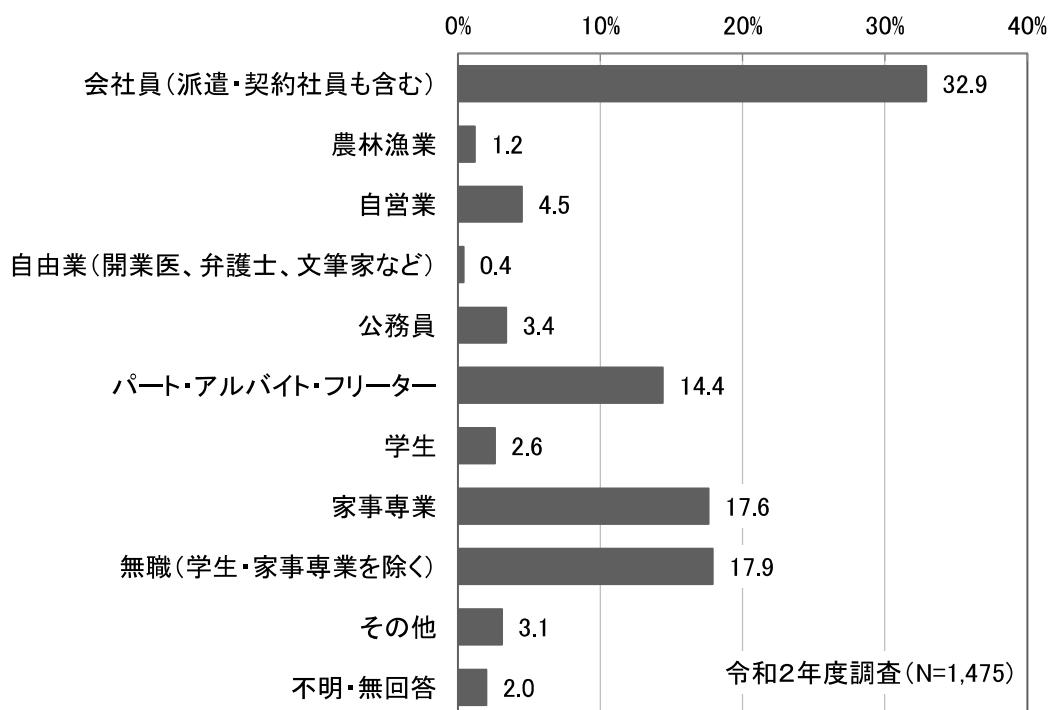


※岡崎市では、地域においてあらゆる支援を包括的、継続的に提供することができるよう、8つの日常生活圏域を設定しています。各日常生活圏域に該当する小学校区は以下のとおりです。

日常生活圏域	小学校区
本庁圏域	梅園、根石、井田、愛宕、広幡、連尺、六名、三島、竜美丘、常磐南、常磐東、常磐
岡崎圏域	羽根、小豆坂、城南、岡崎、福岡、上地
大平圏域	男川、美合、緑丘、生平、秦梨
東部圏域	竜谷、藤川、山中、本宿
岩津圏域	恵田、岩津、大樹寺、大門、奥殿、細川
矢作圏域	矢作東、矢作北、北野、矢作西、矢作南
六ツ美圏域	六ツ美中部、六ツ美北部、六ツ美西部、六ツ美南部
額田圏域	豊富、夏山、宮崎、形埜、下山

#### 問4 あなたの主な職業について伺います。(1つの番号に○)

令和2年度調査では、全体で「会社員（派遣・契約社員も含む）」が32.9%と最も高く、次いで「無職（学生・家事専業を除く）」が17.9%、「家事専業」が17.6%となっています。

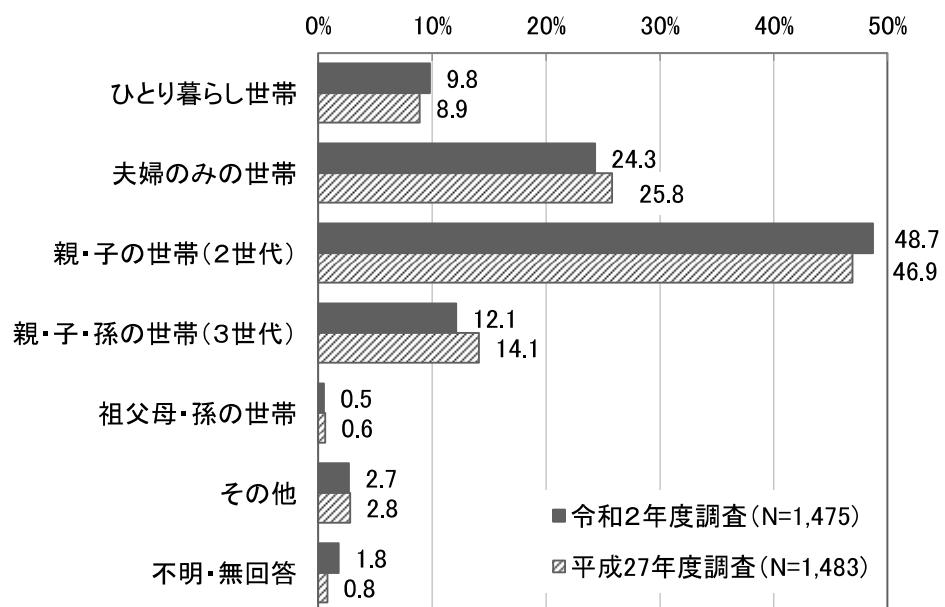


## 問5 あなたの世帯の家族構成を教えてください。(1つの番号に○)

令和2年度調査では、全体で「親・子・孫の世帯（2世代）」が48.7%と最も高く、次いで「夫婦のみの世帯」が24.3%、「親・子・孫の世帯（3世代）」が12.1%となっています。

圏域別では、いずれの圏域でも「親・子の世帯（2世代）」が最も高く、岡崎、岩津及び六ツ美の各圏域では5割を超えています。なお、本庁、矢作及び額田の各圏域では、「ひとり暮らし世帯」が1割を超えて高くなっています。

経年で比較すると、「親・子・孫の世帯（3世代）」が令和2年度調査に12.1%と、平成27年度調査と比べて2.0ポイント低くなっています。



## ■クロス集計集

(単位 : %)

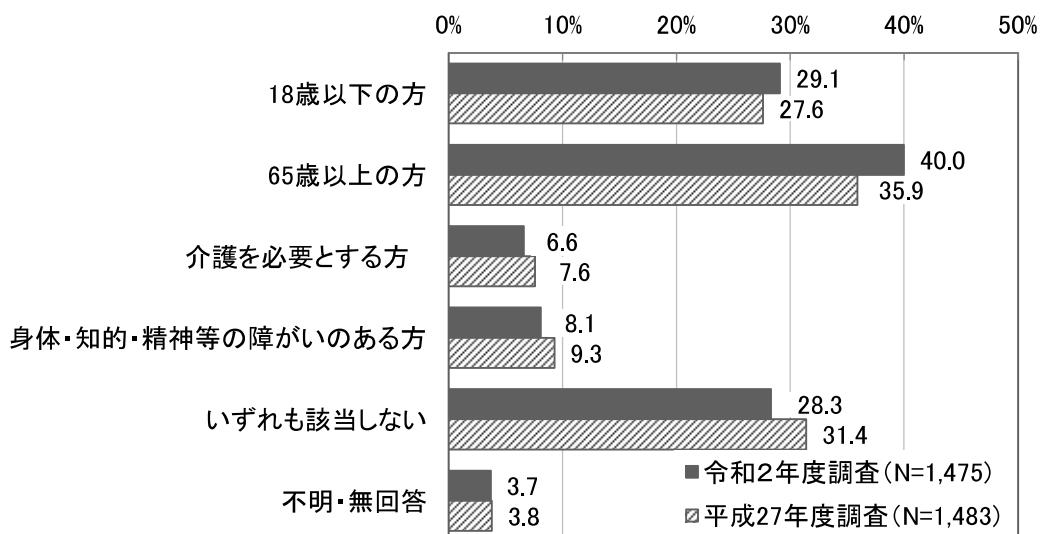
区分		ひとり暮らし世帯	夫婦のみの世帯	親・子の世帯（2世代）	親・子・孫の世帯（3世代）	祖父母・孫の世帯	その他	不明・無回答
圏域別	本庁圏域 (N=438)	11.9	<b>25.1</b>	<b>46.6</b>	12.3	0.5	3.0	0.7
	岡崎圏域 (N=261)	8.0	<b>25.7</b>	<b>52.5</b>	10.7	1.1	1.5	0.4
	大平圏域 (N=106)	9.4	<b>24.5</b>	<b>47.2</b>	17.0	0.0	1.9	0.0
	東部圏域 (N=69)	8.7	<b>29.0</b>	<b>42.0</b>	13.0	1.4	4.3	1.4
	岩津圏域 (N=164)	7.3	<b>20.7</b>	<b>57.3</b>	11.0	0.0	2.4	1.2
	矢作圏域 (N=198)	10.1	<b>20.7</b>	<b>49.5</b>	13.6	1.0	5.1	0.0
	六ツ美圏域 (N=136)	6.6	<b>27.9</b>	<b>55.1</b>	9.6	0.0	0.0	0.7
	額田圏域 (N=68)	11.8	<b>23.5</b>	<b>39.7</b>	17.6	0.0	4.4	2.9

問6 あなた自身、もしくはあなたが同居している家族の中に、次のような方はいますか。

(令和2年9月1日現在で記入してください) (あてはまるすべての番号に○)

令和2年度調査では、全体で「65歳以上の方」が40.0%と最も高く、次いで「18歳以下の方」が29.1%、「いずれも該当しない」が28.3%となっています。

経年で比較すると、「65歳以上の方」が令和2年度調査に40.0%と、平成27年度調査と比べて4.1ポイント高くなっています。

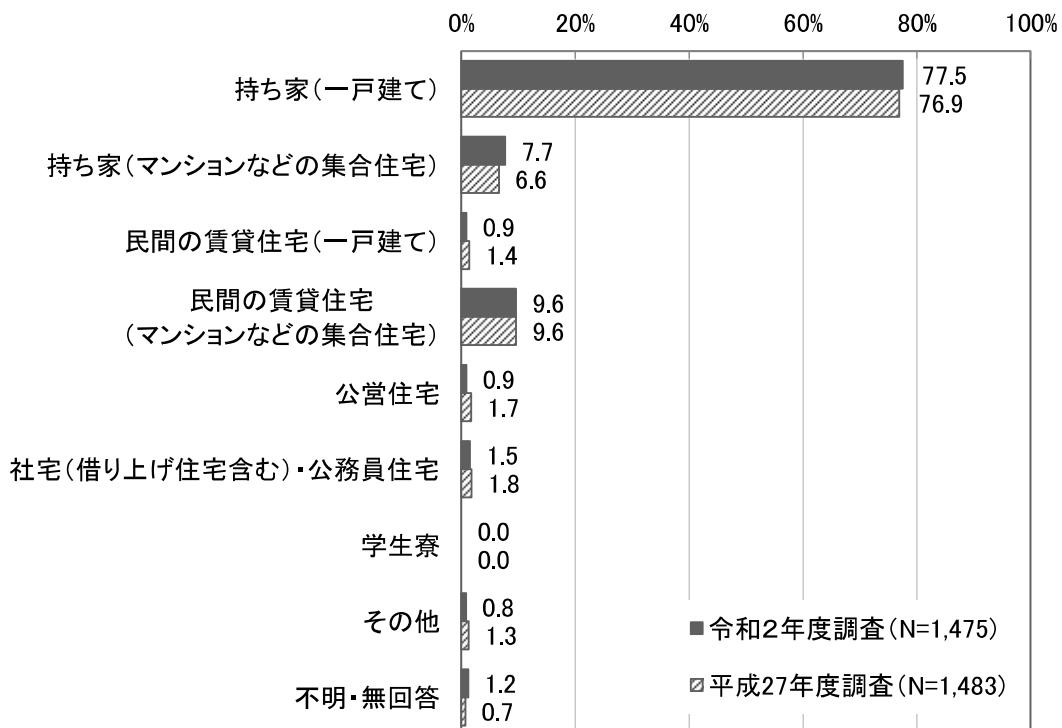


※選択肢について、令和2年度調査は「18歳以下の方」「身体・知的・精神等の障がいのある方」「いずれも該当しない」となっていますが、平成27年度調査は「高校生以下の子ども」「障がいのある方」「いずれもいない」です。

## 問7 あなたのお住まいの形態は次のどれですか。(1つの番号に○)

令和2年度調査では、全体で「持ち家(一戸建て)」が77.5%と最も高く、次いで「民間の賃貸住宅(マンションなどの集合住宅)」が9.6%、「持ち家(マンションなどの集合住宅)」が7.7%となっています。

経年で比較すると、「持ち家(マンションなどの集合住宅)」が令和2年度調査に7.7%と、平成27年度調査と比べて1.1ポイント高くなっています。

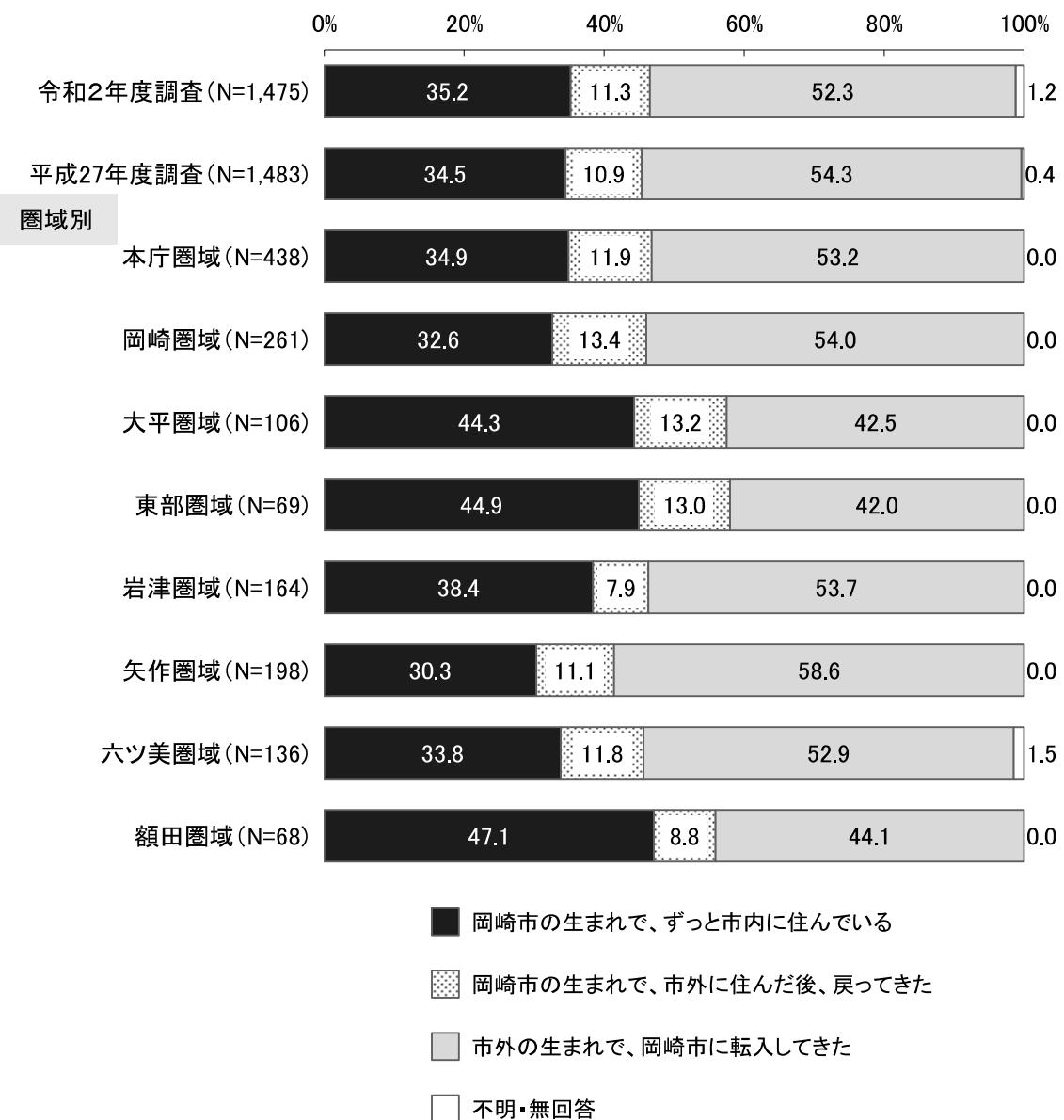


## 問8 あなたの居住歴は次のどれですか。(1つの番号に○)

令和2年度調査では、全体で「岡崎市の生まれで、ずっと市内に住んでいる」が35.2%、「岡崎市の生まれで、市外に住んだ後、戻ってきた」が11.3%、「市外の生まれで、岡崎市に転入してきた」が52.3%となっています。

圏域別では、大平、東部及び額田の各圏域で「岡崎市の生まれで、ずっと市内に住んでいる」が4割を超えて高くなっています。

経年で比較すると、大差はみられません。



## 問9 あなたと福祉との関わりは次のどれですか。(あてはまるすべての番号に○)

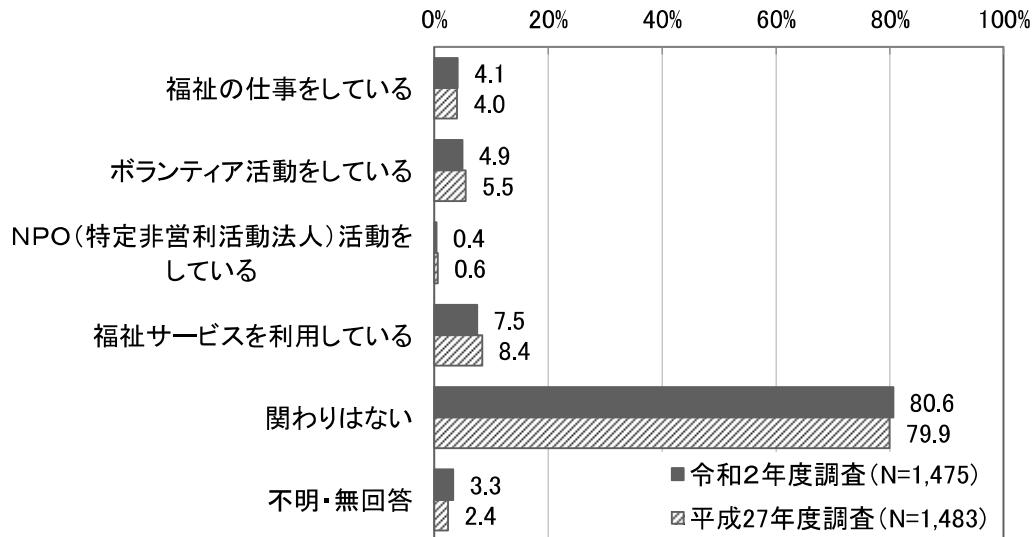
令和2年度調査では、全体で「関わりはない」が80.6%と最も高く、次いで「福祉サービスを利用している」が7.5%、「ボランティア活動をしている」が4.9%となっています。

年齢区分別では、70～74歳で「ボランティア活動をしている」が12.1%と、他の年代と比べて高くなっています。なお、いずれの年代でも「関わりはない」が7割を超えています。

圏域別では、東部及び額田の各圏域で「福祉サービスを利用している」が1割を超えていま

す。

経年で比較すると、大差はみられません。



## ■クロス集計集

(単位：%)

区分		福祉の仕事をしている	ボランティア活動をしている	NPO（特定非営利活動法人）活動をしている	福祉サービスを利用している	関わりはない	不明・無回答
年齢区分別	20歳未満 (N=26)	0.0	<b>3.8</b>	0.0	0.0	<b>96.2</b>	0.0
	20～29歳 (N=105)	<b>4.8</b>	3.8	1.0	2.9	<b>87.6</b>	0.0
	30～39歳 (N=179)	<b>8.9</b>	1.7	0.0	3.4	<b>86.0</b>	1.1
	40～49歳 (N=230)	4.8	3.0	0.9	<b>5.2</b>	<b>87.0</b>	0.4
	50～59歳 (N=222)	3.6	5.4	1.4	<b>6.3</b>	<b>83.3</b>	1.4
	60～64歳 (N=109)	3.7	4.6	0.0	<b>7.3</b>	<b>85.3</b>	0.0
	65～69歳 (N=145)	4.8	<b>7.6</b>	0.0	6.2	<b>81.4</b>	0.7
	70～74歳 (N=140)	4.3	<b>12.1</b>	0.0	8.6	<b>72.9</b>	2.9
	75歳以上 (N=301)	1.3	4.0	0.0	<b>15.6</b>	<b>72.1</b>	7.3
圏域別	本庁圏域 (N=438)	2.7	3.7	0.5	<b>8.4</b>	<b>83.3</b>	1.8
	岡崎圏域 (N=261)	4.2	4.2	0.4	<b>6.9</b>	<b>82.8</b>	2.7
	大平圏域 (N=106)	5.7	<b>6.6</b>	0.0	4.7	<b>81.1</b>	2.8
	東部圏域 (N=69)	7.2	5.8	0.0	<b>14.5</b>	<b>69.6</b>	2.9
	岩津圏域 (N=164)	3.0	4.9	0.0	<b>6.7</b>	<b>84.1</b>	2.4
	矢作圏域 (N=198)	5.1	<b>7.6</b>	0.0	6.6	<b>80.3</b>	1.5
	六ツ美圏域 (N=136)	<b>5.1</b>	3.7	0.7	<b>5.1</b>	<b>85.3</b>	0.7
	額田圏域 (N=68)	7.4	8.8	2.9	<b>11.8</b>	<b>67.6</b>	2.9

## 2 地域生活に関することについて

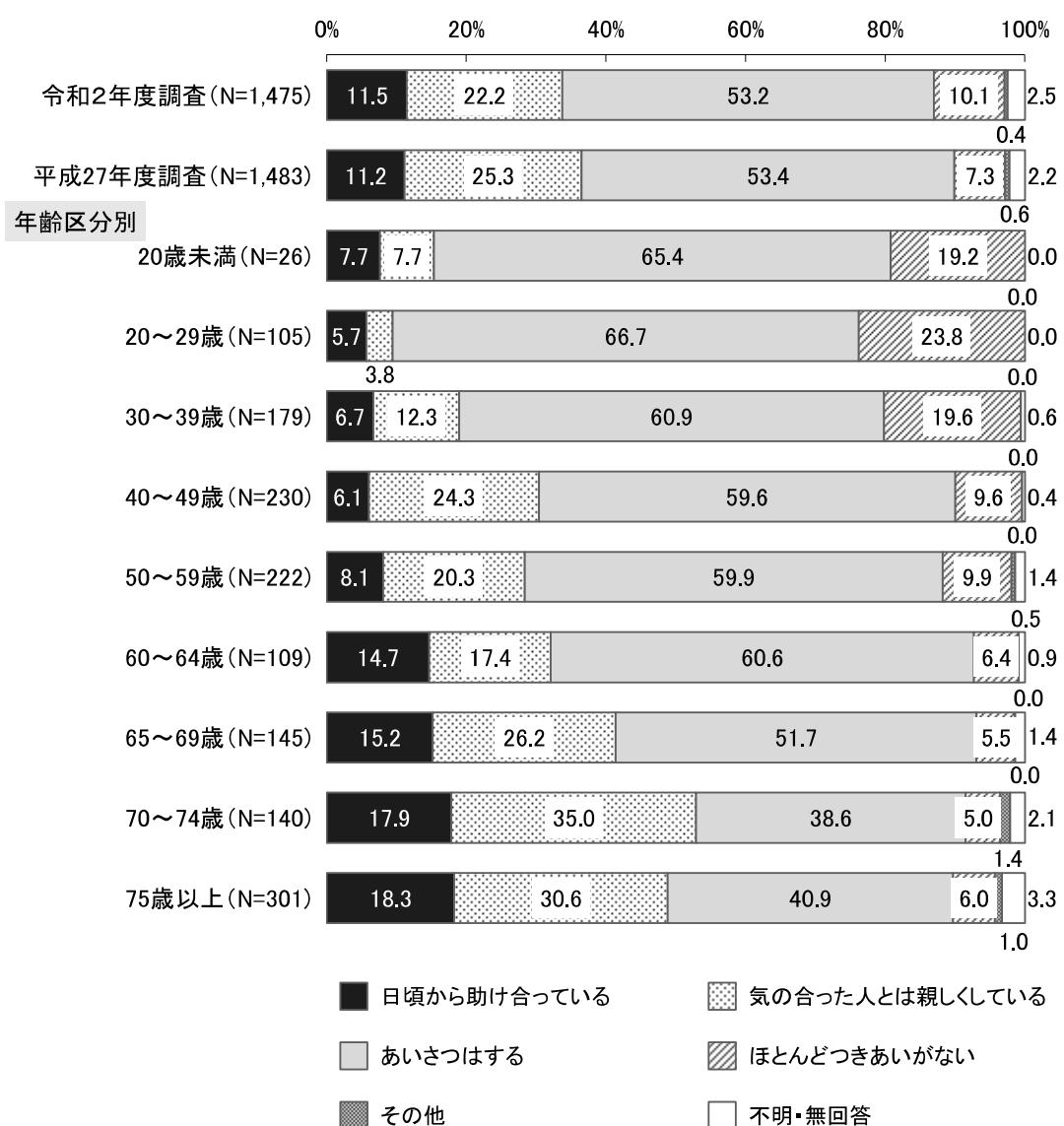
### 問10 近隣の人とは、どの程度つきあいをしていますか。(1つの番号に○)

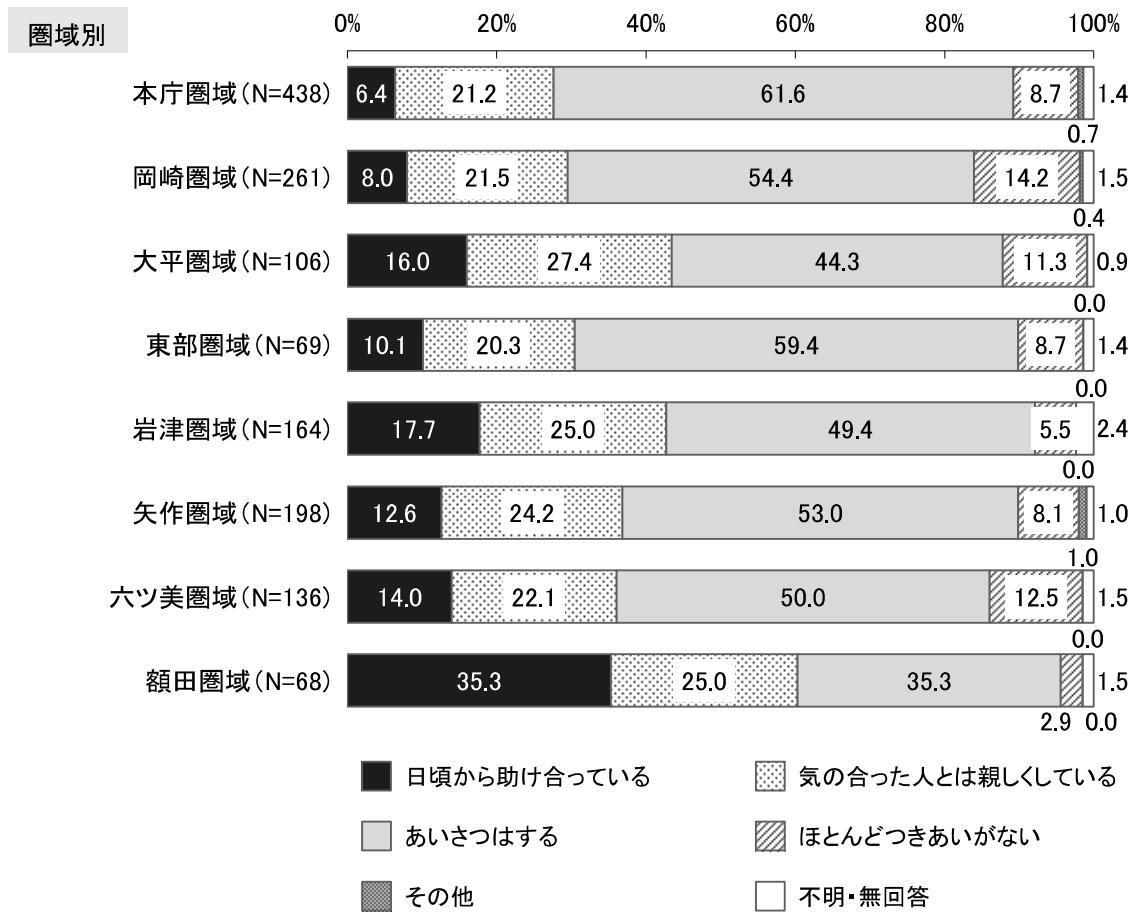
令和2年度調査では、全体で「あいさつはする」が53.2%と最も高く、次いで「気の合った人とは親しくしている」が22.2%、「日頃から助け合っている」が11.5%となっています。

年齢区分別では、20歳未満、20～29歳及び30～39歳で「ほとんどつきあいがない」が他の年代と比べて高くなっています。なお、70～74歳及び75歳以上で「気の合った人とは親しくしている」が3割を超えていました。

圏域別では、額田圏域で「日頃から助け合っている」が35.3%と、他の圏域と比べて高くなっています。

経年で比較すると、「気の合った人とは親しくしている」が令和2年度調査に22.2%と、平成27年度調査と比べて3.1ポイント低くなっています。一方、「ほとんどつきあいがない」が令和2年度調査に10.1%と、平成27年度調査と比べて2.8ポイント高くなっています。





## 問11 近隣の人とのつきあいに満足していますか。（1つの番号に○）

本設問の選択肢は、以下のとおり合算して表記しています。

『満足している』…「満足している」と「まあまあ満足している」の合算

『満足していない』…「あまり満足していない」と「満足していない」の合算

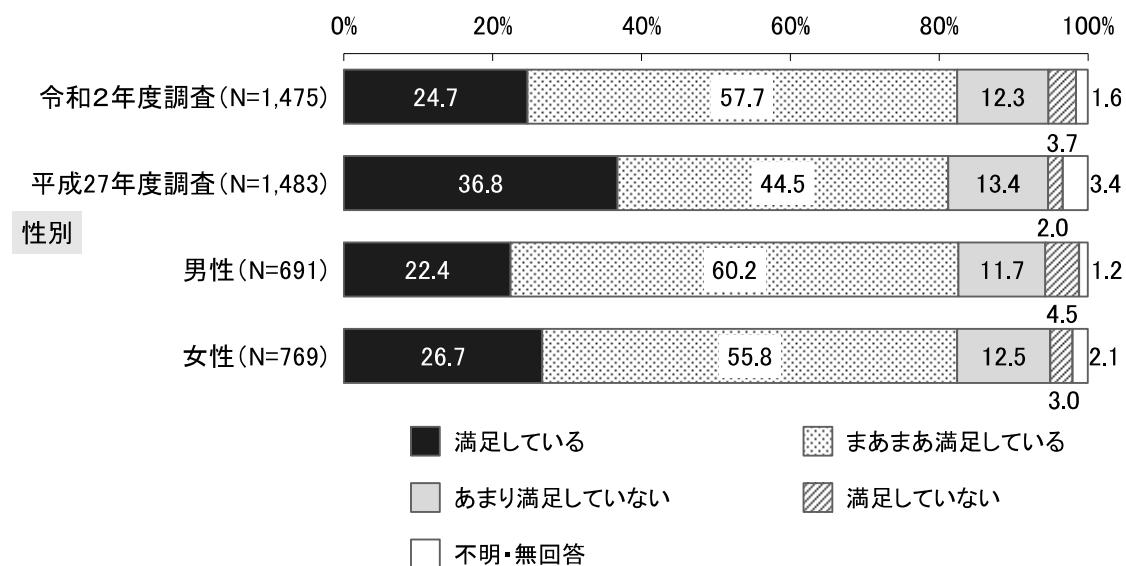
令和2年度調査では、全体で『満足している』が82.4%、『満足していない』が16.0%となっています。

性別では、男性で『満足していない』が16.2%と、女性と比べて0.7ポイント高くなっています。

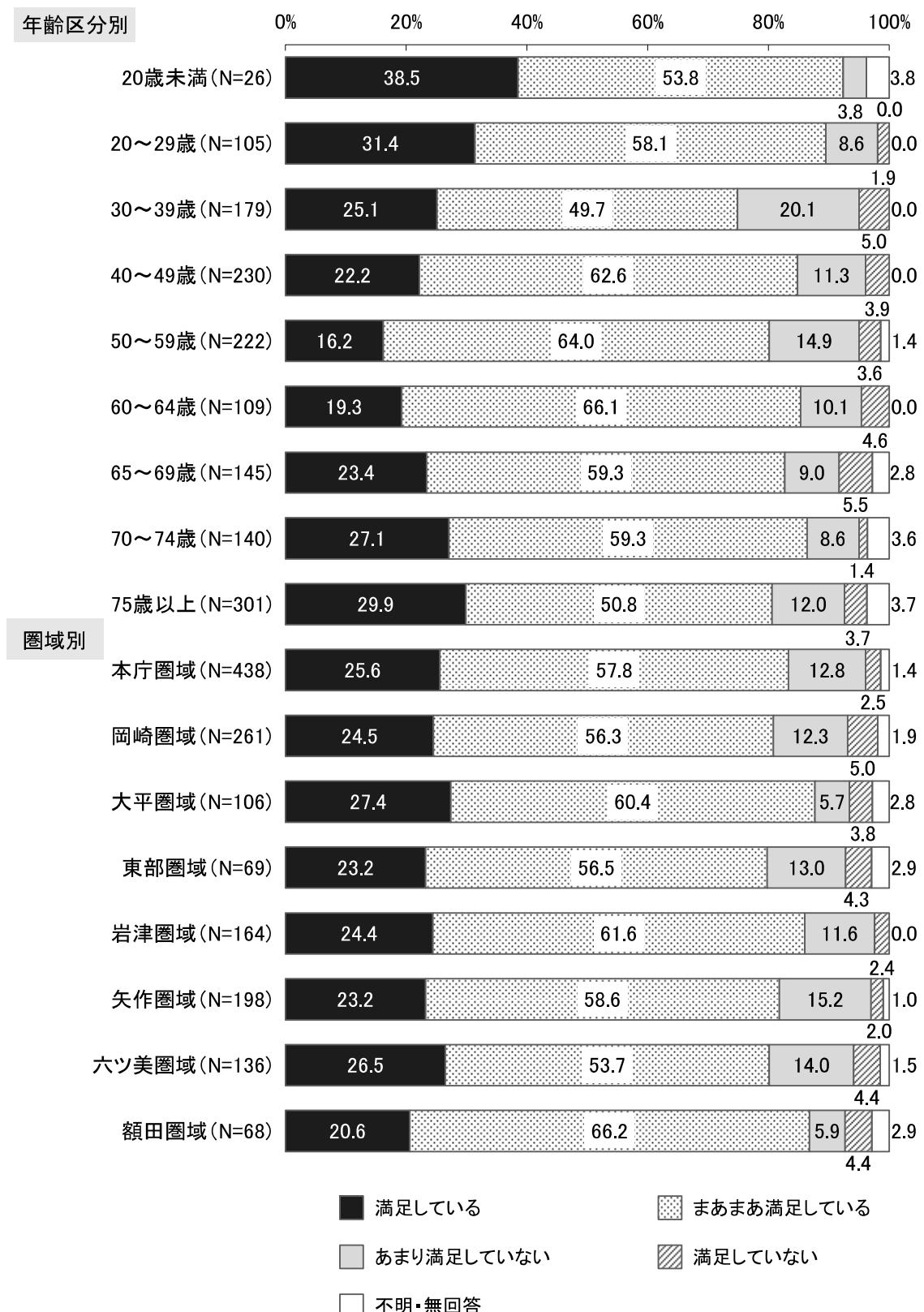
年齢区別では、30～39歳で『満足していない』が25.1%と、他の年代と比べて高くなっています。

圏域別では、大平及び額田の各圏域で『満足していない』が1割前後と、他の圏域と比べて低くなっています。

経年で比較すると、『満足している』が令和2年度調査に82.4%と、平成27年度調査と比べて1.1ポイント高くなっています。



※選択肢について、令和2年度調査は「満足している」「まあまあ満足している」「あまり満足していない」「満足していない」となっていますが、平成27年度調査は「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」です。

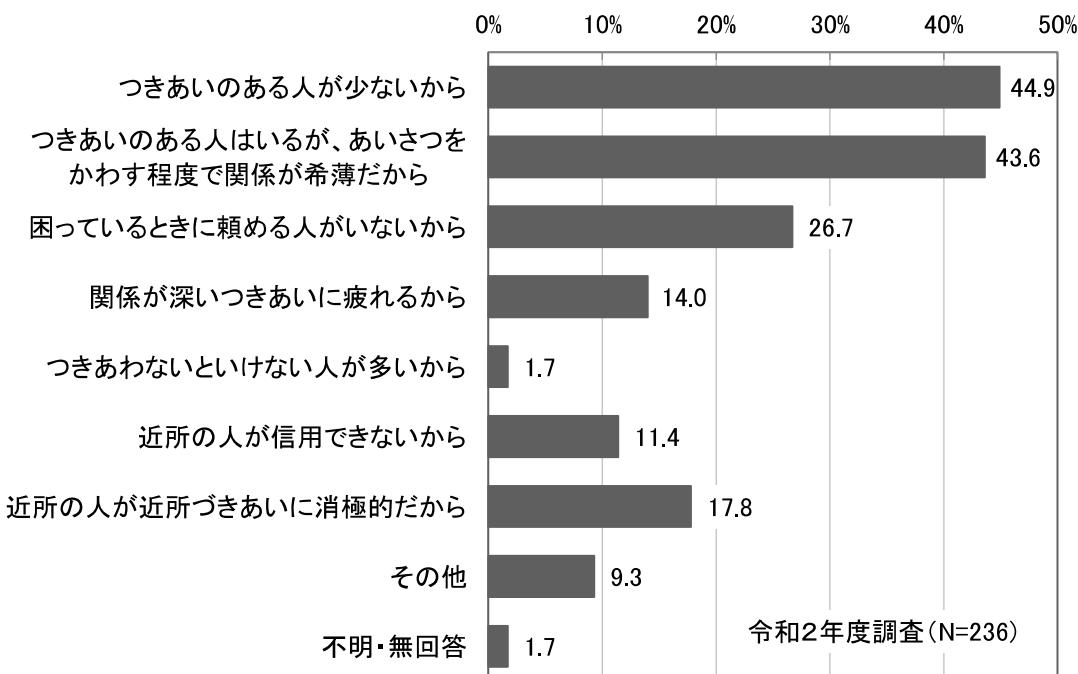


※選択肢について、令和2年度調査は「満足している」「まあまあ満足している」「あまり満足していない」「満足していない」となっていますが、平成27年度調査は「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」です。

<問11で、「3. あまり満足していない」または「4. 満足していない」と回答した方に伺います>

問11-1 満足していない理由は何ですか。(あてはまるすべての番号に○)

令和2年度調査では、全体で「つきあいのある人が少ないから」が44.9%と最も高く、次いで「つきあいのある人はいるが、あいさつをかわす程度で関係が希薄だから」が43.6%、「困っているときに頼める人がいないから」が26.7%となっています。



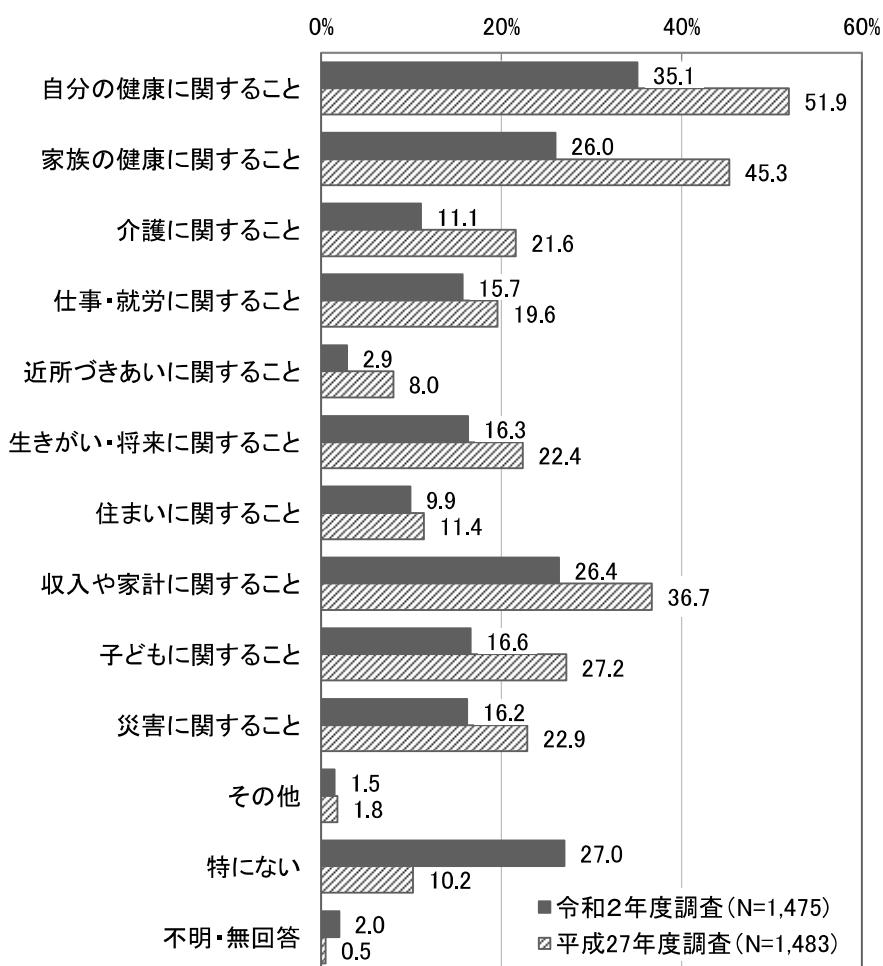
## 問12 あなたは現在、日常生活において、主にどのような困りごとを抱えていますか。 (あてはまるすべての番号に○)

令和2年度調査では、全体で「自分の健康に関すること」が35.1%と最も高く、次いで「特になし」が27.0%、「収入や家計に関するこ」が26.4%となっています。

年齢区分別では、20~29歳で「仕事・就労に関するこ」が39.0%と、他の年代と比べて高くなっています。なお、50歳以上で「自分の健康に関するこ」が3割を超えて高くなっています。

圏域別では、額田圏域で「自分の健康に関するこ」が47.1%と、他の圏域と比べて高くなっています。なお、東部及び額田の各圏域で、「家族の健康に関するこ」が3割を超えて高くなっています。

経年で比較すると、「家族の健康に関するこ」が令和2年度調査に26.0%と、平成27年度調査と比べて19.3ポイント、「自分の健康に関するこ」が令和2年度調査に35.1%と、平成27年度調査と比べて16.8ポイント、「子どもに関するこ」が令和2年度調査に16.6%と、平成27年度調査と比べて10.6ポイント、「介護に関するこ」が令和2年度調査に11.1%と、平成27年度調査と比べて10.5ポイント、「収入や家計に関するこ」が令和2年度調査に26.4%と、平成27年度調査と比べて10.3ポイント低くなっています。一方、「特になし」が令和2年度調査に27.0%と、平成27年度調査と比べて16.8ポイント高くなっています。



## ■クロス集計集

(単位 : %)

区分		自分の健康に関すること	家族の健康に関すること	介護に関すること	仕事・就労に関すること	近所づきあいに関すること	生きがい・将来に関すること	住まいに関すること	収入や家計に関すること	子どもに関すること	災害に関すること	その他	特になし	不明・無回答
年齢区分別	20歳未満 (N=26)	11.5	7.7	3.8	15.4	0.0	23.1	3.8	7.7	0.0	7.7	3.8	42.3	0.0
	20～29歳 (N=105)	28.6	21.0	2.9	39.0	1.0	35.2	11.4	37.1	10.5	8.6	1.9	25.7	0.0
	30～39歳 (N=179)	20.1	20.1	2.2	26.8	3.9	18.4	12.8	38.5	35.2	16.2	1.7	25.1	0.6
	40～49歳 (N=230)	25.2	24.8	13.0	25.2	3.5	22.2	12.6	39.6	29.1	18.3	0.9	25.2	0.9
	50～59歳 (N=222)	38.7	29.3	14.0	21.6	5.0	21.2	9.0	32.0	20.7	20.3	1.8	18.9	0.9
	60～64歳 (N=109)	43.1	31.2	10.1	14.7	2.8	15.6	11.0	26.6	20.2	21.1	0.9	23.9	0.0
	65～69歳 (N=145)	38.6	32.4	7.6	4.8	2.1	10.3	10.3	22.1	9.7	15.2	1.4	26.9	4.1
	70～74歳 (N=140)	42.9	31.4	10.0	0.7	2.9	10.7	7.1	10.7	5.7	17.9	1.4	35.0	2.1
	75歳以上 (N=301)	45.8	24.6	17.9	2.0	2.0	6.0	7.0	12.0	4.0	13.3	1.7	31.6	5.3
圏域別	本庁圏域 (N=438)	34.9	24.9	11.2	14.6	1.8	15.5	11.0	27.9	15.5	14.4	0.9	26.7	1.1
	岡崎圏域 (N=261)	37.2	27.2	9.6	15.3	3.4	17.6	11.1	26.4	17.2	17.2	2.3	26.4	1.1
	大平圏域 (N=106)	34.9	25.5	11.3	17.9	1.9	24.5	8.5	32.1	17.9	8.5	0.9	28.3	3.8
	東部圏域 (N=69)	31.9	31.9	11.6	14.5	2.9	15.9	7.2	18.8	20.3	15.9	1.4	26.1	4.3
	岩津圏域 (N=164)	34.8	24.4	12.2	14.6	4.3	17.1	7.3	25.0	12.2	15.9	1.2	32.3	3.0
	矢作圏域 (N=198)	36.4	25.8	10.6	14.6	3.0	10.6	11.6	25.8	19.7	18.7	1.0	22.7	2.0
	六ツ美圏域 (N=136)	27.9	25.0	8.8	17.6	3.7	18.4	6.6	24.3	20.6	20.6	2.2	31.6	0.7
	額田圏域 (N=68)	47.1	30.9	17.6	20.6	4.4	13.2	7.4	23.5	10.3	19.1	2.9	20.6	5.9

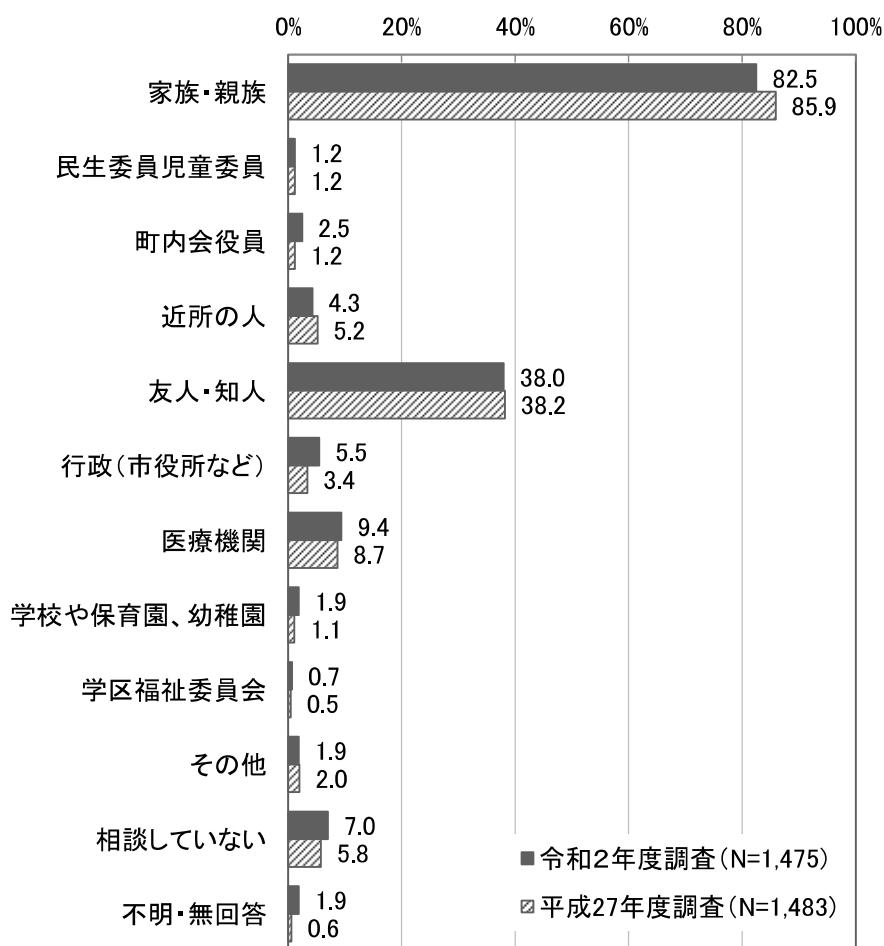
問13 あなたは困ったことがあるとき、誰に相談していますか。  
(あてはまるすべての番号に○)

令和2年度調査では、全体で「家族・親族」が82.5%と最も高く、次いで「友人・知人」が38.0%、「医療機関」が9.4%となっています。

年齢区分別では、いずれの年代でも「家族・親戚」が最も高く、次いで「友人・知人」となっています。なお、20歳未満及び20～29歳では「友人・知人」が6割を超えて高くなっています。

圏域別では、いずれの圏域でも「家族・親戚」が最も高く、次いで「友人・知人」となっています。なお、本庁及び六ツ美の各圏域で「医療機関」が、額田圏域で「近所の人」「医療機関」「相談していない」がそれぞれ1割以上となっています。

経年で比較すると、「家族・親戚」が令和2年度調査に82.5%と、平成27年度調査と比べて3.4ポイント低くなっています。



## ■クロス集計集

(単位 : %)

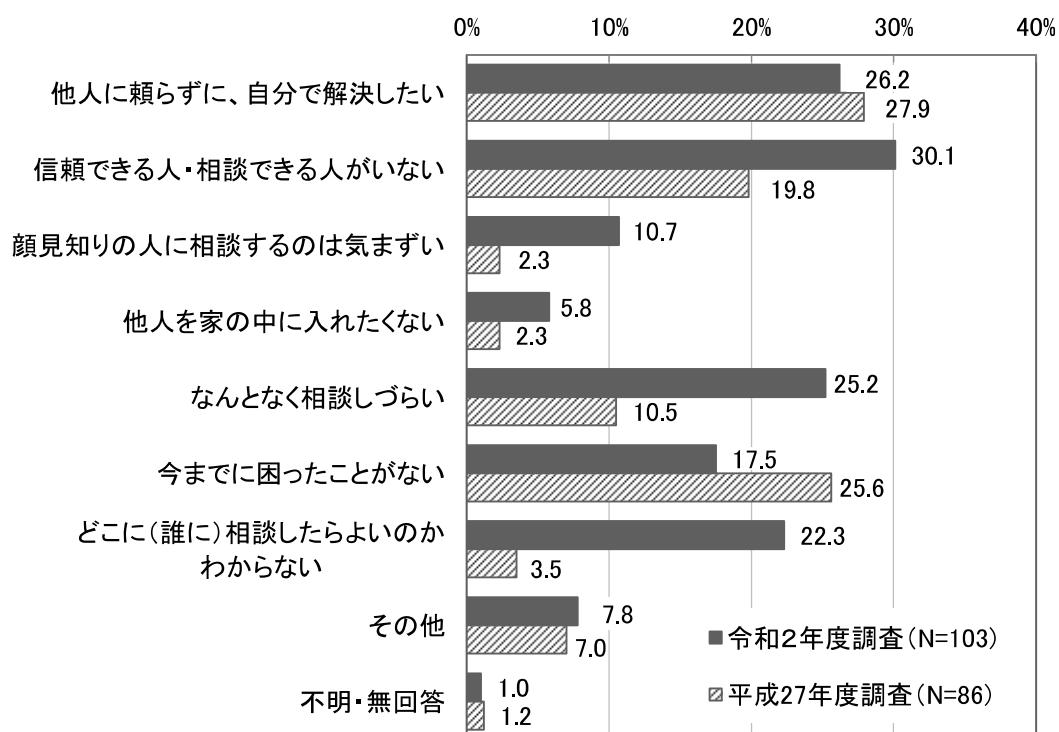
区分		家族 ・親族	民生委員 児童委員	町内会役員	近所の 人	友人 ・知人	行政 (市役所など)	医療機 関	学校や保育園、幼稚園	学区福祉委員会	その他	相談してい ない	不明 ・無回答
年齢区分別	20歳未満 (N=26)	76.9	0.0	0.0	0.0	65.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0
	20~29歳 (N=105)	85.7	0.0	0.0	0.0	68.6	3.8	6.7	1.0	0.0	2.9	3.8	0.0
	30~39歳 (N=179)	86.0	0.6	0.6	2.8	52.0	5.0	6.7	6.1	0.0	1.7	6.1	0.0
	40~49歳 (N=230)	85.2	0.9	0.9	3.0	40.4	6.1	9.1	5.2	0.4	1.3	10.4	0.4
	50~59歳 (N=222)	83.3	0.5	1.8	3.2	41.9	4.1	8.6	1.4	0.5	2.7	9.5	0.9
	60~64歳 (N=109)	79.8	0.0	4.6	5.5	39.4	2.8	10.1	0.0	0.0	0.9	9.2	0.0
	65~69歳 (N=145)	80.0	0.0	2.8	9.0	33.8	11.0	11.0	0.7	0.7	2.8	5.5	2.8
	70~74歳 (N=140)	80.7	2.9	4.3	5.7	30.7	6.4	11.4	0.0	0.0	0.7	5.0	4.3
圏域別	75歳以上 (N=301)	79.4	3.3	5.0	5.6	16.6	5.6	11.6	0.0	2.3	2.3	5.6	4.7
	本庁圏域 (N=438)	82.9	0.7	2.3	3.2	37.0	5.3	10.0	2.3	0.7	2.5	6.8	0.7
	岡崎圏域 (N=261)	84.7	1.1	2.3	3.8	36.4	4.6	9.2	2.7	0.4	1.1	5.7	2.3
	大平圏域 (N=106)	75.5	2.8	1.9	5.7	39.6	6.6	6.6	1.9	0.9	0.9	9.4	4.7
	東部圏域 (N=69)	85.5	0.0	0.0	2.9	40.6	7.2	8.7	0.0	1.4	0.0	2.9	4.3
	岩津圏域 (N=164)	81.7	2.4	3.0	3.7	34.8	7.3	7.9	0.6	0.6	1.2	7.9	1.8
	矢作圏域 (N=198)	82.3	0.5	2.5	6.6	42.4	5.6	9.1	1.0	0.0	2.0	8.6	1.5
	六ツ美圏域 (N=136)	85.3	1.5	2.9	2.9	41.2	4.4	11.8	3.7	1.5	2.9	4.4	0.7
	額田圏域 (N=68)	79.4	1.5	4.4	10.3	35.3	2.9	10.3	1.5	0.0	1.5	10.3	4.4

<問13で、「11.相談していない」と回答した方に伺います>

問13-1 なぜ、相談していないのですか。(あてはまるすべての番号に○)

令和2年度調査では、全体で「信頼できる人・相談できる人がいない」が30.1%と最も高く、次いで「他人に頼らずに、自分で解決したい」が26.2%、「なんとなく相談しづらい」が25.2%となっています。

経年で比較すると、「どこに（誰に）相談したらよいのかわからない」が令和2年度調査に22.3%と、平成27年度調査と比べて18.8ポイント、「なんとなく相談しづらい」が令和2年度調査に25.2%と、平成27年度調査と比べて14.7ポイント、「信頼できる人・相談できる人がいない」が令和2年度調査に30.1%と、平成27年度調査と比べて10.3ポイント高くなっています。



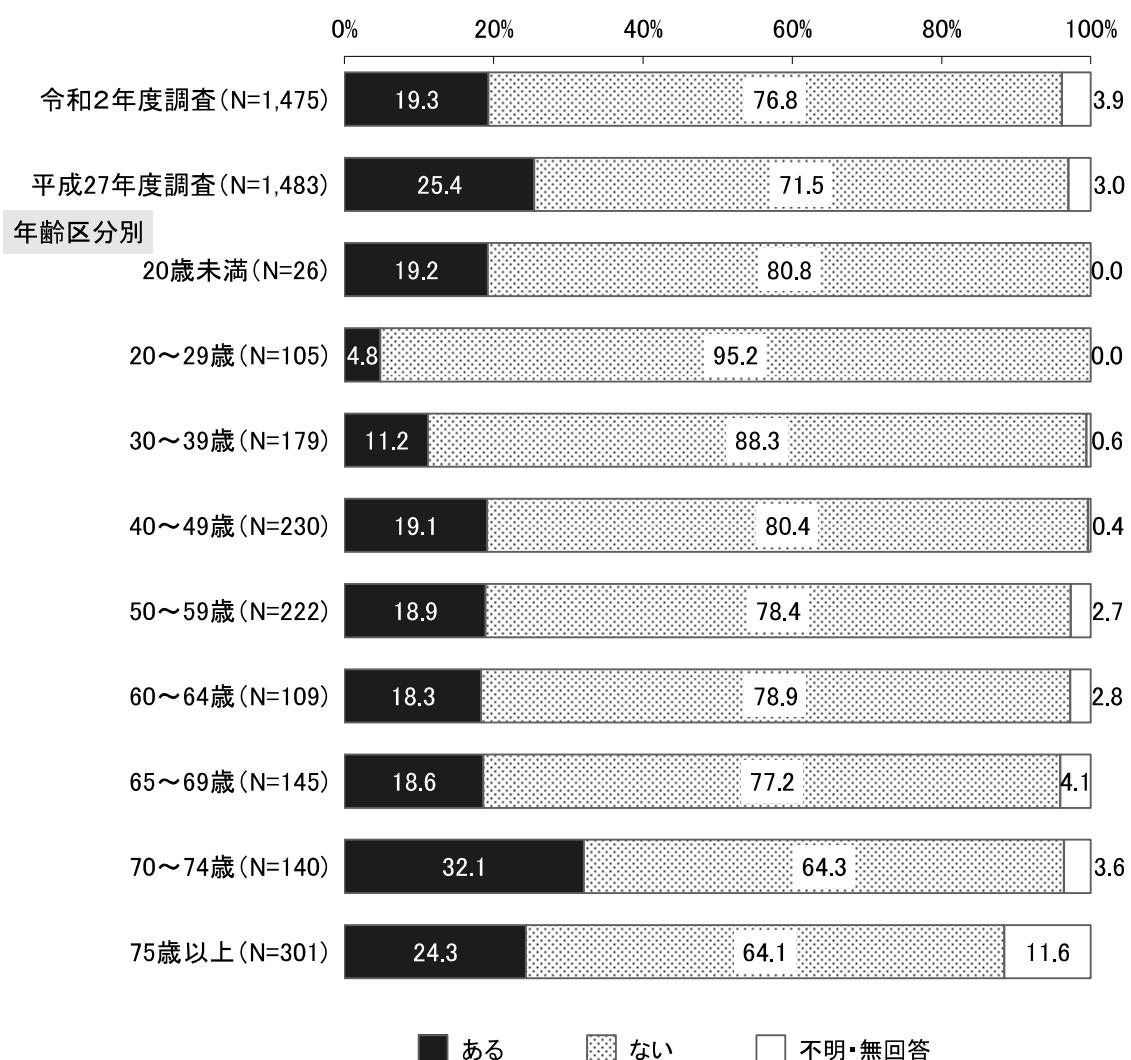
#### 問14 あなたは、近所の人からちょっとしたことを頼まれ、何かお手伝いをしたことありますか。(1つの番号に○)

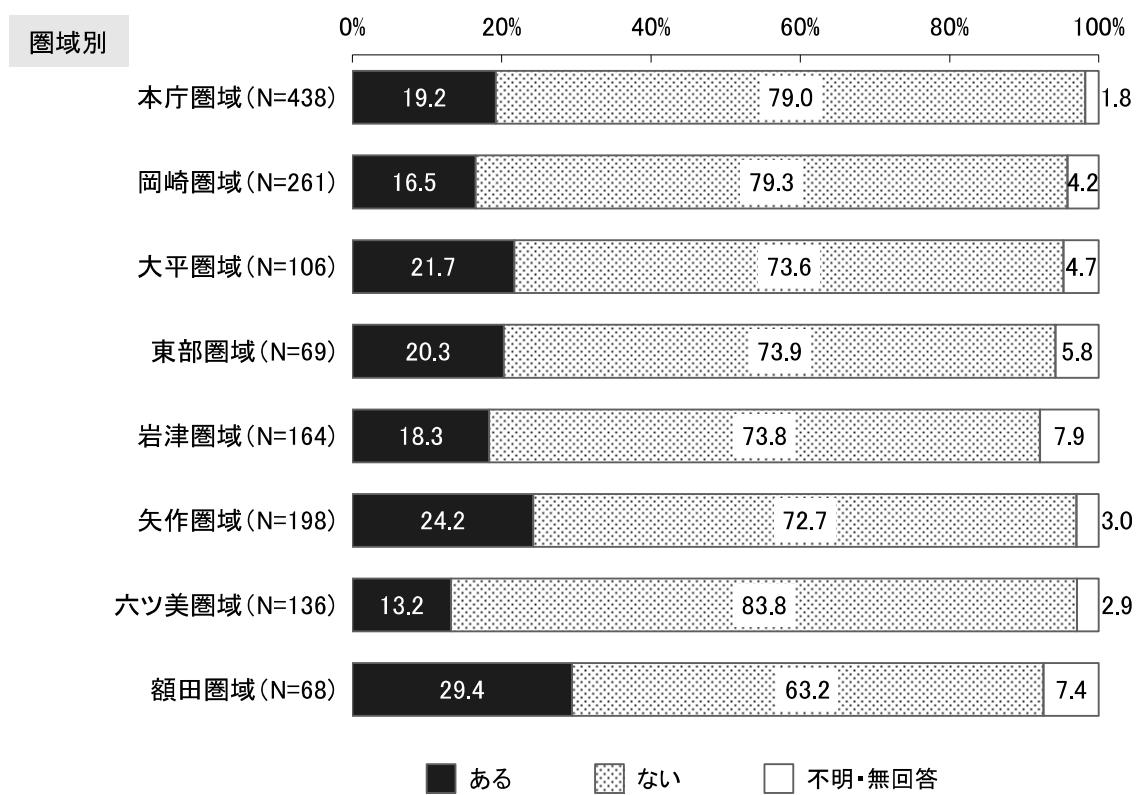
令和2年度調査では、全体で「ある」が19.3%、「ない」が76.8%となっています。

年齢区分別では、20~29歳で「ある」が4.8%と、他の年代と比べて低くなっています。なお、いずれの年代でも「ない」が6割を超えてます。

圏域別では、額田圏域で「ある」が29.4%と、他の圏域と比べて高くなっています。

経年で比較すると、「ある」が令和2年度調査に19.3%と、平成27年度調査と比べて6.1ポイント低くなっています。



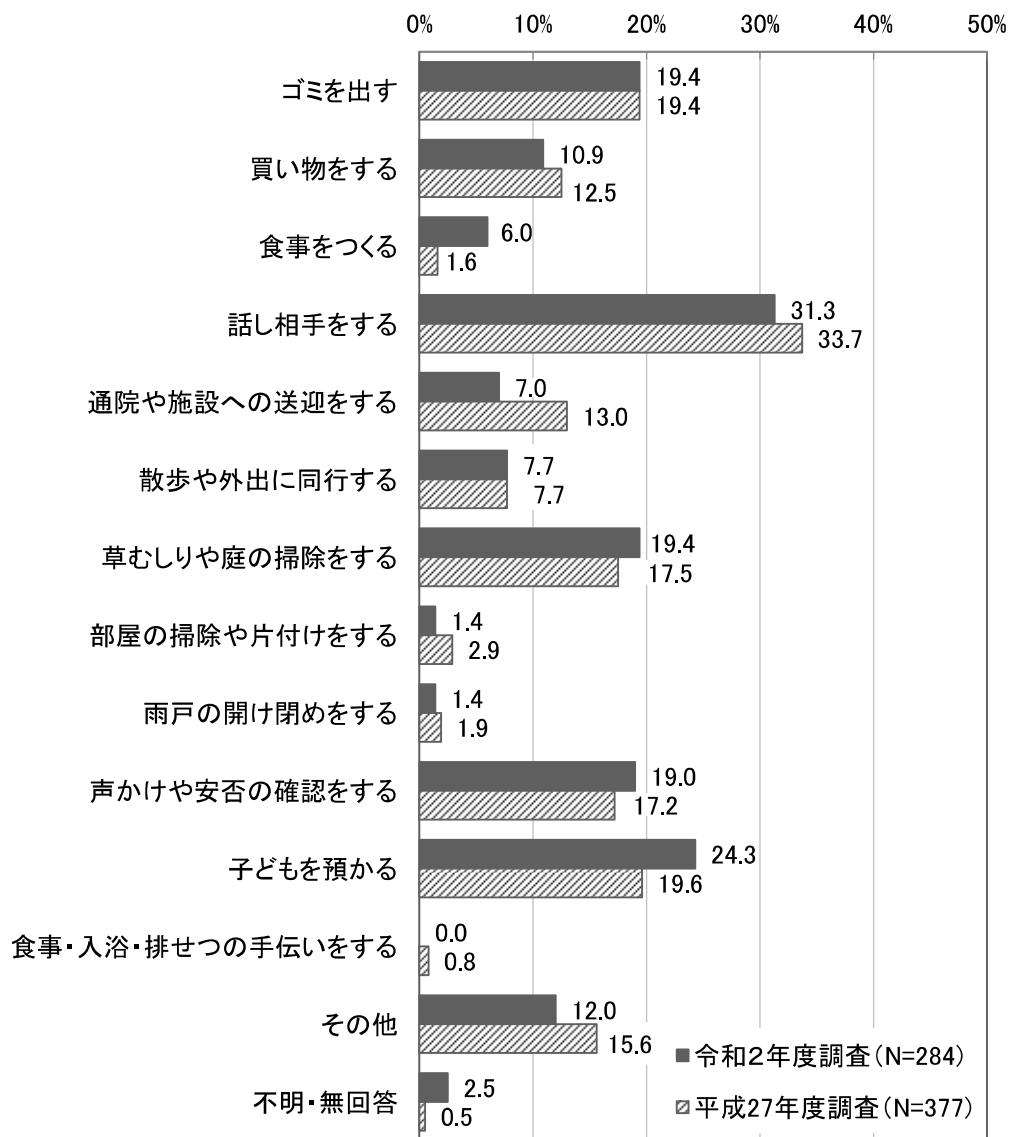


<問14で、「1. ある」と回答した方に伺います>

問14-1 それは、どんなお手伝いですか。(あてはまるすべての番号に○)

令和2年度調査では、全体で「話し相手をする」が31.3%と最も高く、次いで「子どもを預かる」が24.3%、「ゴミを出す」「草むしりや庭の掃除をする」が19.4%となっています。

経年で比較すると、「通院や施設への送迎をする」が令和2年度調査に7.0%と、平成27年度調査と比べて6.0ポイント低くなっています。



問15 あなたは現在、地域内の行事や町内会活動に参加・協力していますか。  
(1つの番号に○)

本設問の選択肢は、以下のとおり合算して表記しています。

- 『参加・協力している』 …「よくしている」と「ある程度している」の合算  
『参加・協力していない』 …「あまりしていない」と「まったくしていない」の合算

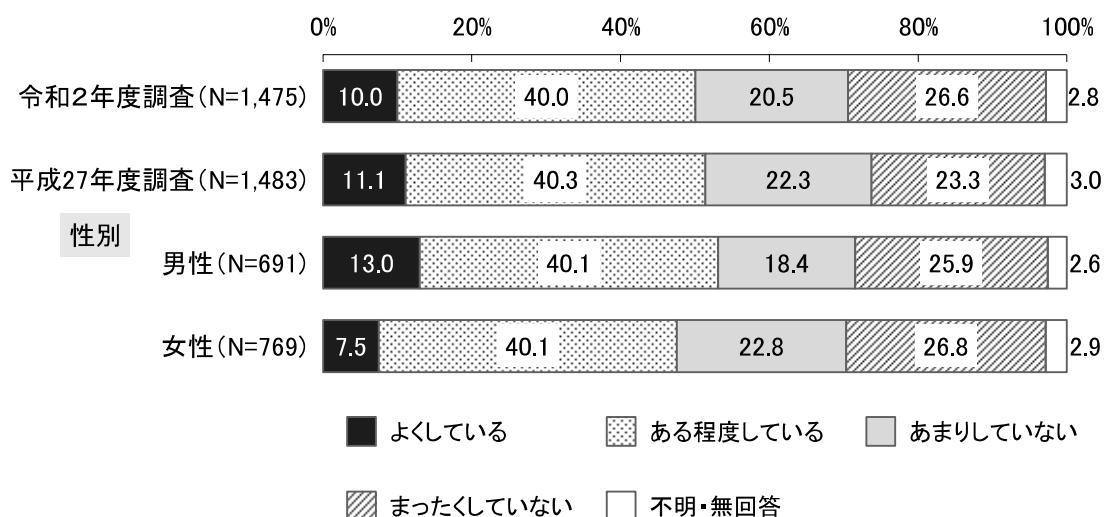
令和2年度調査では、全体で『参加・協力している』が50.0%、『参加・協力していない』が47.1%となっています。

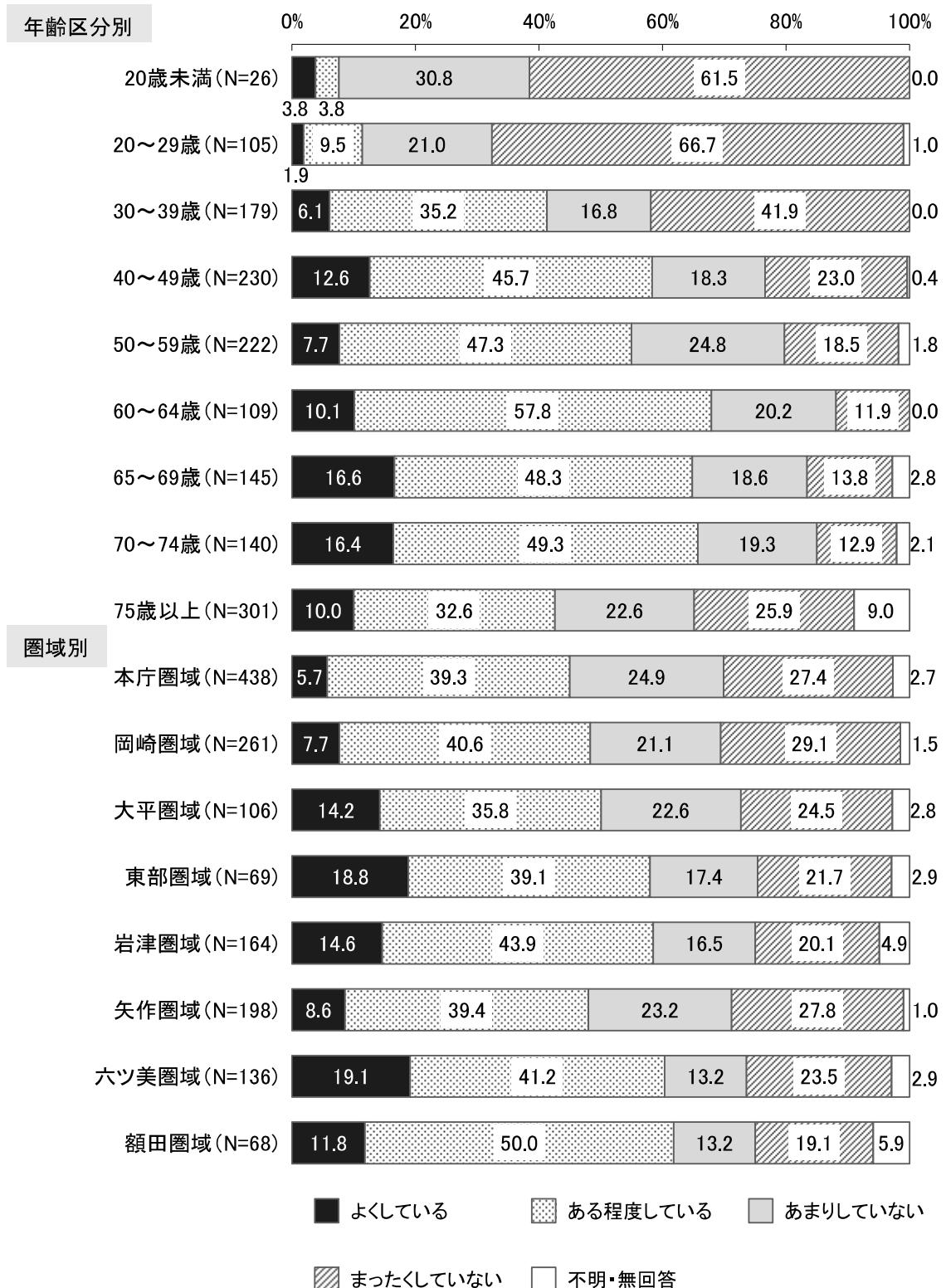
性別では、男性で『参加・協力している』が53.1%と、女性と比べて5.5ポイント高くなっています。

年齢区分別では、20歳未満及び20~29歳で『参加・協力している』が約1割と、他の年代と比べて低くなっています。

圏域別では、額田圏域で『参加・協力していない』が32.3%と、他の圏域と比べて低くなっています。

経年で比較すると、『参加・協力していない』が令和2年度調査に47.1%と、平成27年度調査と比べて1.5ポイント高くなっています。





＜問15－1～3は、問15で「1.よくしている」「2.ある程度している」と回答した方に伺います＞

問15－1 あなたが、地域で参加している活動はどれですか。

(あてはまるすべての番号に○)

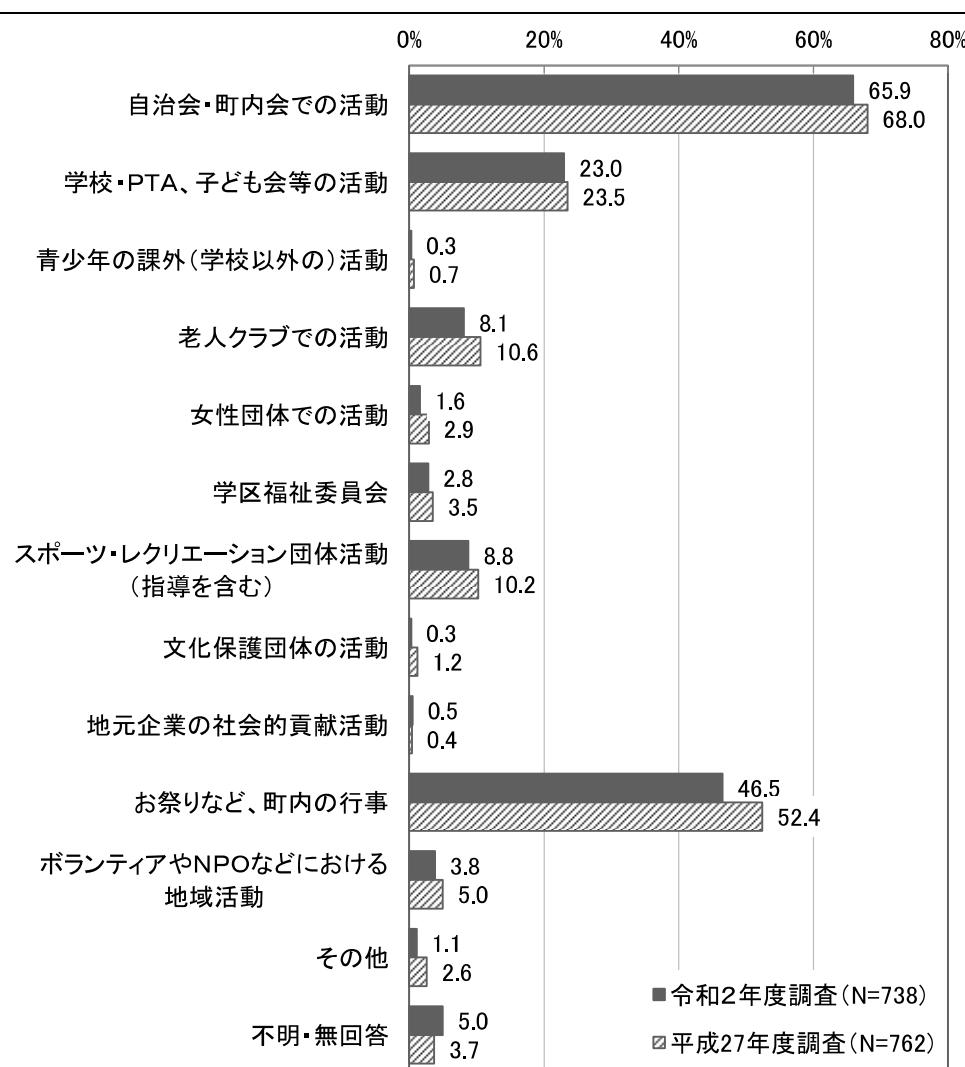
令和2年度調査では、全体で「自治会・町内会での活動」が65.9%と最も高く、次いで「お祭りなど、町内の行事」が46.5%、「学校・PTA、子ども会等の活動」が23.0%となっています。

性別では、男性で「自治会・町内会での活動」が72.5%と、女性と比べて12.7ポイント高くなっています。

年齢区分別では、30～39歳及び40～49歳で「学校・PTA、子ども会等の活動」が他の年代と比べて高く、6割を超えていました。

圏域別では、額田圏域で「学区福祉委員会」が14.3%と、他の圏域と比べて高くなっています。

経年で比較すると、「お祭りなど、町内の行事」が令和2年度調査に46.5%と、平成27年度調査と比べて5.9ポイント低くなっています。



## ■クロス集計集

(単位 : %)

区分		自治会・町内会での活動	学校・PTA、子ども会等の活動	青少年の課外（学校以外の）活動	老人クラブでの活動	女性団体での活動	学区福祉委員会	スポーツ・レクリエーション団体活動（指導を含む）	文化保護団体の活動	地元企業の社会的貢献活動	お祭りなど、町内の行事	ボランティアやNPOなどにおける地域活動	その他	不明・無回答
性別	男性 (N=367)	72.5	20.4	0.3	7.9	0.0	2.5	9.0	0.3	1.1	48.8	4.1	1.1	4.4
	女性 (N=366)	59.8	26.0	0.3	8.2	3.3	3.3	8.2	0.3	0.0	44.0	3.6	1.1	5.7
年齢区分別	20歳未満 (N=26)	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20~29歳 (N=12)	41.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0
	30~39歳 (N=74)	58.1	63.5	1.4	0.0	1.4	1.4	5.4	0.0	0.0	45.9	1.4	0.0	4.1
	40~49歳 (N=134)	64.2	61.2	0.0	0.0	0.0	1.5	9.0	0.0	0.7	49.3	1.5	1.5	3.0
	50~59歳 (N=122)	71.3	18.0	0.8	0.0	0.8	1.6	10.7	0.8	1.6	49.2	3.3	1.6	6.6
	60~64歳 (N=74)	71.6	10.8	0.0	1.4	1.4	6.8	9.5	0.0	0.0	45.9	5.4	0.0	5.4
	65~69歳 (N=94)	77.7	1.1	0.0	7.4	3.2	2.1	7.4	0.0	0.0	47.9	5.3	1.1	3.2
	70~74歳 (N=92)	64.1	3.3	0.0	12.0	2.2	7.6	7.6	1.1	0.0	48.9	7.6	0.0	4.3
	75歳以上 (N=128)	61.7	4.7	0.0	30.5	3.1	1.6	9.4	0.0	0.8	39.8	3.9	2.3	6.3
圏域別	本庁圏域 (N=197)	69.5	23.9	0.5	5.1	0.5	0.0	11.7	0.0	0.5	50.8	2.5	0.5	4.6
	岡崎圏域 (N=126)	69.8	23.0	0.0	8.7	1.6	4.8	7.1	0.0	0.0	34.9	1.6	0.0	2.4
	大平圏域 (N=53)	69.8	28.3	0.0	7.5	1.9	3.8	5.7	0.0	0.0	49.1	7.5	0.0	3.8
	東部圏域 (N=40)	57.5	17.5	0.0	12.5	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	55.0	7.5	5.0	5.0
	岩津圏域 (N=96)	65.6	21.9	0.0	7.3	4.2	3.1	8.3	0.0	1.0	50.0	2.1	1.0	6.3
	矢作圏域 (N=95)	57.9	23.2	1.1	8.4	0.0	1.1	5.3	1.1	1.1	41.1	4.2	4.2	8.4
	六ツ美圏域 (N=82)	64.6	28.0	0.0	11.0	2.4	3.7	14.6	0.0	1.2	42.7	6.1	0.0	4.9
	額田圏域 (N=42)	66.7	14.3	0.0	11.9	4.8	14.3	4.8	2.4	0.0	59.5	7.1	0.0	4.8

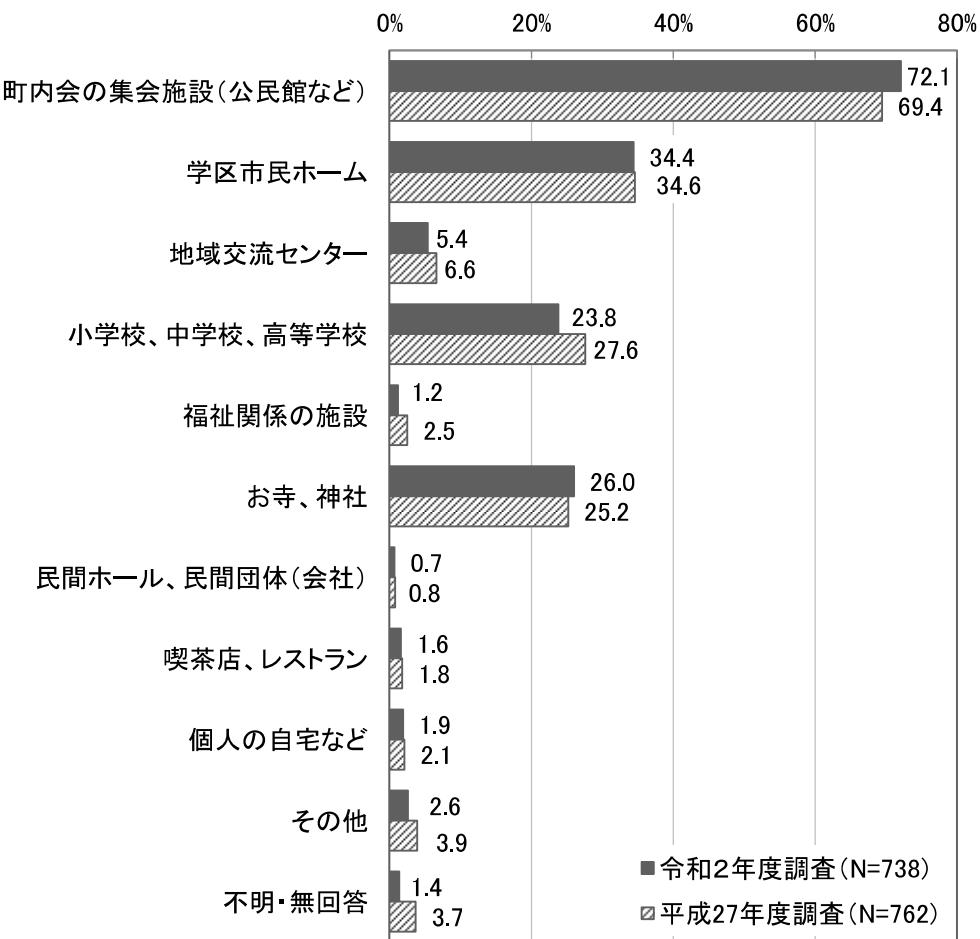
## 問15-2 あなたの地区（地域）で地域活動を行う場として利用されている施設（場所）は、どこですか。（あてはまるすべての番号に○）

令和2年度調査では、全体で「町内会の集会施設（公民館など）」が72.1%と最も高く、次いで「学区市民ホーム」が34.4%、「お寺、神社」が26.0%となっています。

年齢区分別では、30～39歳及び40～49歳で「小学校、中学校、高等学校」が他の年代と比べて高く、4割を超えています。

圏域別では、いずれの圏域でも「町内会の集会施設（公民館など）」が最も高くなっています。なお、東部、矢作及び額田の各圏域では「お寺、神社」が3割を超えて高くなっています。

経年で比較すると、「小学校、中学校、高等学校」が令和2年度調査に23.8%と、平成27年度調査と比べて3.8ポイント低くなっています。



## ■クロス集計集

(単位：%)

区分		町内会の集会施設 (公民館など)	学区市民ホーム	地域交流センター	高等学校、中学校、	小学校、中学校、	福祉関係の施設	お寺、神社	民間木ール、 民間団体(会社)	喫茶店、レストラン	個人の自宅など	その他	不明・無回答
年齢区分別	20歳未満 (N=2)	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20~29歳 (N=12)	50.0	33.3	0.0	25.0	0.0	41.7	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0
	30~39歳 (N=74)	68.9	27.0	6.8	43.2	0.0	25.7	1.4	0.0	2.7	4.1	1.4	0.0
	40~49歳 (N=134)	73.9	32.8	4.5	41.8	0.7	26.9	0.7	0.7	1.5	0.7	1.5	0.0
	50~59歳 (N=122)	75.4	41.0	4.1	32.8	0.0	27.9	0.0	3.3	1.6	0.8	0.0	0.0
	60~64歳 (N=74)	75.7	27.0	4.1	18.9	0.0	28.4	0.0	1.4	1.4	4.1	0.0	0.0
	65~69歳 (N=94)	79.8	35.1	7.4	9.6	2.1	19.1	1.1	2.1	2.1	2.1	2.1	0.0
	70~74歳 (N=92)	71.7	39.1	2.2	12.0	2.2	25.0	0.0	3.3	1.1	5.4	2.2	0.0
	75歳以上 (N=128)	64.8	35.2	9.4	7.0	3.1	25.0	1.6	0.8	2.3	2.3	2.3	0.0
圏域別	本庁圏域 (N=197)	65.0	35.5	3.0	22.8	0.5	24.4	1.0	1.5	2.5	3.6	1.5	0.0
	岡崎圏域 (N=126)	61.1	40.5	7.9	26.2	1.6	19.0	2.4	2.4	1.6	3.2	0.8	0.0
	大平圏域 (N=53)	71.7	37.7	5.7	24.5	1.9	22.6	0.0	0.0	1.9	0.0	3.8	0.0
	東部圏域 (N=40)	70.0	40.0	2.5	22.5	2.5	45.0	0.0	2.5	0.0	2.5	2.5	0.0
	岩津圏域 (N=96)	75.0	38.5	5.2	16.7	1.0	22.9	0.0	2.1	2.1	2.1	3.1	0.0
	矢作圏域 (N=95)	88.4	28.4	6.3	30.5	2.1	30.5	0.0	0.0	1.1	4.2	0.0	0.0
	六ツ美圏域 (N=82)	84.1	28.0	7.3	24.4	1.2	26.8	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	額田圏域 (N=42)	78.6	21.4	7.1	23.8	0.0	33.3	0.0	2.4	7.1	2.4	0.0	0.0

### 問15－3 地域の活動に対して、満足していますか。（1つの番号に○）

本設問の選択肢は、以下のとおり合算して表記しています。

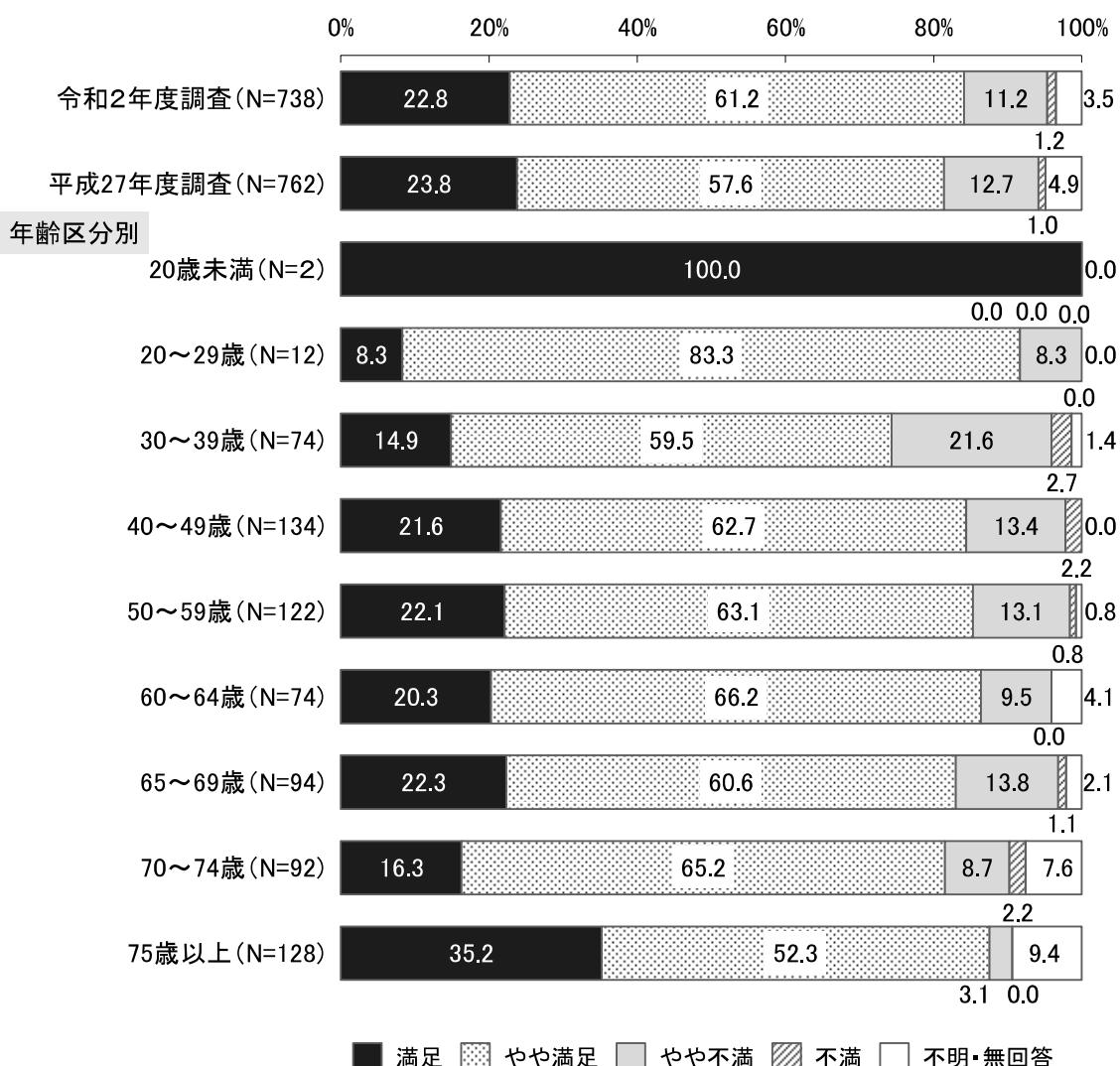
- 『満足』 …「満足」と「やや満足」の合算  
『不満』 …「やや不満」と「不満」の合算

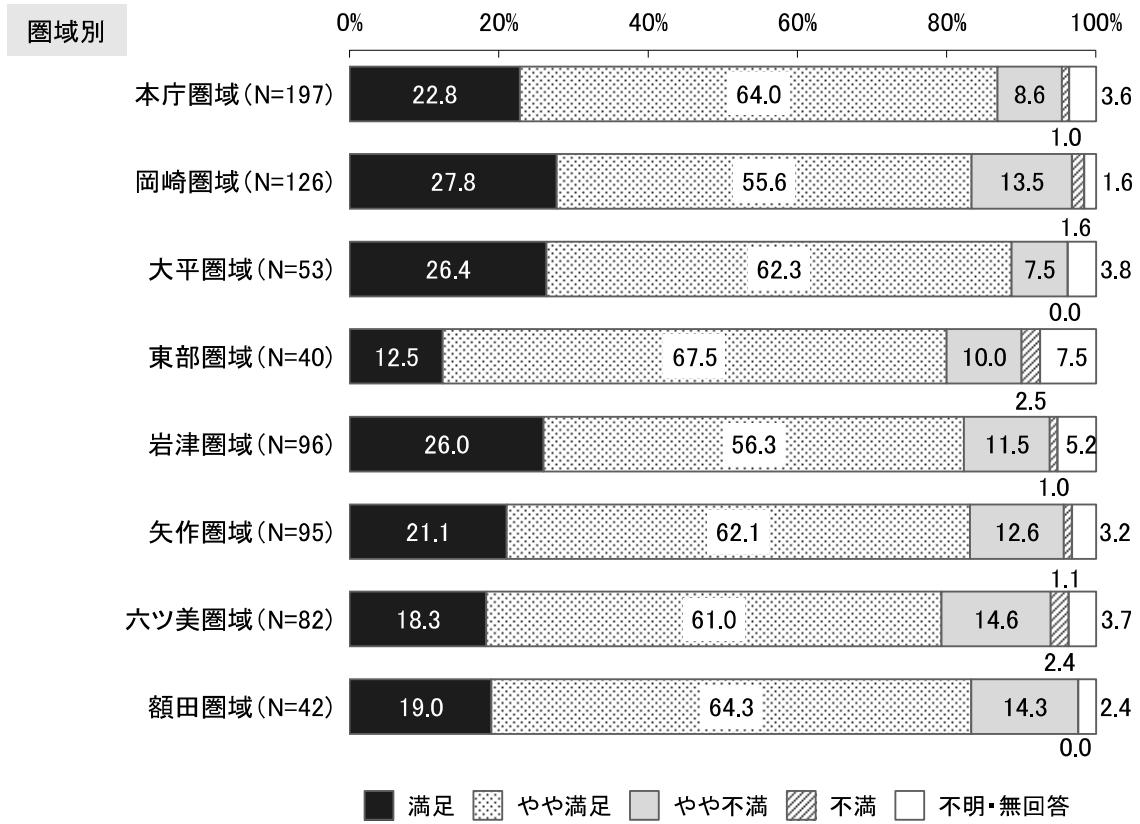
令和2年度調査では、全体で『満足』が84.0%、『不満』が12.4%となっています。

年齢区分別では、30～39歳で『不満』が24.3%と、他の年代と比べて高くなっています。

圏域別では、いずれの圏域でも『満足』が約8割となっています。

経年で比較すると、『満足』が令和2年度調査に84.0%と、平成27年度調査と比べて2.6ポイント高くなっています。





<問 15 で「3. あまりしていない」「4. まったくしていない」と回答した方に伺います>

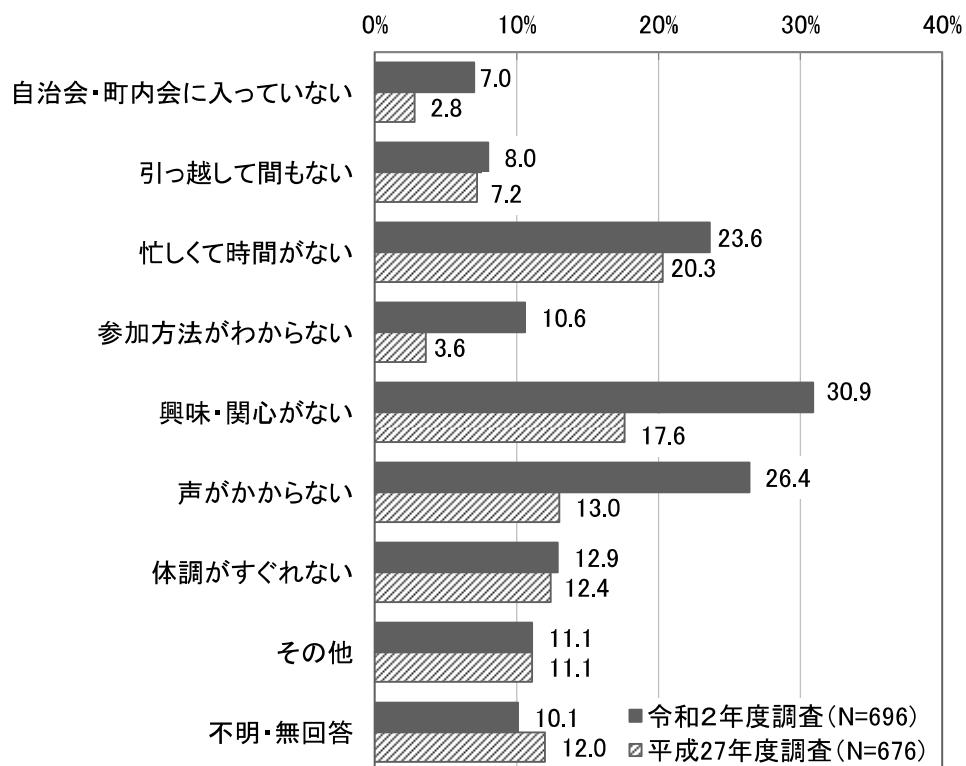
**問 15-4 参加していない理由をお聞かせください。(あてはまるすべての番号に○)**

令和2年度調査では、全体で「興味・関心がない」が30.9%と最も高く、次いで「声がかからない」が26.4%、「忙しくて時間がない」が23.6%となっています。

年齢区分別では、20～29歳で「声がかからない」が40.2%と、他の年代と比べて高くなっています。なお、20歳未満、20～29歳、30～39歳及び40～49歳で「忙しくて時間がない」が3割を超えていました。

圏域別では、大平圏域で「興味・関心がない」が50.0%と、他の圏域と比べて高くなっています。

経年で比較すると、「声がかからない」が令和2年度調査に26.4%と、平成27年度調査と比べて13.4ポイント、「興味・関心がない」が令和2年度調査に30.9%と、平成27年度調査と比べて13.3ポイント高くなっています。



## ■クロス集計集

(単位：%)

区分		入つていらない 自治会・町内会に	引っ越して間もない	忙しくて時間がない	参加方法がわからない	興味・関心がない	声がかからない	体調がすぐれない	その他	不明・無回答
年齢区分別	20歳未満 (N=24)	8.3	0.0	37.5	16.7	41.7	25.0	0.0	4.2	4.2
	20~29歳 (N=92)	14.1	12.0	32.6	15.2	37.0	40.2	0.0	8.7	3.3
	30~39歳 (N=105)	9.5	20.0	32.4	13.3	37.1	25.7	1.0	12.4	5.7
	40~49歳 (N=95)	5.3	7.4	30.5	11.6	35.8	29.5	6.3	14.7	4.2
	50~59歳 (N=96)	5.2	3.1	28.1	13.5	35.4	26.0	5.2	7.3	14.6
	60~64歳 (N=35)	5.7	5.7	17.1	11.4	34.3	34.3	8.6	14.3	5.7
	65~69歳 (N=47)	2.1	6.4	21.3	2.1	25.5	19.1	23.4	14.9	6.4
	70~74歳 (N=45)	6.7	0.0	17.8	8.9	28.9	24.4	17.8	8.9	13.3
圏域別	75歳以上 (N=146)	4.8	4.8	4.8	4.8	18.5	16.4	38.4	11.6	19.9
	本庁圏域 (N=229)	5.7	6.6	20.5	8.7	30.6	28.4	12.7	11.4	9.6
	岡崎圏域 (N=131)	7.6	9.2	28.2	13.7	31.3	27.5	12.2	10.7	12.2
	大平圏域 (N=50)	8.0	12.0	22.0	6.0	50.0	20.0	12.0	12.0	8.0
	東部圏域 (N=27)	11.1	3.7	29.6	7.4	14.8	14.8	22.2	14.8	11.1
	岩津圏域 (N=60)	6.7	3.3	26.7	11.7	21.7	28.3	11.7	5.0	15.0
	矢作圏域 (N=101)	5.0	5.0	17.8	9.9	36.6	22.8	13.9	9.9	6.9
	六ツ美圏域 (N=50)	8.0	8.0	30.0	18.0	30.0	28.0	10.0	16.0	14.0
	額田圏域 (N=22)	0.0	13.6	13.6	9.1	22.7	13.6	22.7	22.7	4.5

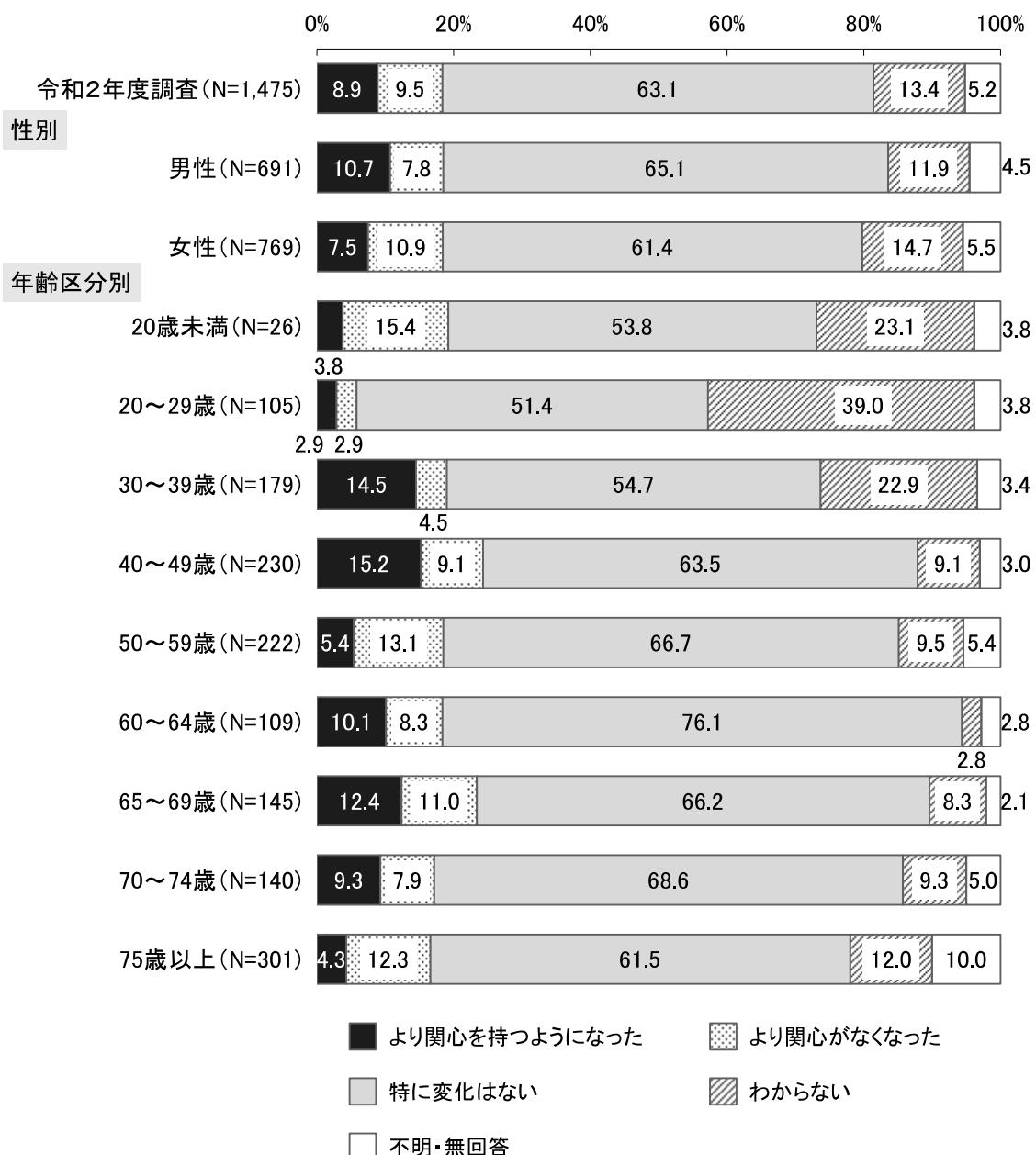
## 問16 あなたの地域の行事や地域活動についての関心は、以前と比べて（約5年前と比べて）どのように変化したと感じますか。（1つの番号に○）

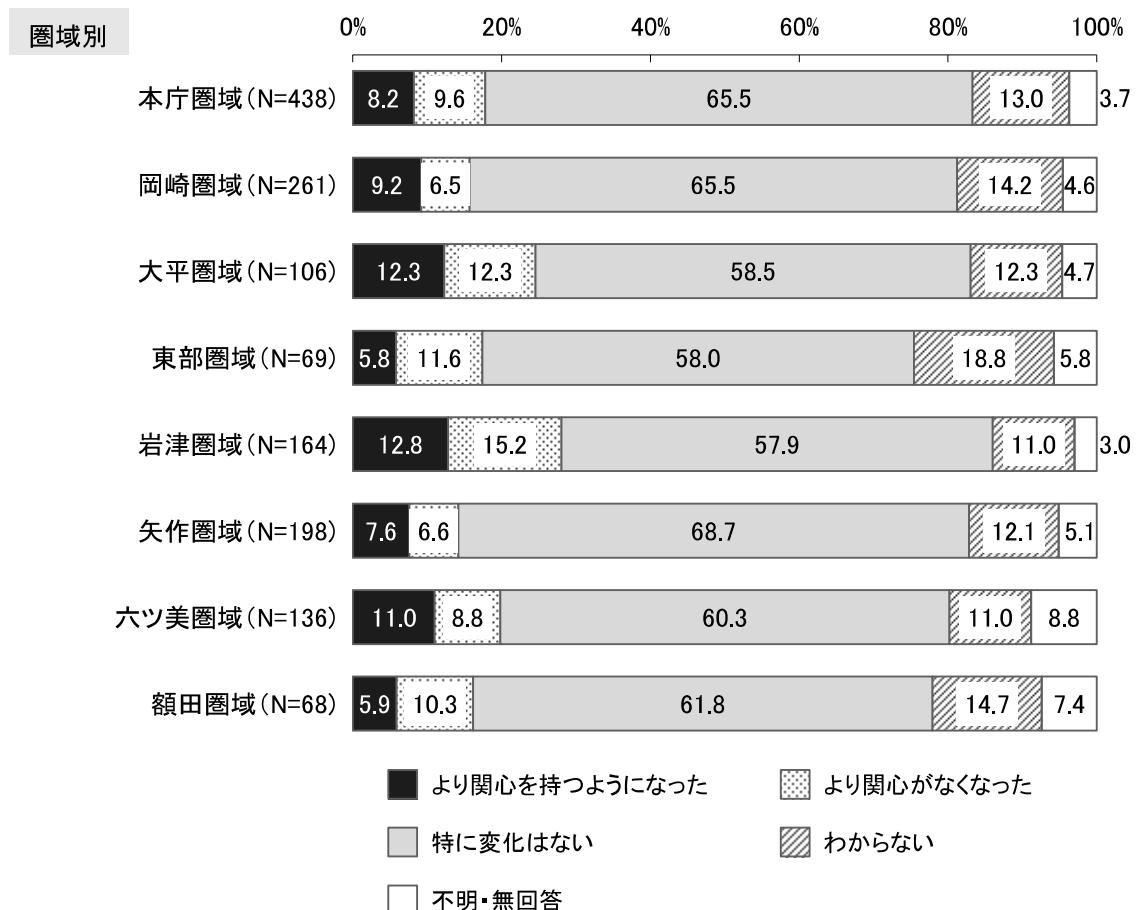
令和2年度調査では、「より関心を持つようになった」が8.9%、「より関心がなくなった」が9.5%、「特に変化はない」が63.1%となっています。

性別では、男性で「より関心を持つようになった」が、女性で「より関心がなくなった」が、それぞれ1割を超えていました。

年齢区分別では、30～39歳、40～49歳、60～64歳及び65～69歳で「より関心を持つようになった」がそれぞれ1割を超えていました。

圏域別では、大平、岩津及び六ツ美の各圏域で「より関心を持つようになった」がそれぞれ1割を超えていました。





### 3 福祉への関心、意識について

問17 あなたは、「福祉」に関心がありますか。(1つの番号に○)

本設問の選択肢は、以下のとおり合算して表記しています。

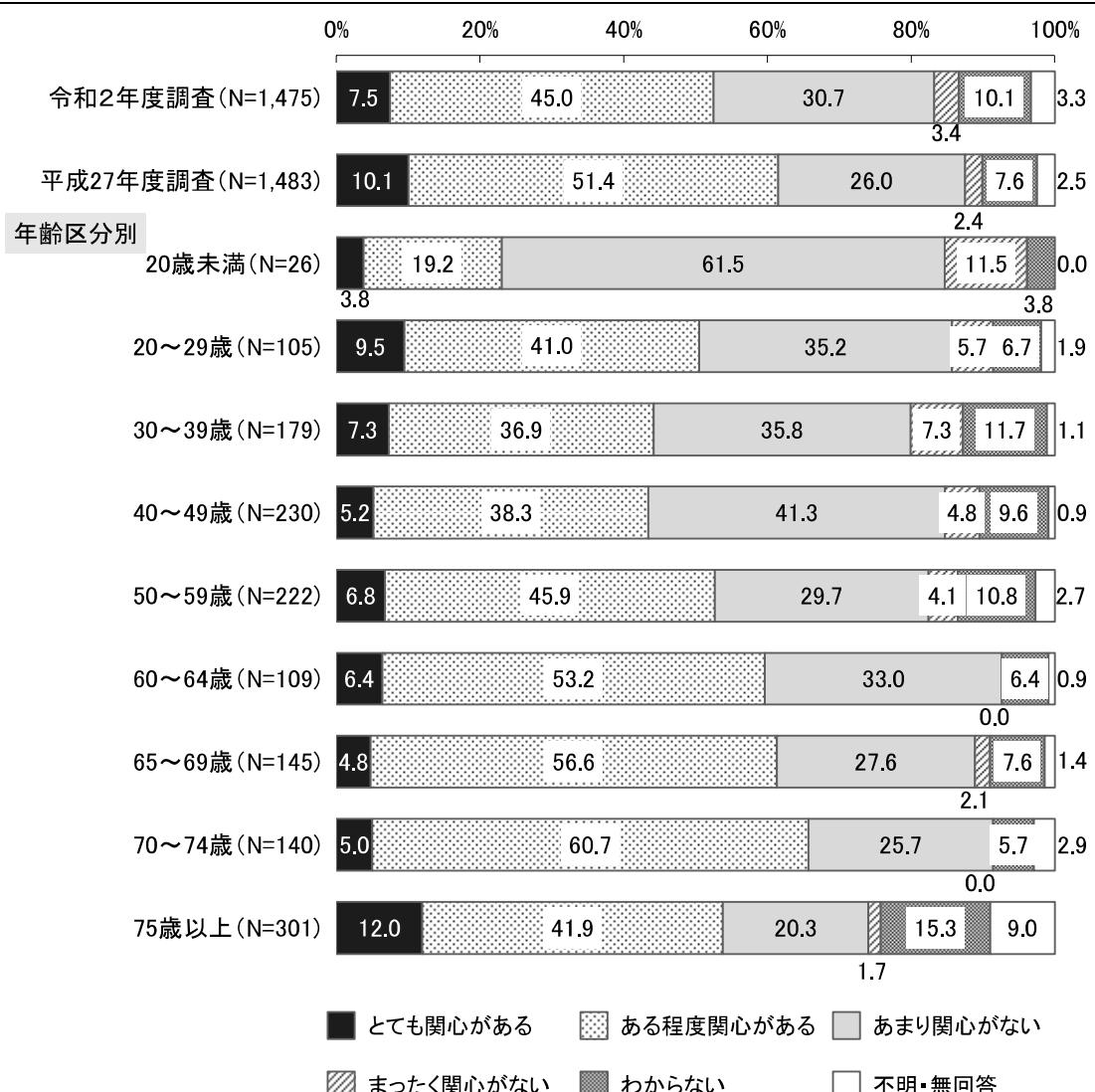
- 『関心がある』 …「とても関心がある」と「ある程度関心がある」の合算  
『関心がない』 …「あまり関心がない」と「まったく関心がない」の合算

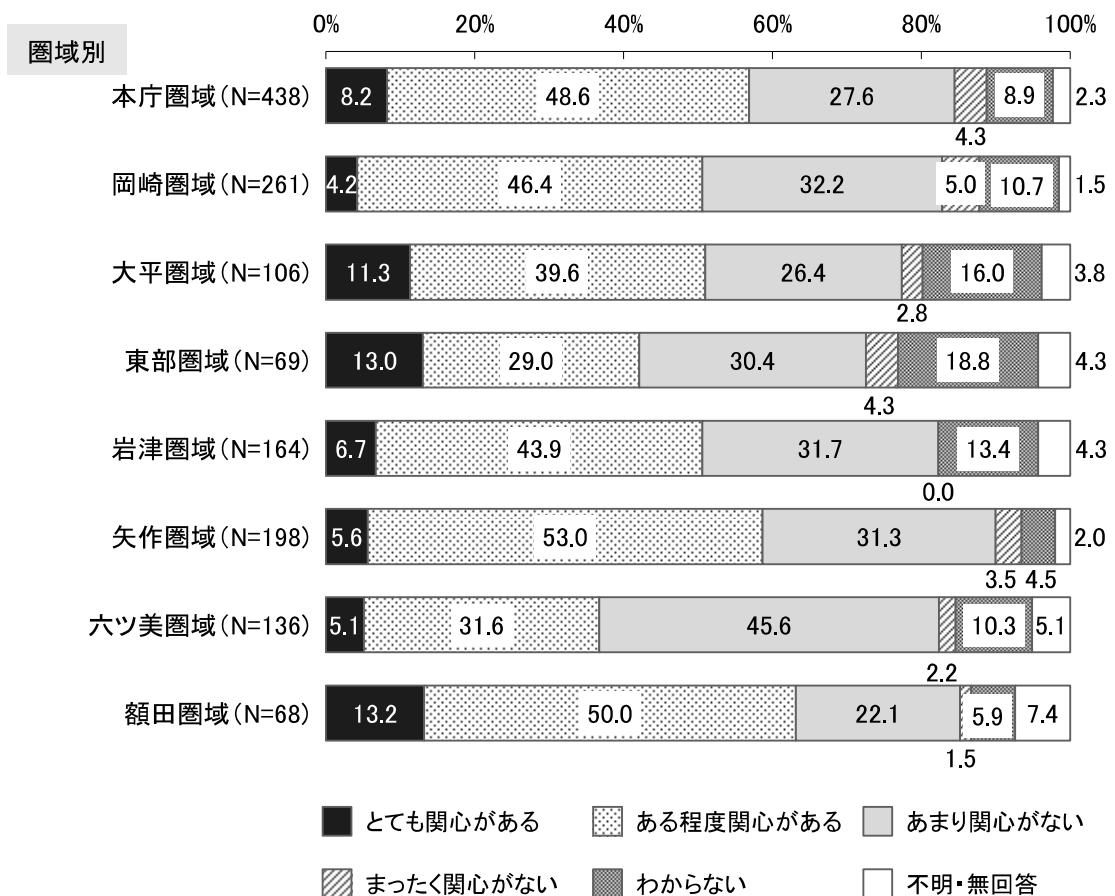
令和2年度調査では、全体で『関心がある』が52.5%、『関心がない』が34.1%となっています。

年齢区別では、20歳未満で『関心がない』が、他の年代と比べて高くなっています。なお、20～29歳及び50歳以上で『関心がある』が5割を超えていました。

圏域別では、額田圏域で『関心がある』が、六ツ美圏域で『関心がない』が、他の圏域と比べてそれぞれ高くなっています。

経年で比較すると、『関心がある』が令和2年度調査に52.5%と、平成27年度調査と比べて9.0ポイント低くなっています。

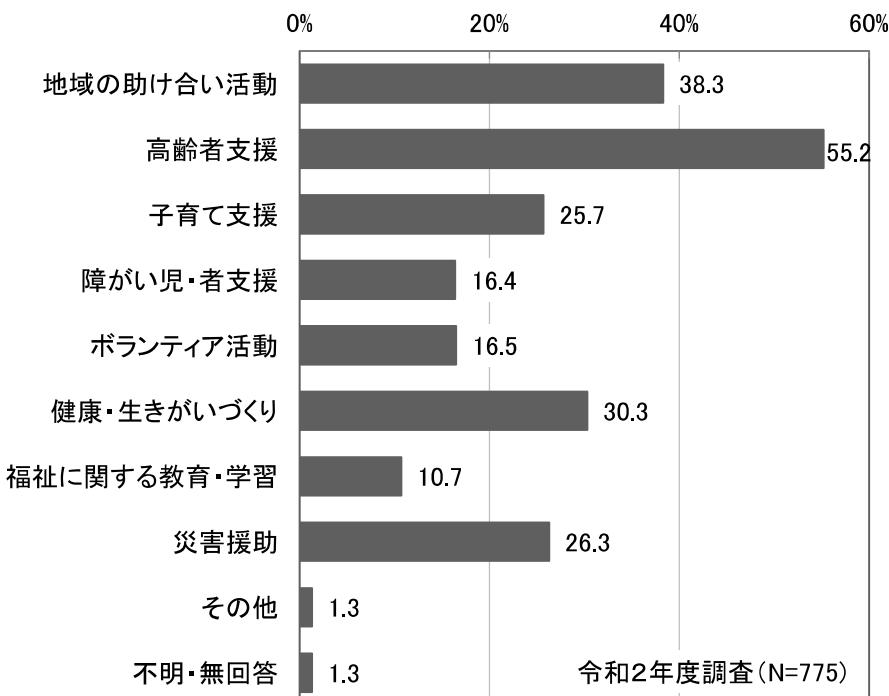




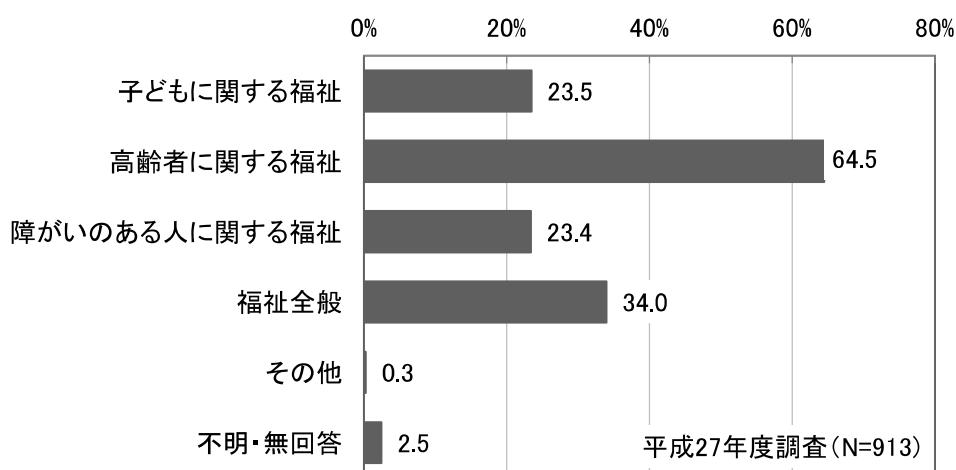
<問17で「1. とても関心がある」「2. ある程度関心がある」と回答した方に伺います>

問17-1 あなたが福祉について関心があることは、次のどれですか。  
(あてはまるすべての番号に○)

令和2年度調査では、全体で「高齢者支援」が55.2%と最も高く、次いで「地域の助け合い活動」が38.3%、「健康・生きがいづくり」が30.3%となっています。

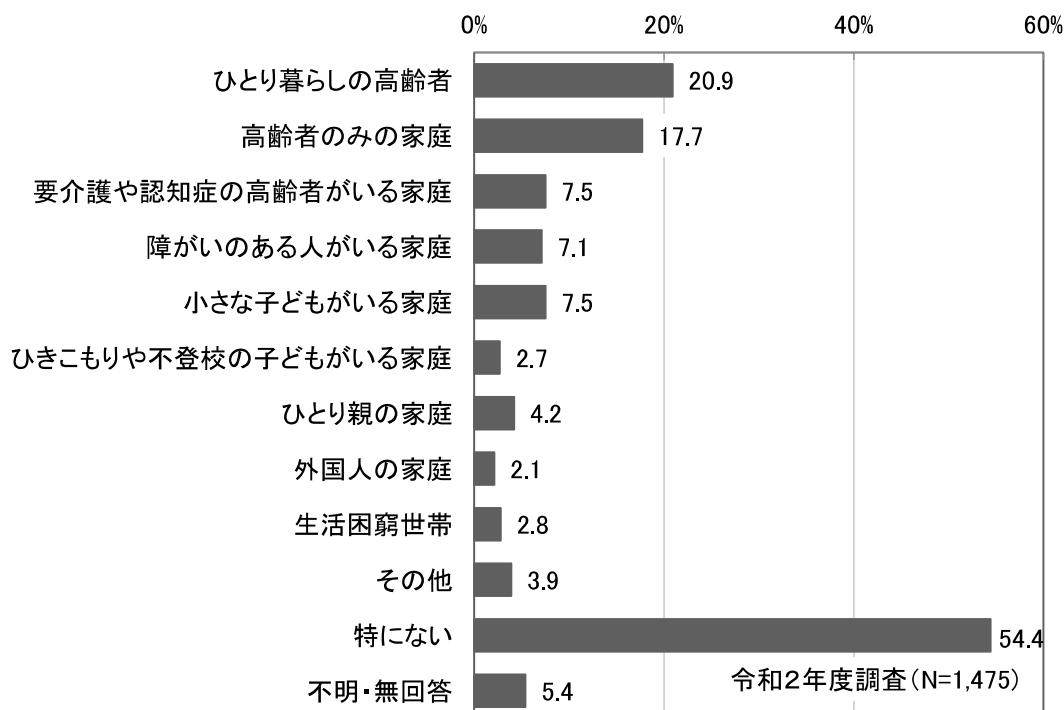


【参考：平成27年度調査】



問 18 隣近所に、周囲の人の手助けや協力・支援が必要だと思われるご家庭がありますか。(あてはまるすべての番号に○)

令和2年度調査では、全体で「特ない」が54.4%と最も高く、次いで「ひとり暮らしの高齢者」が20.9%、「高齢者のみの家庭」が17.7%となっています。

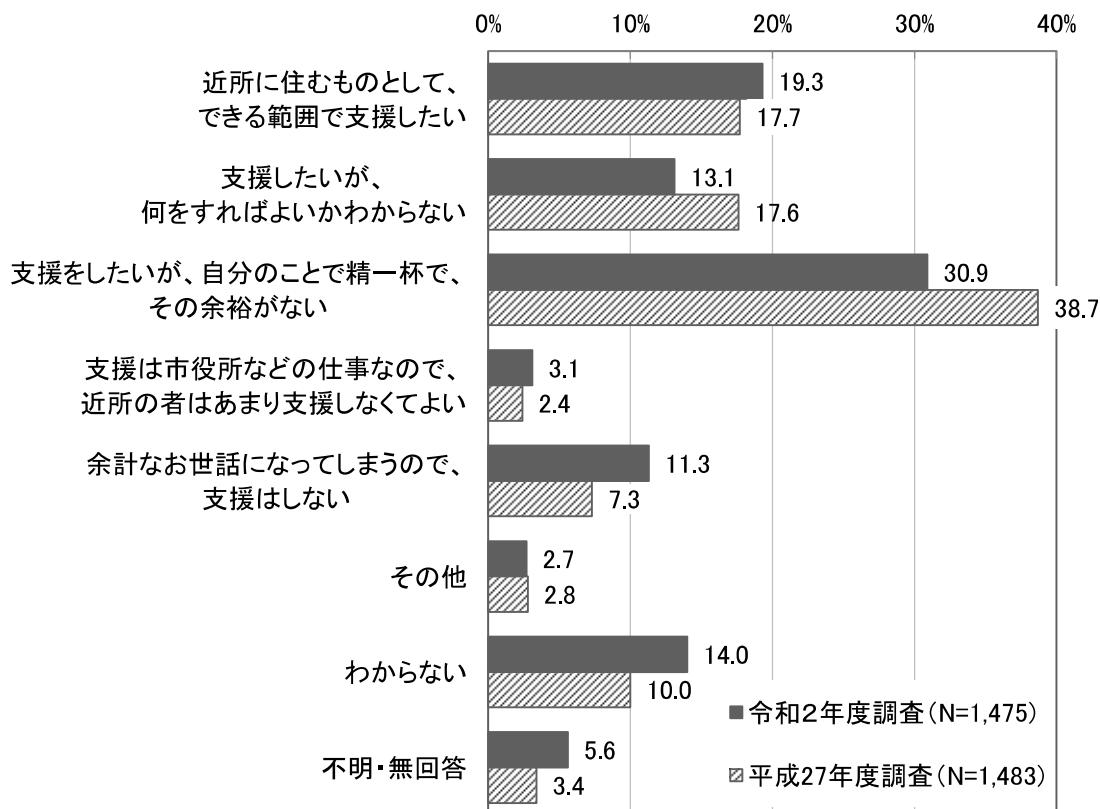


問19 地域に住む「ひとり暮らしの高齢者」、「寝たきりの高齢者や障がいのある人のいる家族」、「子育てをしている家族」などに対する支援（日常生活上のお手伝いなど）について、あなたの考えに最も近いものをお選びください。  
(1つの番号に○)

令和2年度調査では、全体で「支援をしたいが、自分のことで精一杯で、その余裕がない」が30.9%と最も高く、次いで「近所に住むものとして、できる範囲で支援したい」が19.3%、「支援をしたいが、何をすればよいかわからない」が13.1%となっています。

圏域別では、額田圏域で「近所に住むものとして、できる範囲で支援したい」が32.4%と、他の圏域と比べて高くなっています。なお、いずれの圏域でも「支援をしたいが、何をすればよいかわからない」がそれぞれ1割前後となっています。

経年で比較すると、「支援をしたいが、自分のことで精一杯で、その余裕がない」が令和2年度調査に30.9%と、平成27年度調査と比べて7.8ポイント低くなっています。



## ■クロス集計集

(単位：%)

区分		近所に住むものとして、できる範囲で支援したい	支援したいが、何をすればよいかわからない	支援したいが、自分のことで精一杯で、その余裕がない	支援は市役所などの仕事なので、近所の者はあまり支援しなくてよい	余計なお世話になってしまうので、支援はしない	その他	わからない	不明・無回答
圏域別	本庁圏域 (N=438)	16.4	13.7	37.9	2.7	11.2	3.0	11.0	4.1
	岡崎圏域 (N=261)	18.4	15.7	28.4	2.3	14.2	2.3	14.9	3.8
	大平圏域 (N=106)	21.7	14.2	27.4	1.9	12.3	4.7	14.2	3.8
	東部圏域 (N=69)	15.9	11.6	20.3	2.9	13.0	1.4	26.1	8.7
	岩津圏域 (N=164)	22.6	9.8	23.2	4.3	14.0	1.8	17.7	6.7
	矢作圏域 (N=198)	20.7	13.6	31.3	5.1	8.1	2.0	12.6	6.6
	六ツ美圏域 (N=136)	17.6	11.0	32.4	4.4	9.6	2.2	14.7	8.1
	額田圏域 (N=68)	32.4	10.3	27.9	0.0	4.4	5.9	13.2	5.9

問20 「こんなことであれば、私にもできる」と思うことはありますか。  
(あてはまるすべての番号に○)

---

令和2年度調査では、全体で「安否確認の声かけ」が39.9%と最も高く、次いで「話し相手」が29.1%、「ちょっとした買い物」が23.1%となっています。

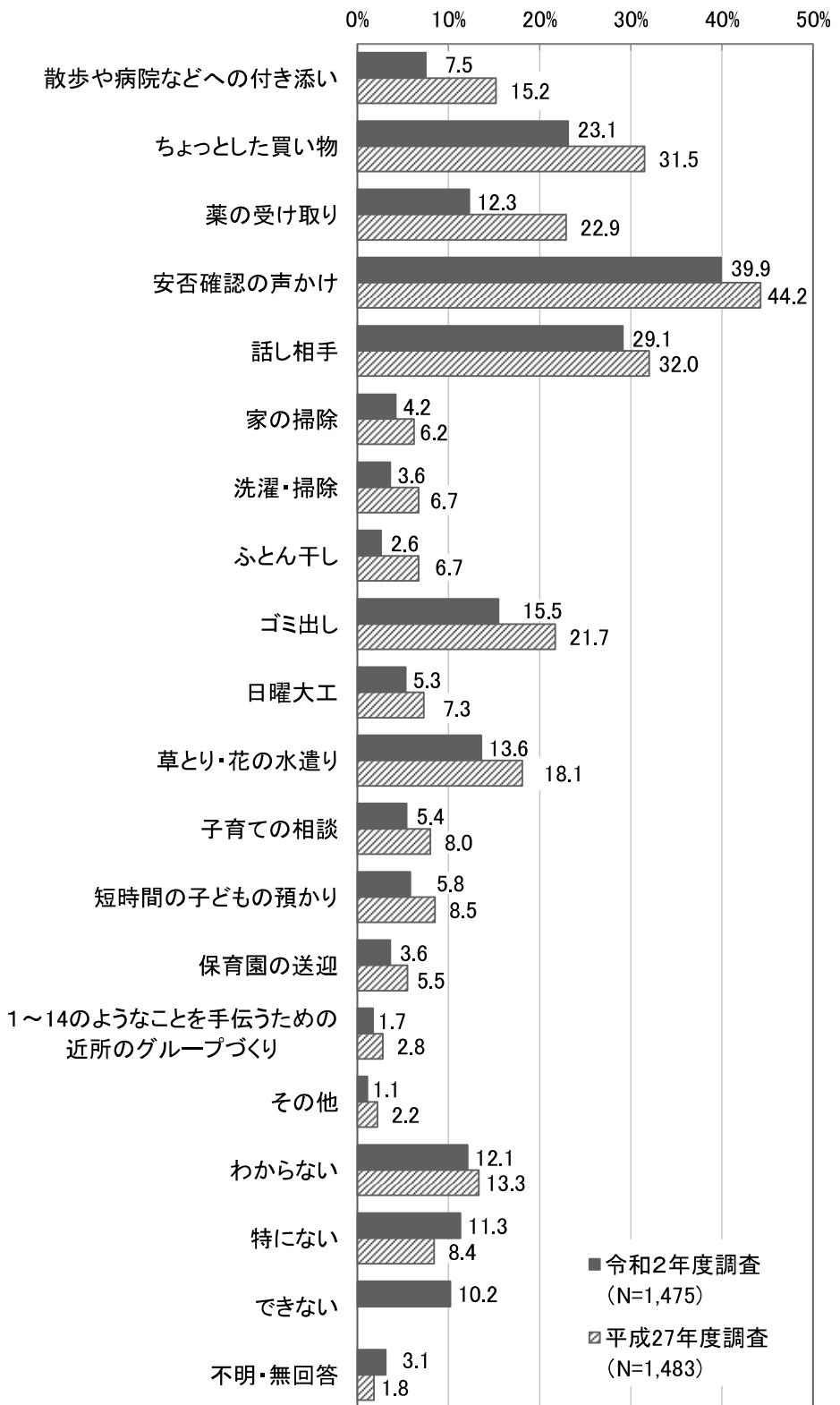
性別では、女性で「話し相手」が34.6%と、男性と比べて11.7ポイント高くなっています。

年齢区分別では、30歳未満及び75歳以上で「話し相手」、30~74歳で「安否確認の声かけ」がそれぞれ最も高くなっています。

圏域別では、いずれの圏域でも「安否確認の声かけ」が最も高くなっています。

経年で比較すると、「薬の受け取り」が令和2年度調査に12.3%と、平成27年度調査と比べて10.6ポイント、「ちょっとした買い物」が令和2年度調査に23.1%と、平成27年度調査と比べて8.4ポイント、低くなっています。

---



※選択肢について、「できない」は令和2年度調査のみの選択肢です。

## ■クロス集計集

(単位 : %)

区分		散歩や病院などへの付き添い	ちょっととした買い物	薬の受け取り	安否確認の声かけ	話し相手	家の掃除	洗濯・掃除	ふとん干し	ゴミ出し	日曜大工
性別	男性 (N=691)	8.2	19.8	11.1	36.5	22.9	4.8	2.7	2.9	15.6	10.7
	女性 (N=769)	6.8	26.1	13.3	42.8	34.6	3.6	4.3	2.3	15.3	0.4
年齢区分別	20歳未満 (N=26)	7.7	11.5	0.0	34.6	57.7	3.8	3.8	0.0	15.4	0.0
	20~29歳 (N=105)	13.3	33.3	19.0	39.0	42.9	8.6	5.7	3.8	14.3	7.6
	30~39歳 (N=179)	4.5	26.3	11.2	34.1	30.7	4.5	3.4	4.5	14.5	4.5
	40~49歳 (N=230)	4.3	23.9	13.9	41.7	24.8	1.7	1.7	1.3	13.9	7.0
	50~59歳 (N=222)	10.4	28.4	18.9	48.6	28.4	4.1	3.2	4.1	19.8	6.8
	60~64歳 (N=109)	7.3	25.7	12.8	46.8	22.0	1.8	0.0	0.0	19.3	2.8
	65~69歳 (N=145)	10.3	22.1	10.3	51.7	27.6	5.5	4.1	3.4	17.2	4.8
	70~74歳 (N=140)	6.4	22.9	12.9	46.4	33.6	2.1	2.9	2.1	15.7	5.7
	75歳以上 (N=301)	6.3	14.0	6.0	24.9	25.2	5.6	6.0	2.0	12.3	4.0
圏域別	本庁圏域 (N=438)	7.1	22.1	14.2	40.2	25.6	4.8	3.2	2.5	15.1	5.5
	岡崎圏域 (N=261)	5.4	22.2	10.3	39.5	31.4	3.8	4.2	2.7	14.9	3.4
	大平圏域 (N=106)	6.6	24.5	14.2	41.5	31.1	3.8	1.9	2.8	18.9	7.5
	東部圏域 (N=69)	4.3	15.9	10.1	34.8	21.7	2.9	4.3	2.9	13.0	8.7
	岩津圏域 (N=164)	8.5	25.0	11.0	42.7	32.9	3.0	3.0	1.8	12.8	4.9
	矢作圏域 (N=198)	9.6	25.3	11.1	38.4	34.8	3.5	3.5	2.5	18.2	5.1
	六ツ美圏域 (N=136)	9.6	23.5	12.5	39.0	21.3	5.1	4.4	2.2	14.7	4.4
	額田圏域 (N=68)	11.8	26.5	13.2	45.6	38.2	7.4	5.9	4.4	20.6	7.4

## ■クロス集計集

(単位 : %)

区分		草とり・花の水遣り	子育ての相談	短時間の子どもの預かり	保育園の送迎	1～14のようなことを手伝うための近所のグループづくり	その他	わからない	特になし	できない	不明・無回答
性別	男性 (N=691)	16.1	3.2	4.2	2.2	1.2	1.0	12.4	15.9	9.3	2.9
	女性 (N=769)	11.3	7.4	7.2	4.8	2.1	1.2	12.0	7.0	10.9	3.1
年齢区分別	20歳未満 (N=26)	11.5	0.0	7.7	3.8	0.0	0.0	19.2	7.7	0.0	0.0
	20～29歳 (N=105)	13.3	1.0	9.5	2.9	1.9	1.9	6.7	12.4	8.6	0.0
	30～39歳 (N=179)	11.2	16.2	11.2	9.5	3.4	0.6	20.1	10.6	8.4	1.1
	40～49歳 (N=230)	8.7	10.0	8.3	3.5	2.2	1.3	15.2	9.1	7.8	1.3
	50～59歳 (N=222)	16.2	5.9	7.7	4.5	2.3	0.5	14.4	8.6	5.9	1.4
	60～64歳 (N=109)	10.1	4.6	3.7	2.8	1.8	2.8	9.2	14.7	6.4	0.9
	65～69歳 (N=145)	20.0	2.1	4.1	2.8	1.4	1.4	12.4	11.7	6.9	1.4
	70～74歳 (N=140)	14.3	1.4	2.1	2.9	0.7	1.4	7.9	15.7	7.1	3.6
	75歳以上 (N=301)	15.0	1.0	1.0	0.7	0.3	0.7	8.0	11.6	21.9	9.3
圏域別	本庁圏域 (N=438)	12.8	7.5	5.9	3.7	2.5	1.8	12.8	9.4	11.2	2.5
	岡崎圏域 (N=261)	13.8	4.6	6.1	2.3	1.5	0.4	13.4	10.3	8.0	1.9
	大平圏域 (N=106)	13.2	2.8	6.6	2.8	0.9	0.0	11.3	17.0	11.3	1.9
	東部圏域 (N=69)	13.0	2.9	4.3	1.4	0.0	1.4	15.9	11.6	13.0	4.3
	岩津圏域 (N=164)	13.4	4.9	4.3	4.3	0.6	1.8	8.5	11.6	10.4	3.0
	矢作圏域 (N=198)	15.7	4.5	5.6	5.6	2.0	0.5	11.6	10.1	11.1	3.0
	六ツ美圏域 (N=136)	11.0	6.6	5.9	4.4	2.2	0.7	15.4	16.2	7.4	5.1
	額田圏域 (N=68)	19.1	2.9	5.9	2.9	0.0	1.5	7.4	8.8	7.4	2.9

## 4 地域福祉に関することについて

問21 あなたは「岡崎市地域福祉計画」を知っていますか。（1つの番号に○）

本設問の選択肢は、以下のとおり合算して表記しています。

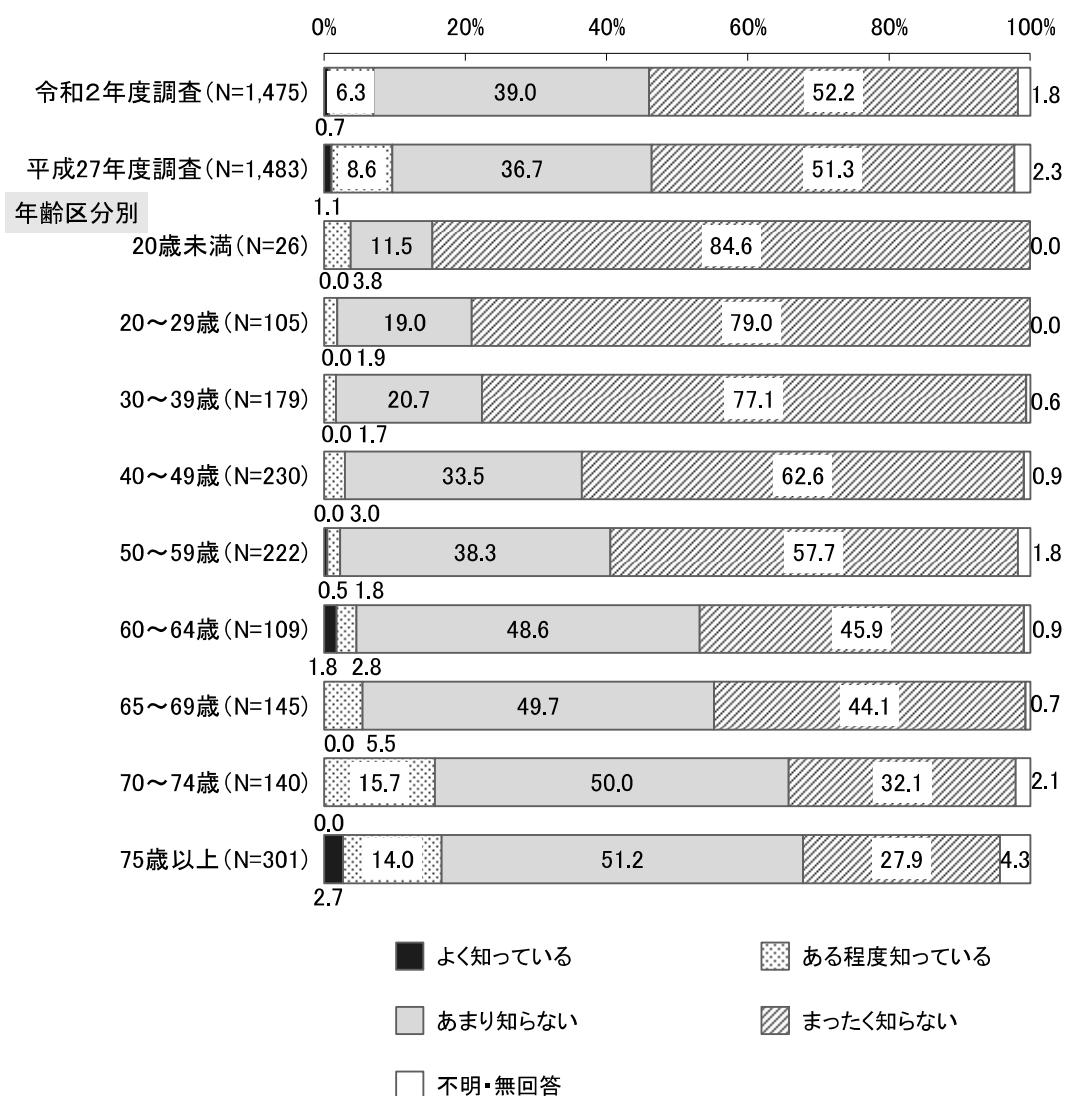
- 『知っている』 …「よく知っている」と「ある程度知っている」の合算  
『知らない』 …「あまり知らない」と「まったく知らない」の合算

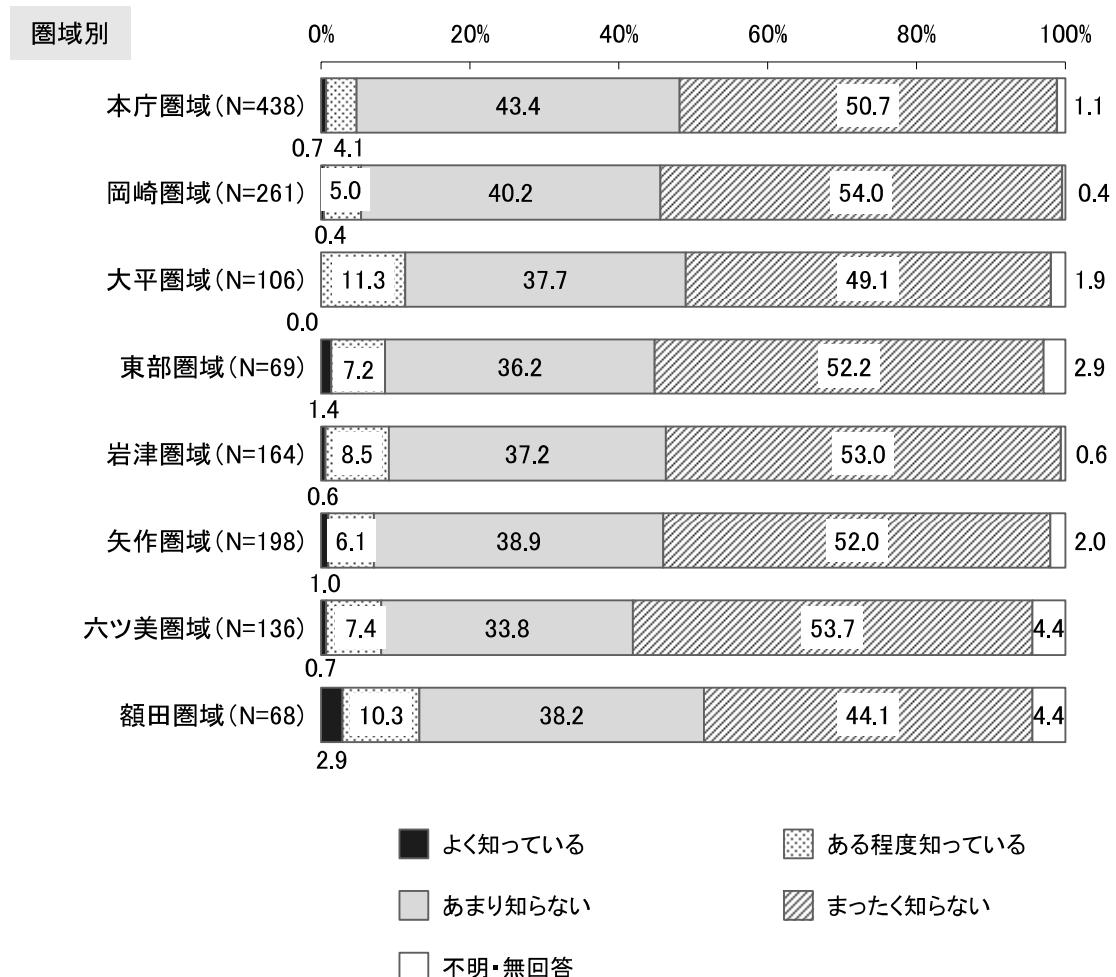
令和2年度調査では、全体で『知っている』が7.0%、『知らない』が91.2%となっています。

年齢区分別では、70～74歳及び75歳以上で『知っている』が1割を超えていました。なお、いずれの年代でも『知らない』が7割を超えています。

圏域別では、大平及び額田の各圏域で『知っている』がそれぞれ1割を超えていました。

経年で比較すると、『知らない』が令和2年度調査に91.2%と、平成27年と比べて3.2ポイント高くなっています。





問 22 岡崎市の地域福祉に関する取組についての、満足度と重要度をお答えください。回答例にならって、「満足度」と「重要度」のそれぞれについて、今のお気持ちに一番近い答えの番号（1～4）を1つ選んで○をつけてください。

本設問の選択肢は、以下のとおり合算して表記しています。

『満足』 …「満足」と「やや満足」の合算  
 『不満』 …「やや不満」と「不満」の合算

### 【満足度】

満足度については「2. 地域情報の発信・交換」「6. プライバシーの保護」「10. 民生委員児童委員・主任児童委員活動の充実」「14. 防災・防犯対策の充実」「15. 地域の組織・団体への加入促進」「16. ボランティア活動への参加の拡大」で『満足』がそれぞれ4割を超えています。一方、「13. 移動手段の確保」で『不満』が52.2%と、他と比べて高くなっています。



■ 満足 ▨ やや満足 □ やや不満 ▨ 不満 □ 不明・無回答

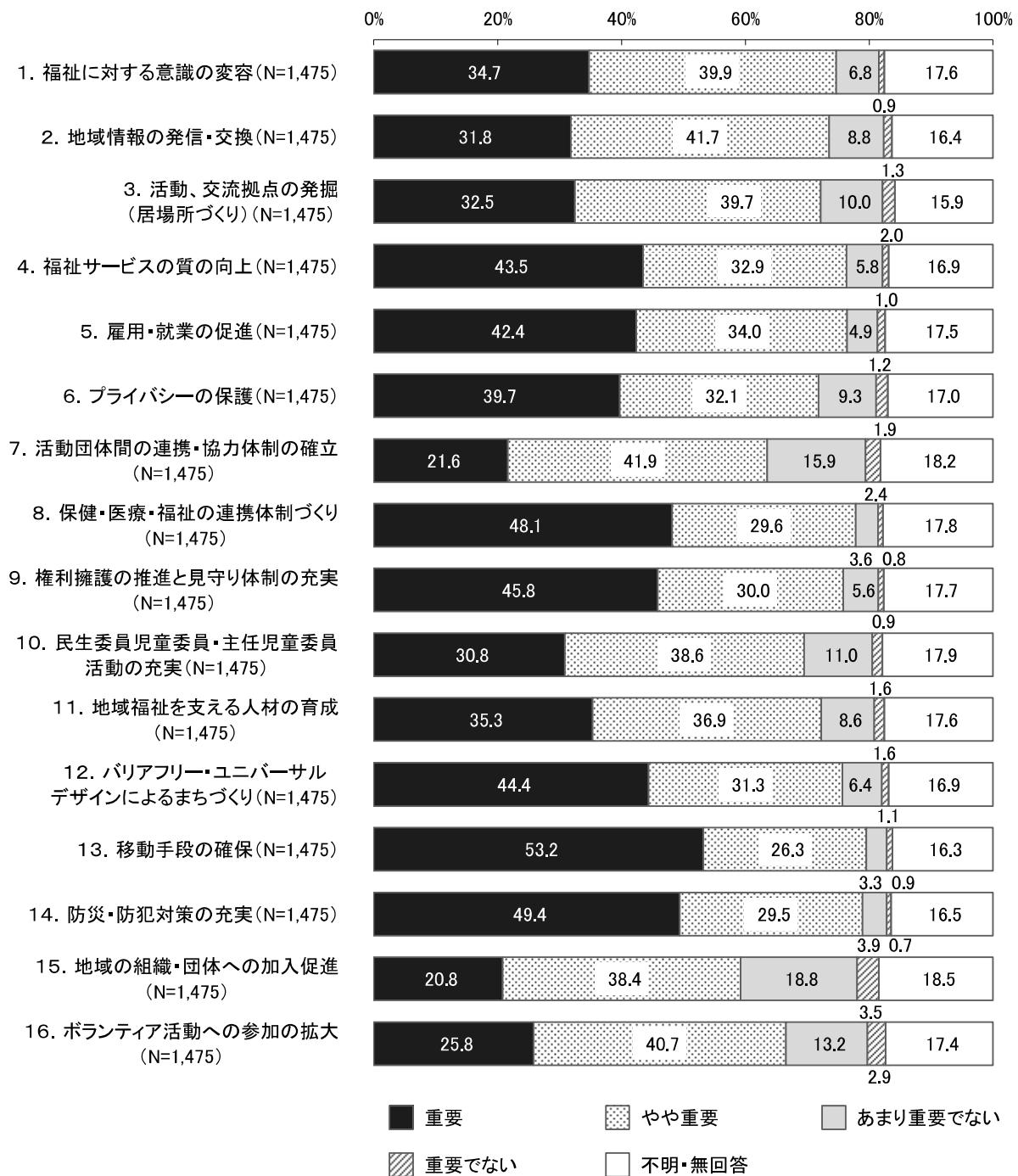
本設問の選択肢は、以下のとおり合算して表記しています。

『重要』 …「重要」と「やや重要」の合算

『重要でない』 …「あまり重要でない」と「重要でない」の合算

### 【重要度】

重要度については「8. 保健・医療・福祉の連携体制づくり」「13. 移動手段の確保」「14. 防災・防犯対策の充実」で『重要』がそれぞれ8割弱となっています。



## ■満足度・重要度の評価方法

岡崎市の地域福祉に関する取組（「1. 福祉に対する意識の変容」から「16. ボランティア活動への参加の拡大」の各項目）について、満足度、重要度により評価を行いました。

評価では、設問の4つの回答選択肢を点数化しています。点数は、満足度は「とても満足」の4点から「不満」の1点、重要度は「とても重要」の4点から「重要でない」の1点まで、それぞれ4段階評価としています。

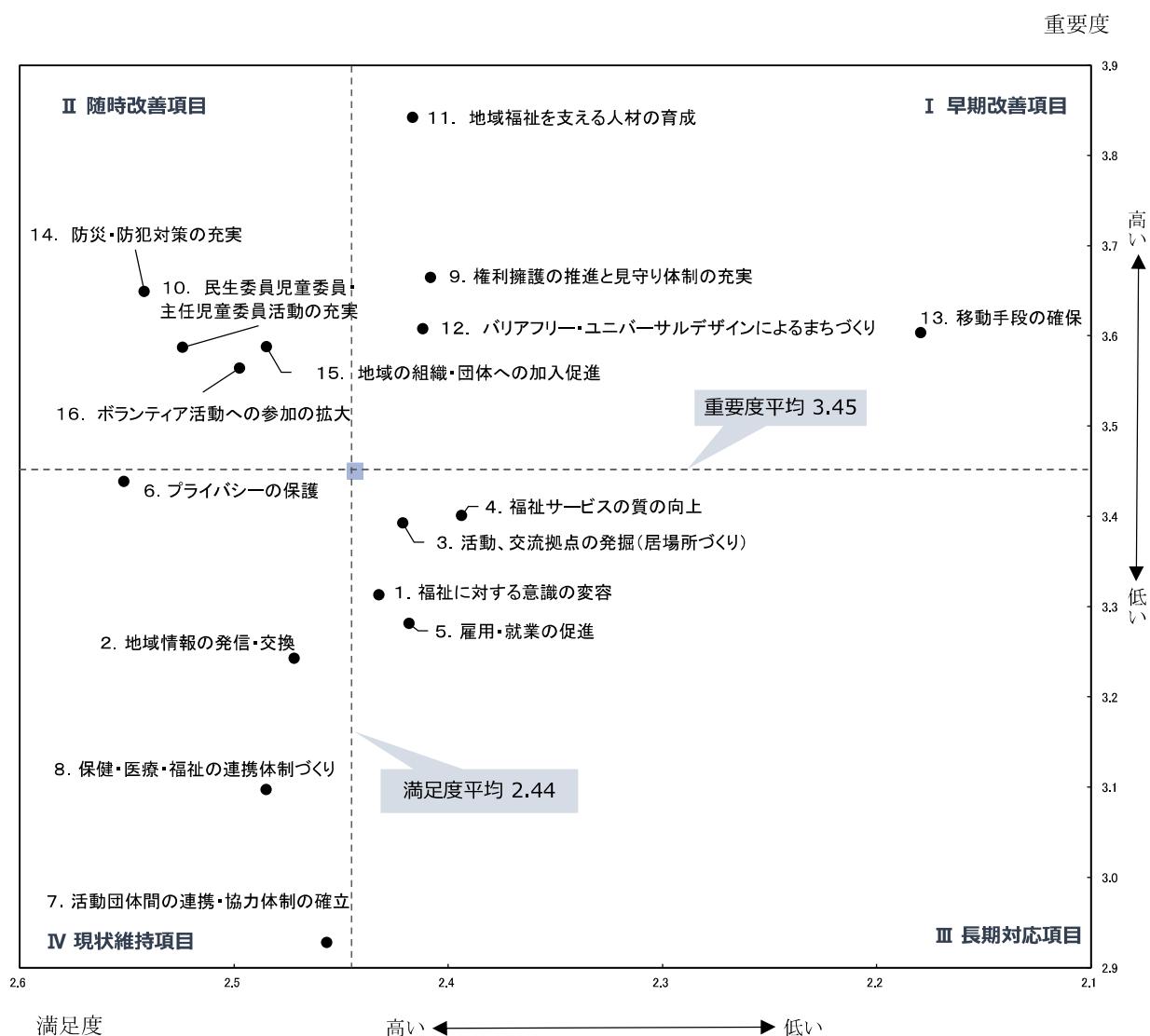
以上の点数を、「不明・無回答」を除く回答件数で除した、加重平均で平均値を算出しました。

## ■散布図の見方

領域	内容
I 早期改善項目	重要度が高いにもかかわらず、満足度が低く、優先して充実が求められている項目
II 隨時改善項目	満足度も重要度も高いため、継続して充実する必要がある項目
III 長期対応項目	満足度は低いものの重要度も低いため、他の項目の優先順位を勘案しながら、満足度を向上していくべき項目
IV 現状維持項目	満足度は高く、重要度が低いため、今後満足度の低い他の項目へ優先順位をシフトしていくことを検討する必要がある項目

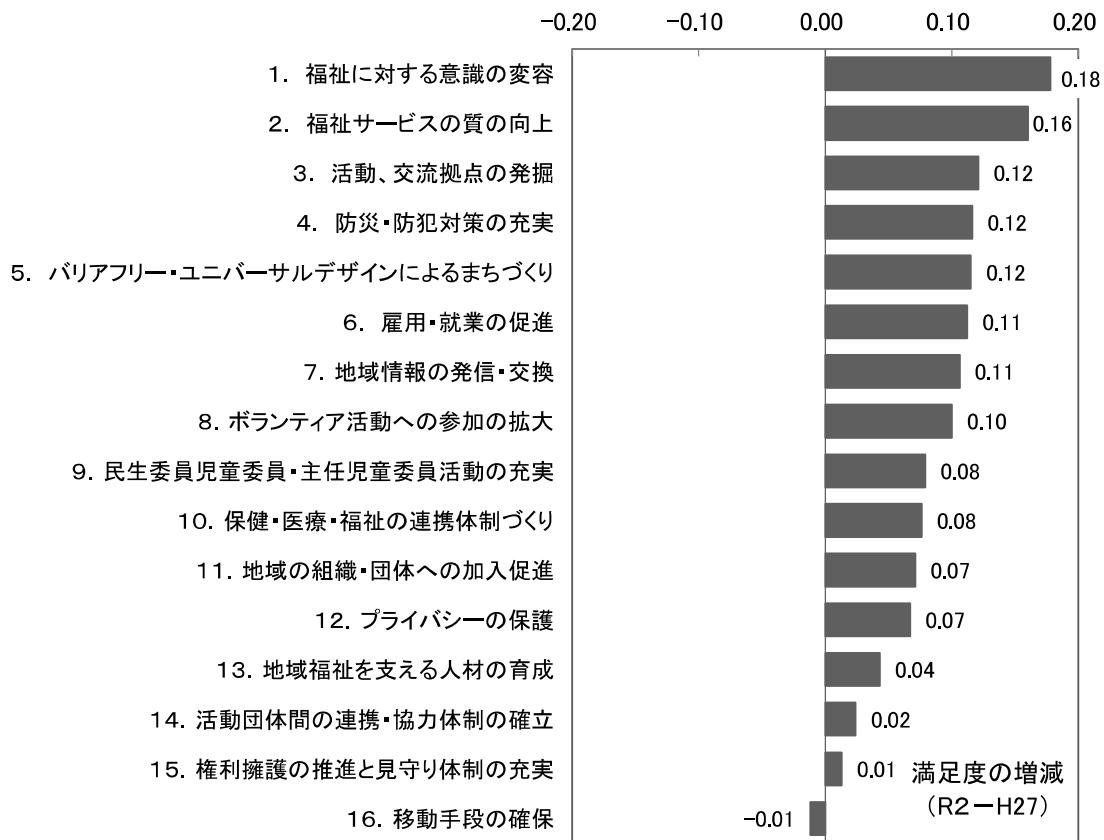
## ■散布図

重要度が高いにもかかわらず満足度が低く、優先して充実が求められている「I 早期改善項目」には、「13. 移動手段の確保」、「11. 地域福祉を支える人材の育成」、「9. 権利擁護の推進と見守り体制の充実」、「12. バリアフリー・ユニバーサルデザインによるまちづくり」が挙がっています。



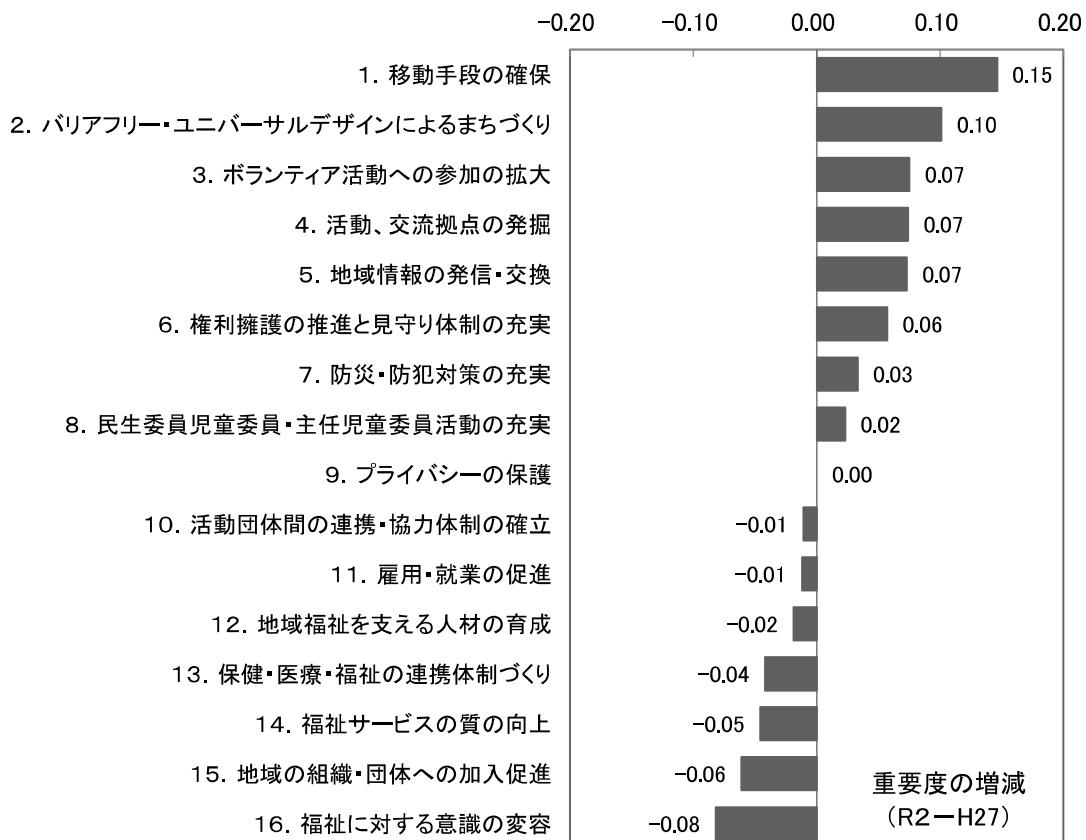
## ■平成 27 年度調査との比較（満足度）

平成 27 年度調査との満足度の比較について、「1. 福祉に対する意識の変容」で 0.18 と、16 項目の中で最も満足度が上がっています。一方、「16. 移動手段の確保」で-0.01 と唯一満足度が下がっています。



## ■平成 27 年度調査との比較（重要度）

平成 27 年度調査との重要度の比較について、「1. 移動手段の確保」で 0.15 と、16 項目の中で最も重要度が上がっています。一方、16 項目中の 7 項目で重要度が下がっています。



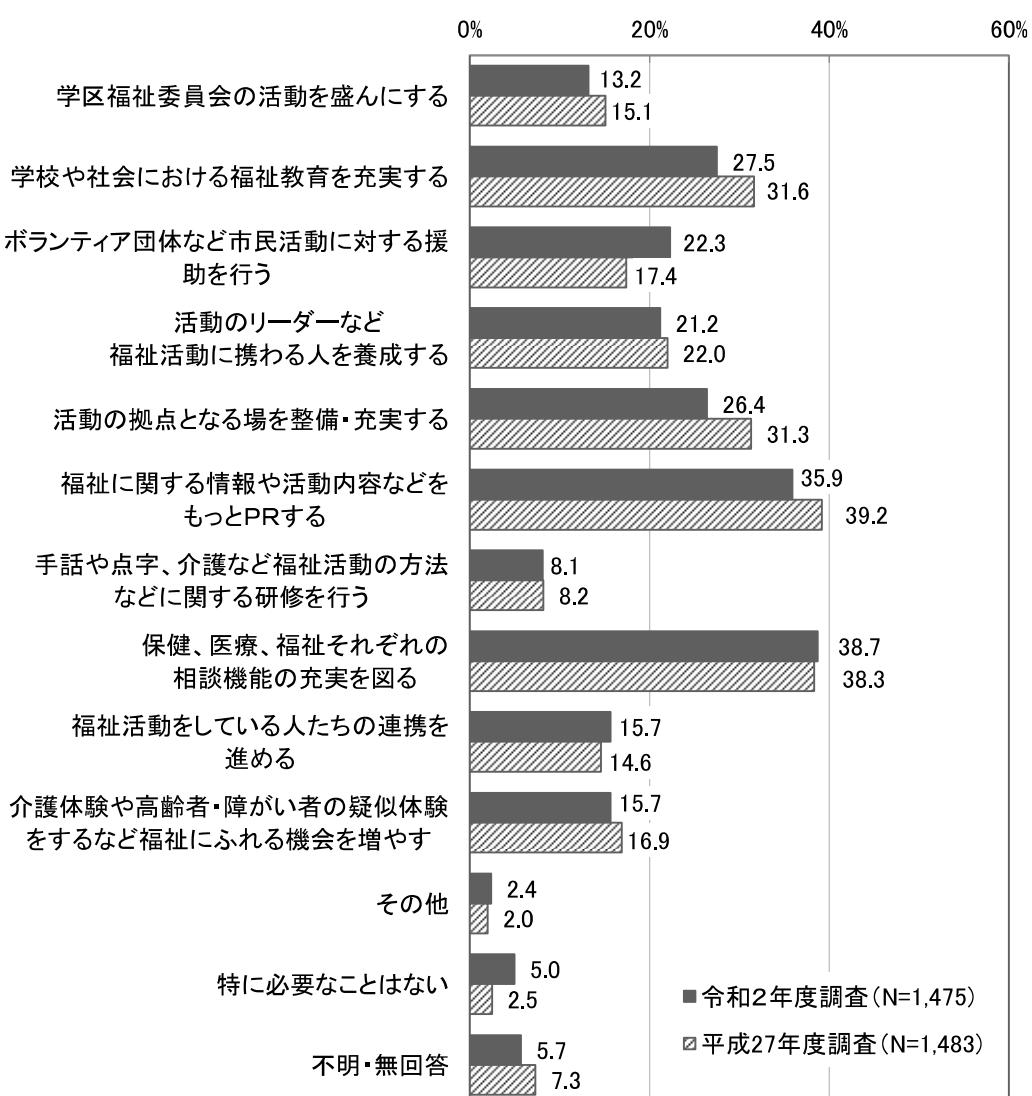
## 問 23 地域の助け合いや福祉活動を進めるために、どのようなことが必要だと思いますか。(3つまでの番号に○)

令和2年度調査では、全体で「保健、医療、福祉それぞれの相談機能の充実を図る」が38.7%と最も高く、次いで「福祉に関する情報や活動内容などをもっとPRする」が35.9%、「学校や社会における福祉教育を充実する」が27.5%となっています。

年齢区分別では、20歳未満で「介護体験や高齢者・障がい者の疑似体験をするなど福祉にふれる機会を増やす」が30.8%と、他の年代と比べて高くなっています。

圏域別では、いずれの圏域でも「福祉に関する情報や活動内容などをもっとPRする」「保健、医療、福祉それぞれの相談機能の充実を図る」が3割を超えていました。

経年で比較すると、「ボランティア団体など市民活動に対する援助を行う」が令和2年度調査に22.3%と、平成27年度調査と比べて4.9ポイント高くなっています。一方、「活動の拠点となる場を整備・充実する」が令和2年度調査に26.4%と、平成27年度調査と比べて4.9ポイント低くなっています。



## ■クロス集計集

(単位 : %)

		区分													
		学区福祉委員会の活動を盛んにする													
		学校や社会における福祉教育を充実する													
		20 歳未満 (N=26)	7.7	30.8	15.4	11.5	34.6	42.3	0.0	42.3	7.7	30.8	0.0	3.8	0.0
年齢区分別	20~29 歳 (N=105)	12.4	42.9	25.7	16.2	26.7	27.6	15.2	30.5	21.9	18.1	1.9	3.8	1.0	
	30~39 歳 (N=179)	10.6	35.8	18.4	17.9	32.4	31.3	7.8	39.7	20.7	11.7	4.5	6.1	1.1	
	40~49 歳 (N=230)	10.4	33.5	24.3	17.0	30.9	30.9	10.9	38.3	17.8	14.3	2.6	4.8	0.9	
	50~59 歳 (N=222)	10.4	30.2	25.2	18.5	31.5	35.6	10.4	43.2	17.6	15.3	2.3	5.0	1.8	
	60~64 歳 (N=109)	11.9	28.4	22.9	30.3	34.9	38.5	4.6	43.1	19.3	11.9	2.8	1.8	1.8	
	65~69 歳 (N=145)	9.7	17.2	24.1	27.6	20.7	46.2	12.4	40.0	10.3	16.6	1.4	4.1	8.3	
	70~74 歳 (N=140)	17.1	20.7	27.9	29.3	22.1	48.6	5.0	40.7	12.9	16.4	2.9	3.6	7.1	
	75 歳以上 (N=301)	19.3	17.9	16.3	20.9	17.6	33.6	3.0	34.9	11.3	18.3	2.0	7.0	16.3	
	本庁圏域 (N=438)	11.4	29.2	23.5	22.1	26.0	36.8	7.5	37.7	13.7	17.4	2.5	4.1	4.8	
圏域別	岡崎圏域 (N=261)	15.3	27.2	21.1	25.3	25.3	36.8	9.2	39.5	14.6	12.3	1.9	6.1	5.4	
	大平圏域 (N=106)	8.5	25.5	17.9	16.0	34.0	40.6	7.5	43.4	6.6	19.8	2.8	4.7	6.6	
	東部圏域 (N=69)	13.0	23.2	24.6	23.2	24.6	36.2	5.8	34.8	17.4	20.3	1.4	5.8	7.2	
	岩津圏域 (N=164)	12.8	28.7	25.0	17.1	24.4	32.9	6.1	40.9	15.2	15.2	1.2	6.7	7.9	
	矢作圏域 (N=198)	15.7	27.8	21.7	19.7	32.3	36.4	8.6	35.4	19.7	13.6	3.0	5.1	2.5	
	六ツ美圏域 (N=136)	8.8	28.7	17.6	22.1	22.1	30.9	13.2	42.6	24.3	19.1	3.7	4.4	6.6	
	額田圏域 (N=68)	23.5	20.6	26.5	22.1	26.5	36.8	4.4	36.8	19.1	8.8	2.9	1.5	8.8	

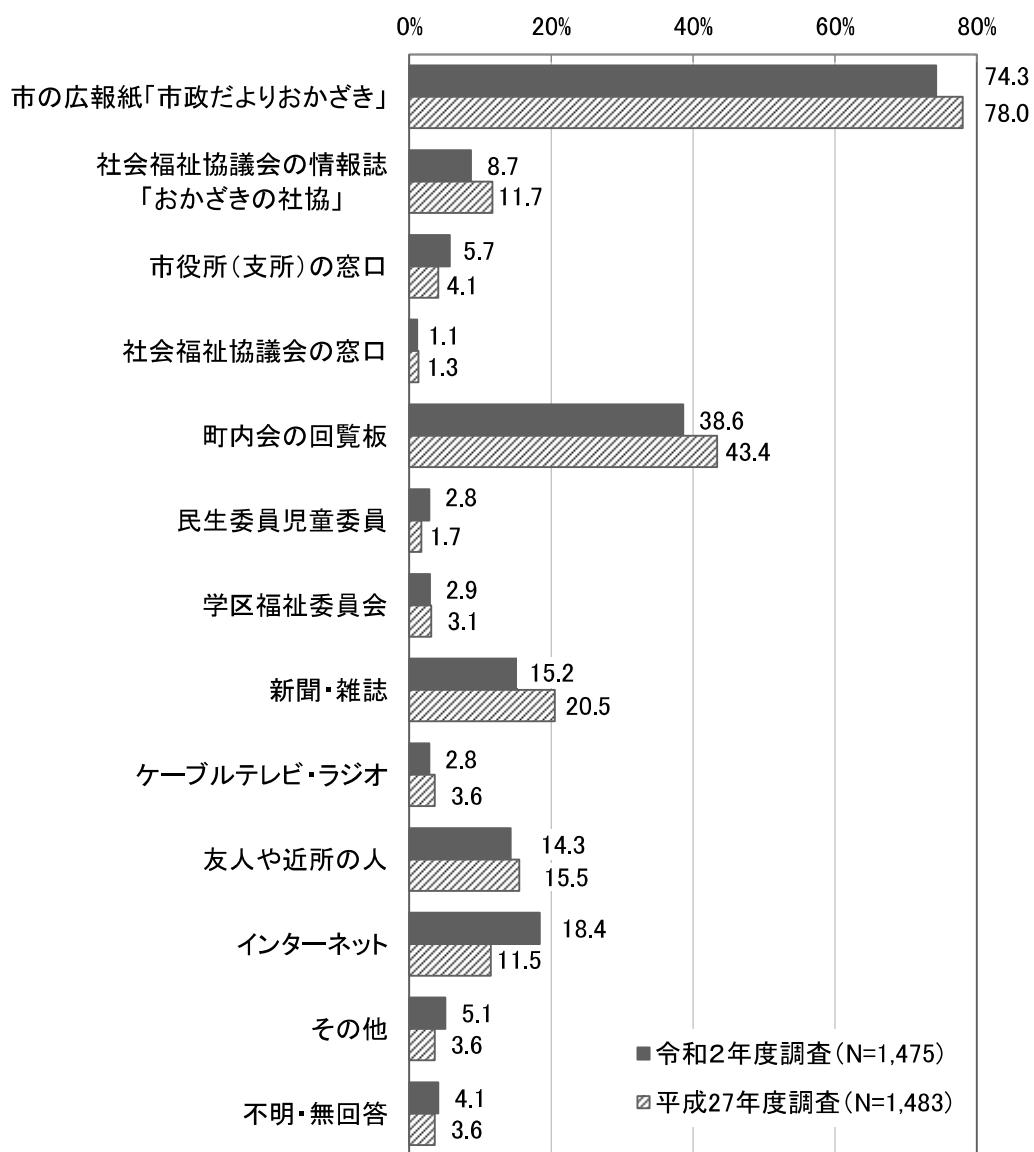
問24 あなたは、福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。  
(あてはまるすべての番号に○)

令和2年度調査では、全体で「市の広報紙「市政だよりおかざき」」が 74.3%と最も高く、次いで「町内会の回覧板」が 38.6%、「インターネット」が 18.4%となっています。

年齢区分別では、70~74 歳で「社会福祉協議会の情報誌「おかざきの社協」」が 20.0%と、他の年代と比べて高くなっています。なお、20 歳未満、20~29 歳及び 30~39 歳で「インターネット」が3割を超えていました。

圏域別では、額田圏域で「社会福祉協議会の情報誌「おかざきの社協」」が 26.5%と、他の圏域と比べて高くなっています。なお、いずれの圏域でも「市の広報紙「市政だよりおかざき」」「町内会の回覧板」が高くなっています。

経年で比較すると、「インターネット」が令和2年度調査に 18.4%と、平成27年度調査と比べて 6.9 ポイント高くなっています。



## ■クロス集計集

(単位 : %)

区分		市の広報紙「市政だよりおかざき」	社会福祉協議会の情報誌「おかざきの社協」	市役所(支所)の窓口	社会福祉協議会の窓口	町内会の回覧板	民生委員児童委員	学区福祉委員会	新聞・雑誌	ケーブルテレビ・ラジオ	友人や近所の人	インターネット	その他	不明・無回答
年齢区分別	20歳未満 (N=26)	46.2	0.0	0.0	0.0	23.1	0.0	0.0	11.5	0.0	15.4	30.8	11.5	3.8
	20~29歳 (N=105)	45.7	3.8	1.9	0.0	14.3	0.0	0.0	11.4	3.8	13.3	37.1	8.6	2.9
	30~39歳 (N=179)	65.4	3.4	5.0	0.0	31.3	1.1	1.7	8.4	2.8	15.6	32.4	6.1	2.8
	40~49歳 (N=230)	80.0	2.2	3.9	1.7	33.9	1.3	0.4	10.0	1.7	14.3	29.1	6.1	0.9
	50~59歳 (N=222)	80.2	8.1	9.0	1.4	36.5	2.7	1.4	14.0	2.3	14.0	23.4	5.9	1.4
	60~64歳 (N=109)	84.4	11.9	6.4	2.8	43.1	2.8	3.7	15.6	6.4	13.8	15.6	3.7	2.8
	65~69歳 (N=145)	83.4	13.1	9.7	0.7	45.5	1.4	2.8	20.7	2.8	13.8	10.3	3.4	3.4
	70~74歳 (N=140)	81.4	20.0	3.6	0.7	54.3	5.7	8.6	19.3	2.1	13.6	4.3	2.9	5.0
	75歳以上 (N=301)	73.4	11.6	6.0	1.3	46.8	5.6	5.3	20.6	3.0	14.6	1.3	3.3	10.0
圏域別	本庁圏域 (N=438)	77.4	7.3	7.5	0.9	35.8	1.8	1.4	14.8	3.7	12.8	19.6	5.3	3.9
	岡崎圏域 (N=261)	73.6	8.8	4.6	1.1	36.4	1.9	4.6	11.5	3.1	13.8	19.9	6.5	3.8
	大平圏域 (N=106)	76.4	6.6	6.6	1.9	47.2	1.9	1.9	19.8	2.8	15.1	21.7	4.7	2.8
	東部圏域 (N=69)	76.8	5.8	8.7	0.0	43.5	1.4	0.0	8.7	4.3	7.2	10.1	2.9	5.8
	岩津圏域 (N=164)	76.2	7.9	3.7	0.6	43.9	6.1	3.0	17.1	1.8	12.8	14.0	4.9	3.7
	矢作圏域 (N=198)	72.2	11.6	6.1	0.5	41.4	3.5	1.5	17.7	1.5	17.2	20.2	4.5	3.0
	六ツ美圏域 (N=136)	73.5	5.1	2.9	0.7	36.0	3.7	5.9	17.6	2.2	20.6	18.4	4.4	5.1
	額田圏域 (N=68)	66.2	26.5	5.9	5.9	42.6	4.4	10.3	13.2	1.5	17.6	7.4	1.5	7.4

## 問 25 あなたは、自分にとって必要な福祉サービスの情報をどの程度入手できていると思いますか。(1つの番号に○)

本設問の選択肢は、以下のとおり合算して表記しています。

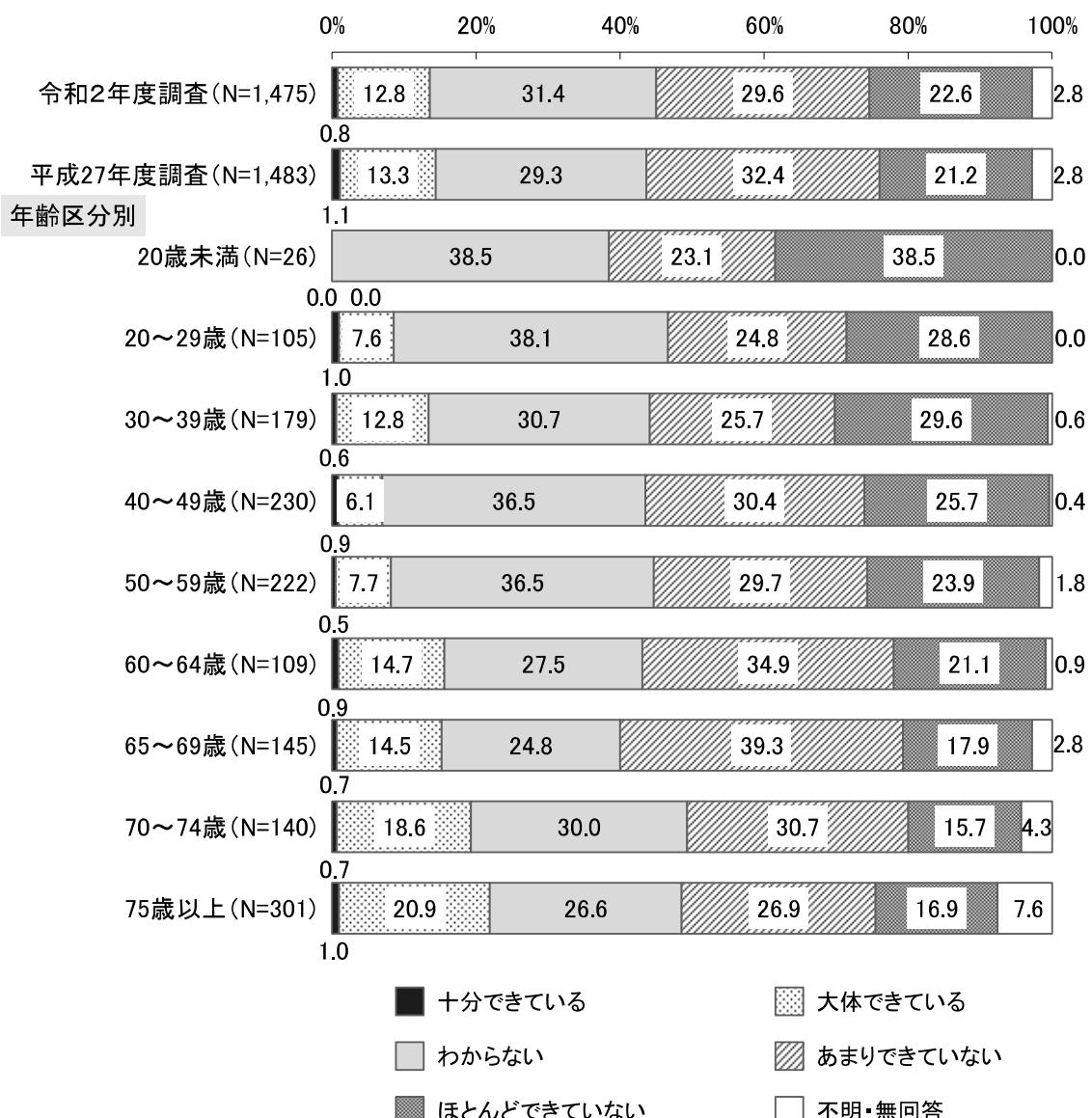
『できている』 …「十分できている」と「大体できている」の合算

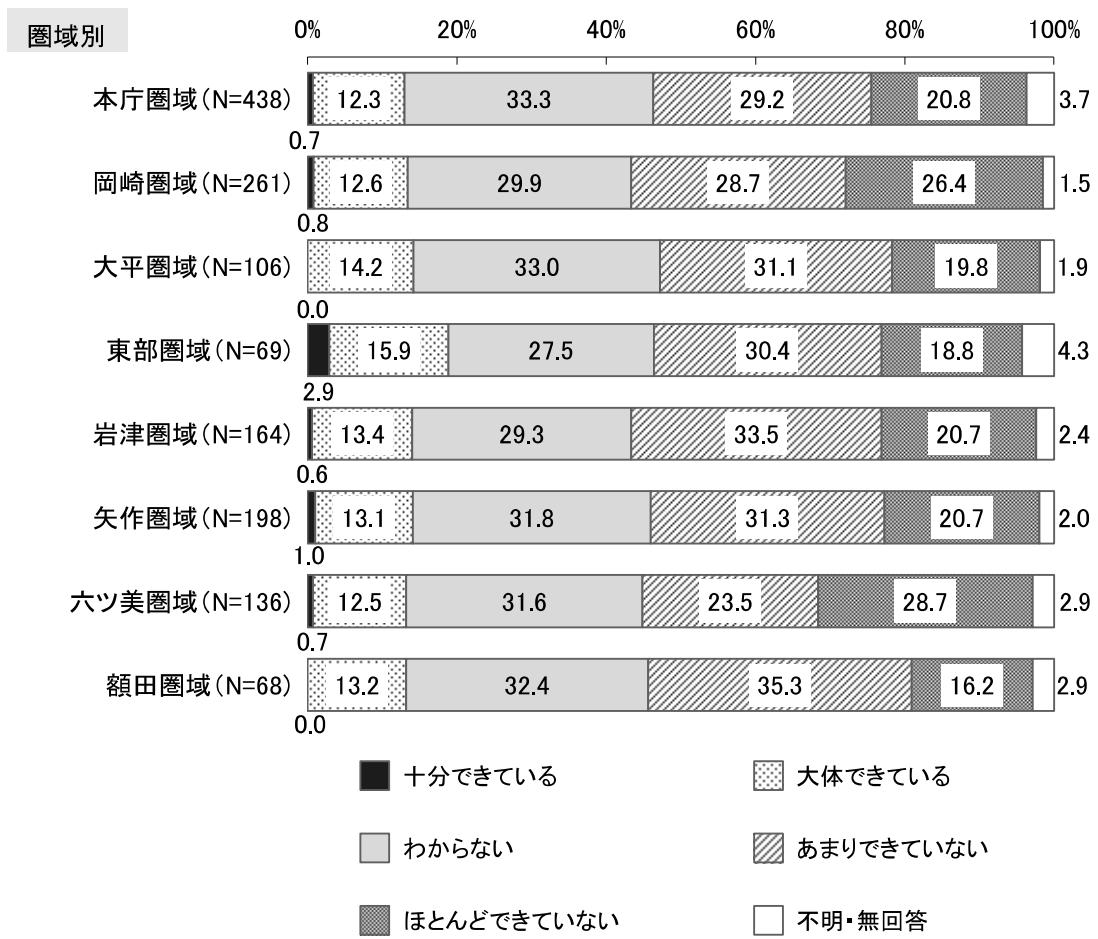
『できていない』 …「あまりできていない」と「ほとんどできていない」の合算

令和2年度調査では、全体で『できている』が13.6%、「わからない」が31.4%、『できていない』が52.2%となっています。

年齢区分別では、75歳以上で『できている』が、21.9%と、他の年代と比べて高くなっています。なお、20歳未満で『できていない』が6割を超えています。

圏域別では、東部圏域で『できている』が18.8%と、他の圏域と比べて高くなっています。経年で比較すると、大差はみられません。





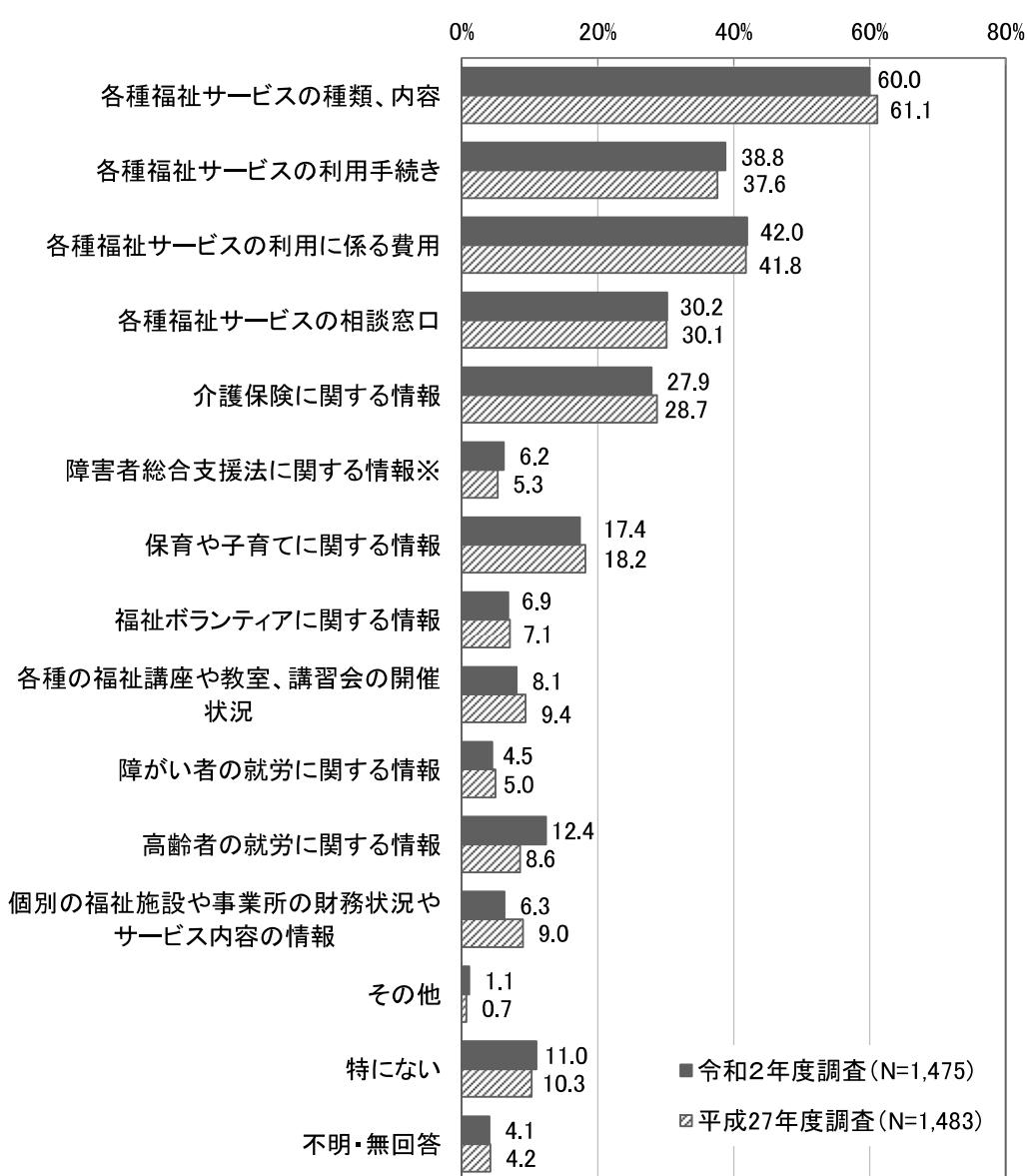
## 問26 あなたは福祉サービスに関してどのような情報を得たいですか。 (あてはまるすべての番号に○)

令和2年度調査では、全体で「各種福祉サービスの種類、内容」が60.0%と最も高く、次いで「各種福祉サービスの利用に係る費用」が42.0%、「各種福祉サービスの利用手続き」が38.8%となっています。

年齢区分別では、30～39歳で「保育や子育てに関する情報」が55.3%と、他の年代と比べて高くなっています。

圏域別では、いずれの圏域でも「各種福祉サービスの種類、内容」が最も高くなっています。

経年で比較すると、「高齢者の就労に関する情報」が令和2年度調査に12.4%と、平成27年度調査と比べて3.8ポイント高くなっています。



※選択肢について、令和2年度調査は「障害者総合支援法に関する情報」となっていますが、平成27年度調査は「障害者自立支援法に関する情報」です。

## ■クロス集計集

(単位 : %)

区分		種類、内容 各種福祉サービスの	各種福祉サービスの 利用手続き	各種福祉サービスの 利用に係る費用	各種福祉サービスの 相談窓口	各種福祉サービスの 介護保険に関する情報	障害者総合支援法に 関する情報※	保育や子育てに 関する情報	福祉ボランティアに 関する情報	各種の福祉講座や教室、 講習会の開催状況
年齢区分別	20歳未満 (N=26)	42.3	15.4	23.1	3.8	23.1	7.7	23.1	15.4	0.0
	20~29歳 (N=105)	53.3	31.4	32.4	21.9	8.6	5.7	37.1	10.5	5.7
	30~39歳 (N=179)	53.6	34.6	38.0	24.6	11.7	2.8	55.3	8.4	7.3
	40~49歳 (N=230)	63.9	36.1	44.3	34.3	23.5	7.0	33.9	6.1	6.5
	50~59歳 (N=222)	65.3	41.9	47.7	33.8	32.4	9.0	8.1	7.2	12.2
	60~64歳 (N=109)	67.0	47.7	44.0	33.9	33.0	6.4	6.4	6.4	9.2
	65~69歳 (N=145)	72.4	42.8	53.8	34.5	37.2	6.2	0.7	5.5	9.7
	70~74歳 (N=140)	65.7	47.1	46.4	31.4	39.3	4.3	1.4	7.9	10.7
圏域別	75歳以上 (N=301)	49.8	36.9	34.9	28.9	31.2	6.3	1.3	4.3	6.3
	本庁圏域 (N=438)	64.2	42.2	43.8	33.3	26.9	6.4	18.0	6.8	7.8
	岡崎圏域 (N=261)	62.5	39.8	43.3	33.7	27.6	5.0	19.2	7.3	8.8
	大平圏域 (N=106)	62.3	37.7	44.3	24.5	25.5	9.4	14.2	5.7	12.3
	東部圏域 (N=69)	52.2	31.9	44.9	30.4	31.9	2.9	8.7	2.9	4.3
	岩津圏域 (N=164)	56.7	36.0	43.9	23.2	26.8	6.7	18.3	7.3	7.9
	矢作圏域 (N=198)	59.6	40.4	40.4	32.8	32.8	5.6	21.7	9.6	8.6
	六ツ美圏域 (N=136)	53.7	33.1	36.0	27.2	27.2	5.9	15.4	5.1	8.8
	額田圏域 (N=68)	54.4	42.6	41.2	26.5	23.5	7.4	10.3	2.9	5.9

※選択肢について、令和2年度調査は「障害者総合支援法に関する情報」となっていますが、平成27年度調査は「障害者自立支援法に関する情報」です。

## ■クロス集計集

(単位：%)

区分		障がい者の就労に関する情報	高齢者の就労に関する情報	個別の福祉施設や事業所の財務状況やサービス内容の情報	その他	特になし	不明・無回答
年齢区分別	20歳未満 (N=26)	0.0	11.5	3.8	3.8	<b>26.9</b>	0.0
	20~29歳 (N=105)	7.6	4.8	6.7	1.0	18.1	0.0
	30~39歳 (N=179)	4.5	3.9	2.8	0.0	16.2	0.6
	40~49歳 (N=230)	6.1	7.8	6.5	0.9	8.3	0.9
	50~59歳 (N=222)	9.0	21.6	8.6	1.8	12.6	1.4
	60~64歳 (N=109)	4.6	21.1	5.5	0.0	9.2	2.8
	65~69歳 (N=145)	2.8	21.4	6.2	0.7	7.6	3.4
	70~74歳 (N=140)	0.7	12.1	8.6	2.1	7.1	3.6
	70歳以上 (N=301)	1.7	9.0	6.0	1.3	9.3	13.3
圏域別	本庁圏域 (N=438)	6.2	12.1	6.4	1.4	8.0	4.3
	岡崎圏域 (N=261)	3.8	11.1	5.7	0.8	12.6	3.1
	大平圏域 (N=106)	1.9	11.3	6.6	1.9	11.3	2.8
	東部圏域 (N=69)	4.3	10.1	5.8	1.4	8.7	8.7
	岩津圏域 (N=164)	3.7	11.6	5.5	0.6	13.4	3.0
	矢作圏域 (N=198)	5.1	14.6	4.5	1.0	10.1	2.5
	六ツ美圏域 (N=136)	4.4	14.7	10.3	0.7	16.9	4.4
額田圏域 (N=68)		0.0	13.2	7.4	1.5	7.4	7.4

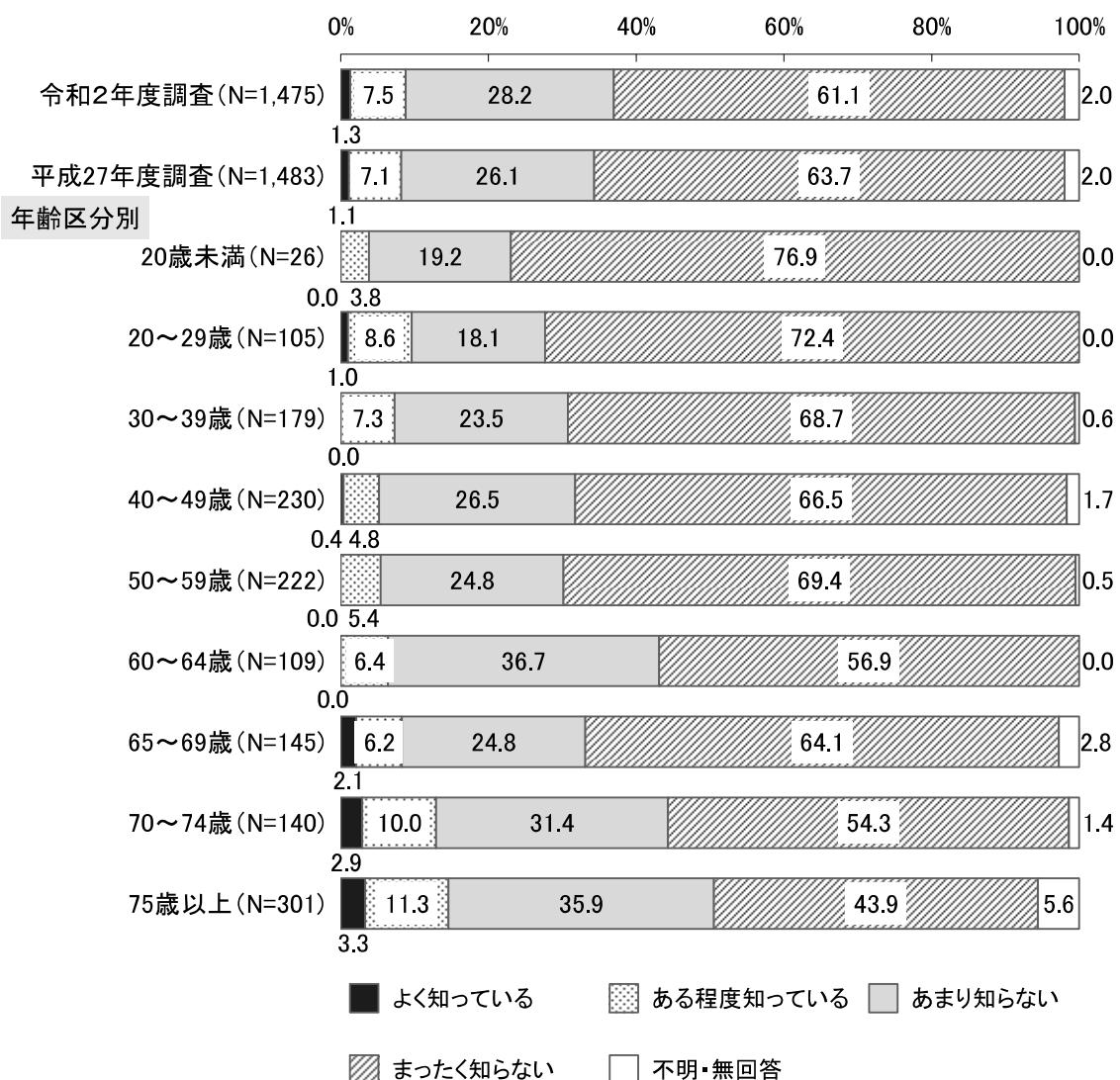
## 問 27 あなたは、地域福祉の相談員であるコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を知っていますか。（1つの番号に○）

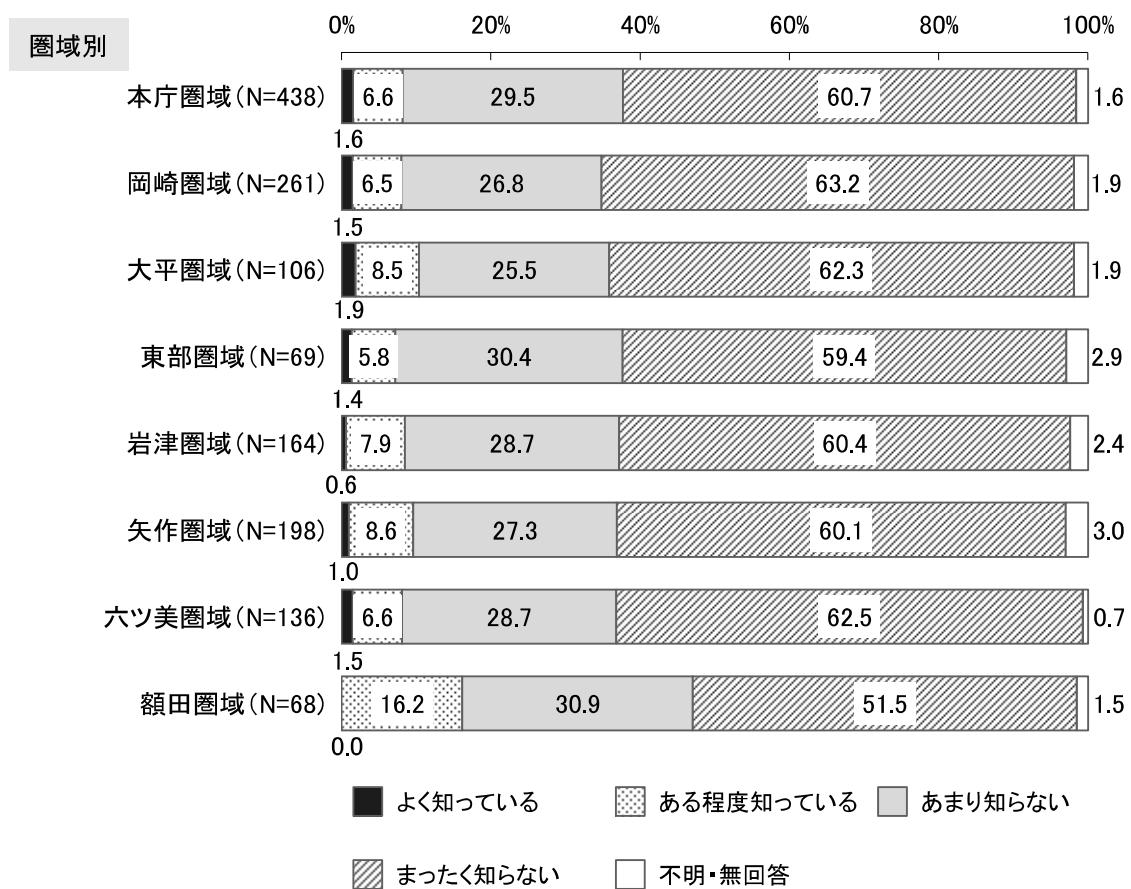
本設問の選択肢は、以下のとおり合算して表記しています。

- 『知っている』 …「よく知っている」と「ある程度知っている」の合算  
『知らない』 …「あまり知らない」と「まったく知らない」の合算

令和2年度調査では、全体で『知っている』が8.8%、『知らない』が89.3%となっています。年齢区別では、75歳以上で『知っている』が、他の年代と比べて高くなっています。なお、いずれの年代でも『知らない』が7割を超えていました。

圏域別では、額田圏域で『知っている』が16.2%と、他の圏域と比べて高くなっています。経年で比較すると、大差はみられません。



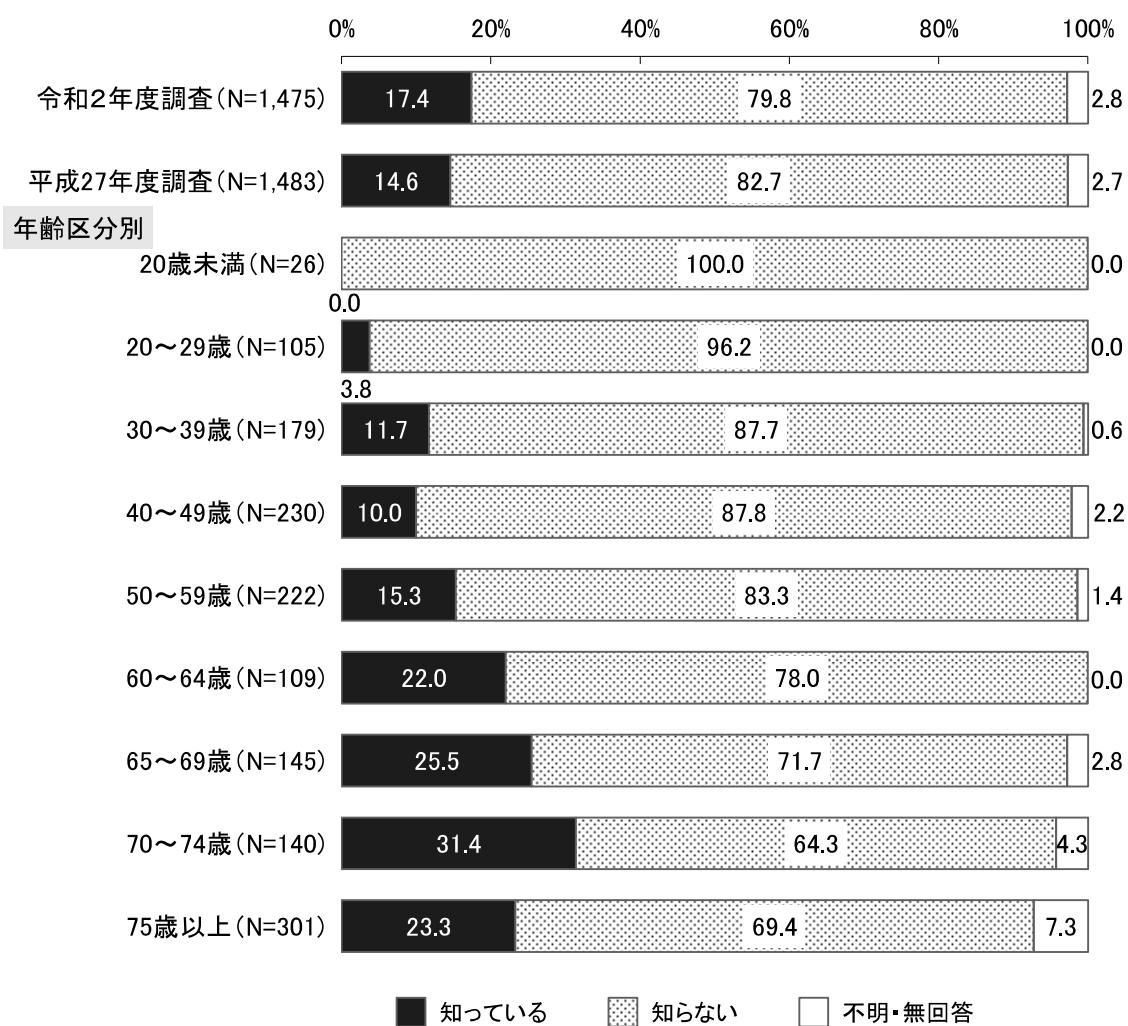


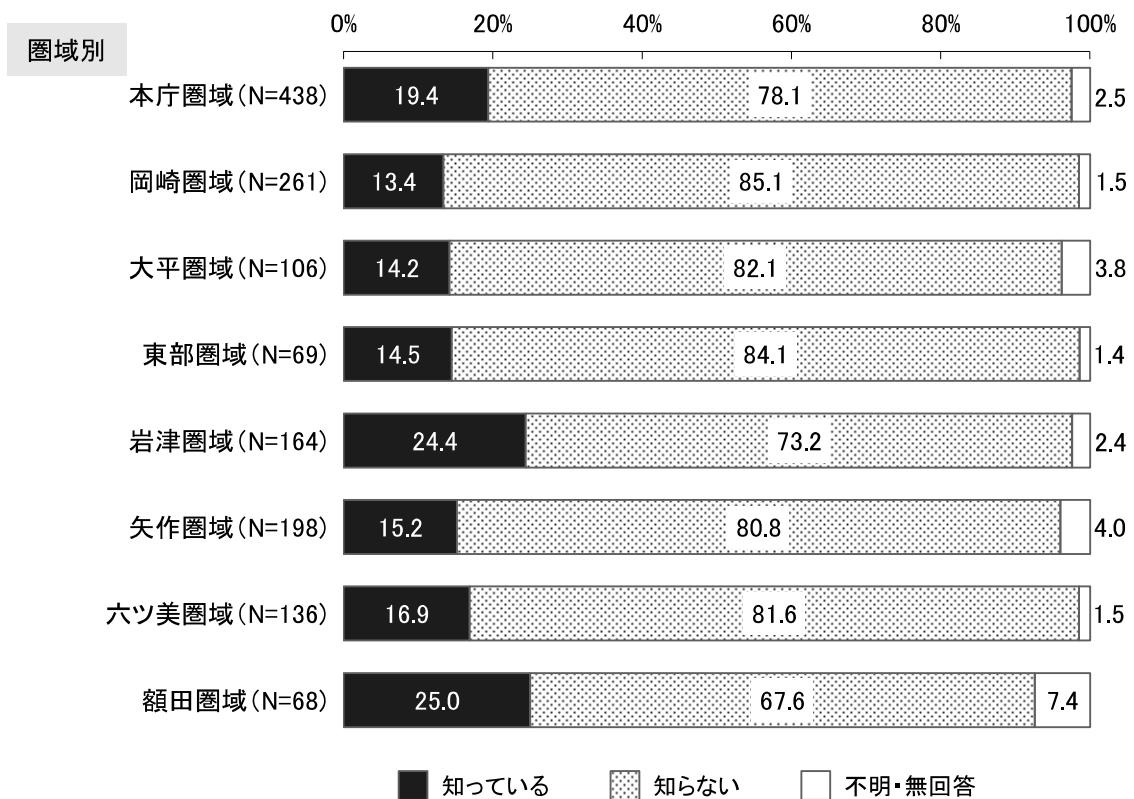
## 5 災害時の支援について

問28 あなたは、岡崎市の制度で、災害時避難行動要支援者支援制度があるのを知っていますか。(どちらかに○)

令和2年度調査では全体で「知っている」が17.4%、「知らない」が79.8%となっています。年齢区別では、年齢が上がるにつれて「知っている」がおよそ高くなっています。なお、いずれの年代でも「知らない」が、6割を超えていています。

圏域別では、岩津及び額田の各圏域で、「知っている」が2割を超えて高くなっています。経年で比較すると、「知らない」が令和2年度調査に79.8%と、平成27年度調査と比べて2.9ポイント低くなっています。





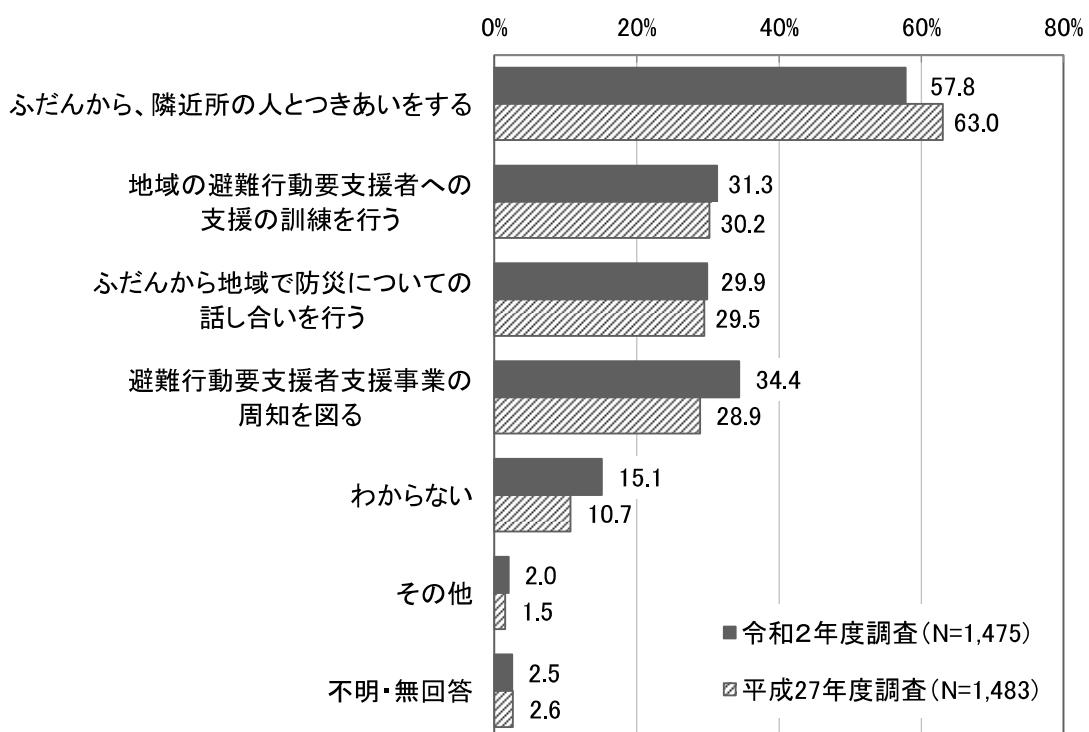
問29 高齢者だけの世帯や障がいのある人のいる世帯（以下、「避難行動要支援者」といいます）などは災害時にさまざまな支援が必要です。どのようにすれば、災害時に支援ができると思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

令和2年度調査では、全体で「ふだんから、隣近所の人とつきあいをする」が57.8%と最も高く、次いで「避難行動要支援者支援事業の周知を図る」が34.4%、「地域の避難行動要支援者への支援の訓練を行う」が31.3%となっています。

年齢区分別では、50～59歳で「地域の避難行動要支援者への支援の訓練を行う」が、他の年代と比べて高くなっています。

圏域別では、額田圏域で「ふだんから、隣近所の人とつきあいをする」が、矢作圏域で「地域の避難行動要支援者への支援の訓練を行う」が、他の圏域と比べて高くなっています。

経年で比較すると、「避難行動要支援者支援事業の周知を図る」が令和2年度調査に34.4%と、平成27年度調査と比べて5.5ポイント高くなっています。



## ■クロス集計集

(単位：%)

区分		ふだんから、隣近所の人とつきあいをする	地域の避難行動要支援者への支援の訓練を行う	ふだんから地域で防災についての話し合いを行う	避難行動要支援者支援事業の周知を図る	わからない	その他	不明・無回答
年齢区分別	20歳未満 (N=26)	46.2	34.6	7.7	50.0	15.4	0.0	0.0
	20～29歳 (N=105)	52.4	34.3	25.7	38.1	18.1	3.8	0.0
	30～39歳 (N=179)	57.0	34.1	29.6	37.4	15.1	2.2	1.7
	40～49歳 (N=230)	50.9	31.7	23.5	38.7	15.2	3.5	1.3
	50～59歳 (N=222)	55.9	40.5	33.3	39.2	12.6	2.3	0.9
	60～64歳 (N=109)	57.8	34.9	34.9	40.4	9.2	1.8	0.9
	65～69歳 (N=145)	69.0	31.7	31.7	34.5	9.0	2.1	2.1
	70～74歳 (N=140)	67.1	32.9	32.1	33.6	15.7	0.0	2.1
圏域別	75歳以上 (N=301)	58.1	19.9	31.2	21.3	20.3	1.3	7.0
	本庁圏域 (N=438)	56.6	28.5	25.3	34.0	15.5	2.5	2.5
	岡崎圏域 (N=261)	60.5	34.5	36.0	34.5	13.8	1.9	1.5
	大平圏域 (N=106)	56.6	26.4	38.7	30.2	12.3	1.9	2.8
	東部圏域 (N=69)	52.2	17.4	26.1	30.4	23.2	0.0	5.8
	岩津圏域 (N=164)	61.6	32.9	25.6	34.1	16.5	1.2	2.4
	矢作圏域 (N=198)	59.6	39.9	28.8	35.9	11.6	2.0	3.5
	六ツ美圏域 (N=136)	52.9	33.1	31.6	39.0	14.7	2.9	1.5
	額田圏域 (N=68)	67.6	29.4	38.2	32.4	16.2	0.0	0.0

## 6 社会福祉協議会について

### 問30 岡崎市社会福祉協議会を知っていますか。（1つの番号に○）

本設問の選択肢は、以下のとおり合算して表記しています。

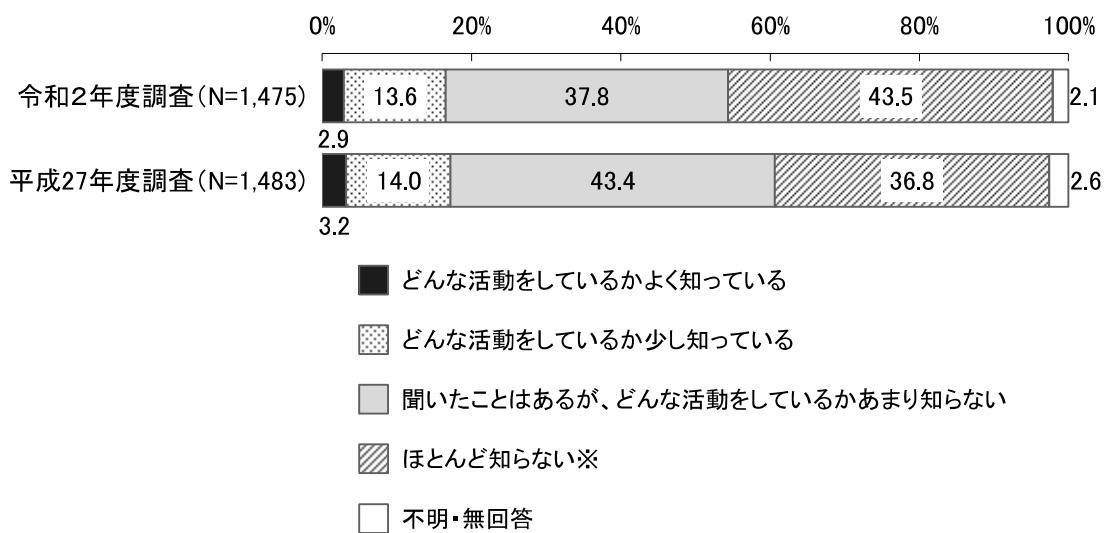
- |         |   |
|---------|---|
| 『知っている』 | …「どんな活動をしているかよく知っている」と「どんな活動をしているか少し知っている」の合算 |
| 『知らない』  | …「聞いたことはあるが、どんな活動をしているかあまり知らない」と「ほとんど知らない」の合算 |

令和2年度調査では、全体で『知っている』16.5%、『知らない』81.3%となっています。

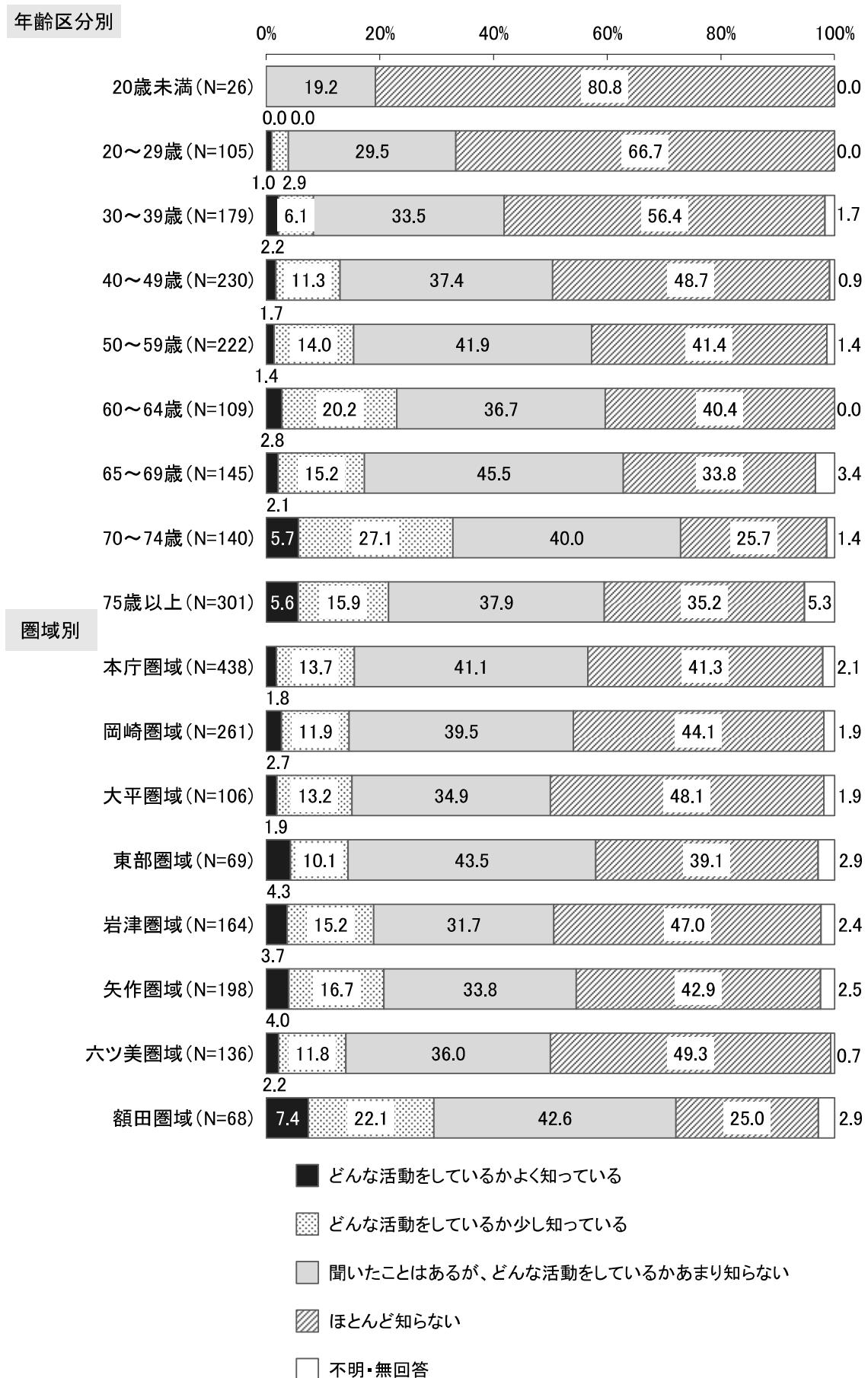
年齢区分別では、70～74歳で『知っている』が32.8%と、他の年代と比べて高くなっています。

圏域別では、額田圏域で『知っている』が29.5%と、他の圏域と比べて高くなっています。

経年で比較すると、『知らない』が令和2年度調査に81.3%と、平成27年度調査と比べて1.1ポイント高くなっています。

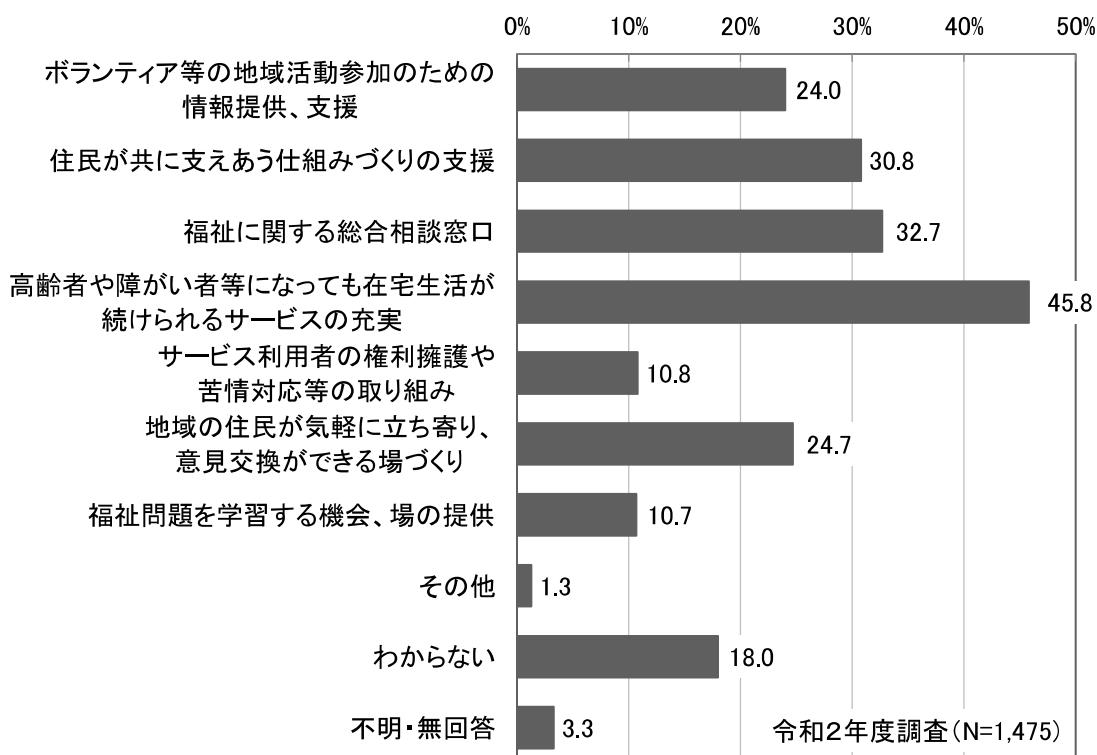


※選択肢について、令和2年度調査は「ほとんど知らない」となっていますが、平成27年度調査は「まったく知らない」です。



問31 今後、岡崎市社会福祉協議会に期待することはどなたですか。  
(3つまでの番号に○)

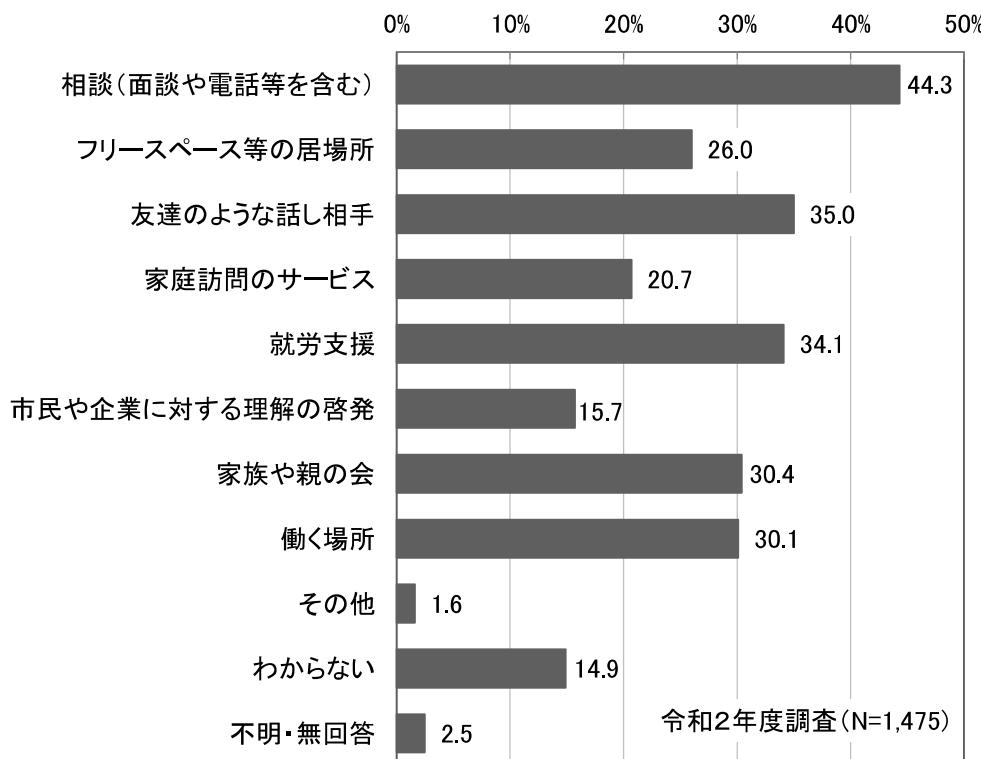
令和2年度調査では、全体で「高齢者や障がい者等になっても在宅生活が続けられるサービスの充実」が45.8%と最も高く、次いで「福祉に関する総合相談窓口」が32.7%、「住民が共に支えあう仕組みづくりの支援」が30.8%となっています。



## 7 近年の福祉課題について

問 32 いわゆる、ひきこもりの方を支援するためどのような施策が重要だと思しますか。(あてはまるすべての番号に○)

令和2年度調査では、全体で「相談（面談や電話等を含む）」が 44.3%と最も高く、次いで「友達のような話し相手」が 35.0%、「就労支援」が 34.1%となっています。

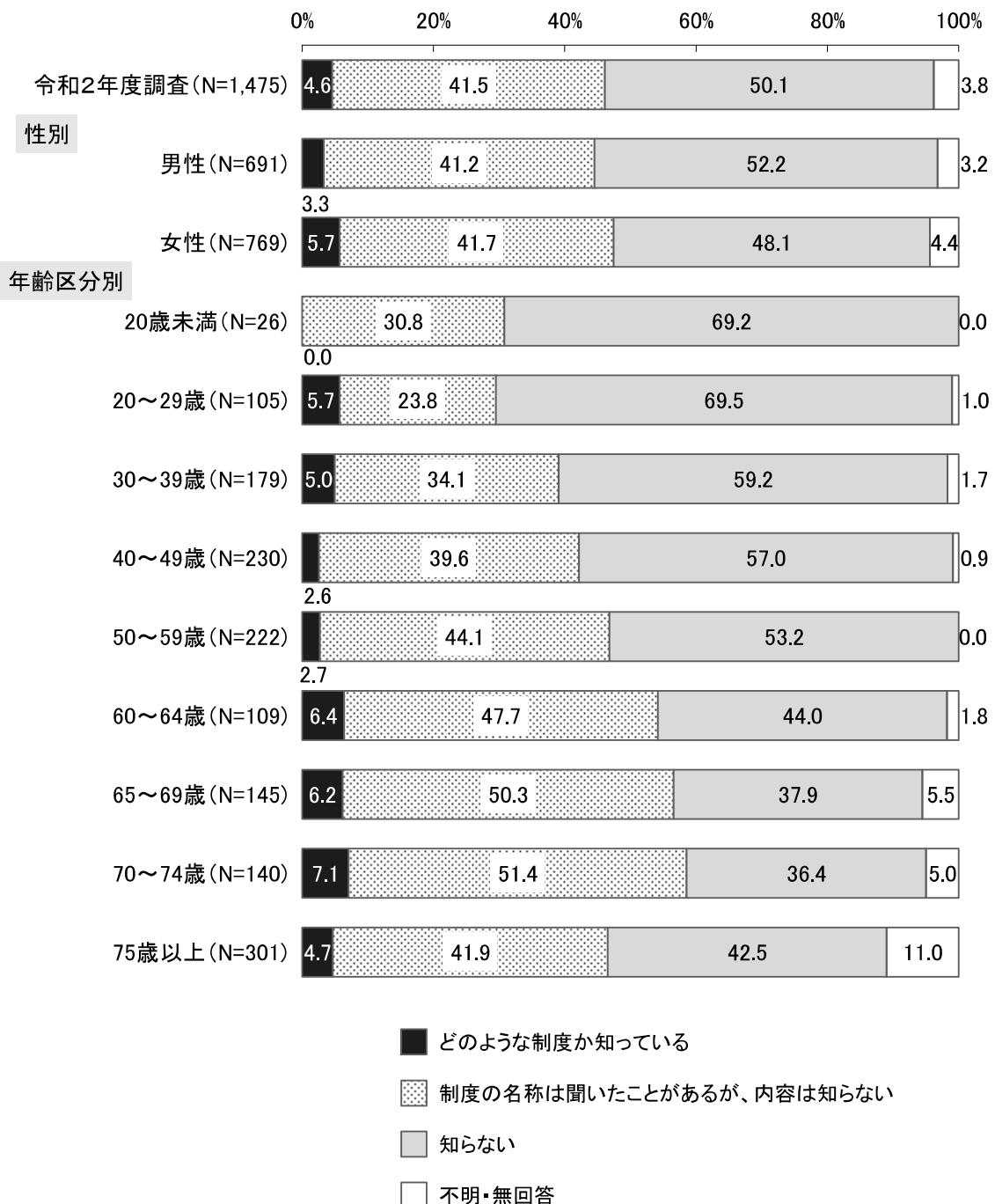


### 問33 あなたは、生活困窮者自立支援制度を知っていますか。（1つの番号に○）

令和2年度調査では、全体で「どのような制度か知っている」が4.6%、「制度の名称は聞いたことがあるが、内容は知らない」が41.5%、「知らない」が50.1%となっています。

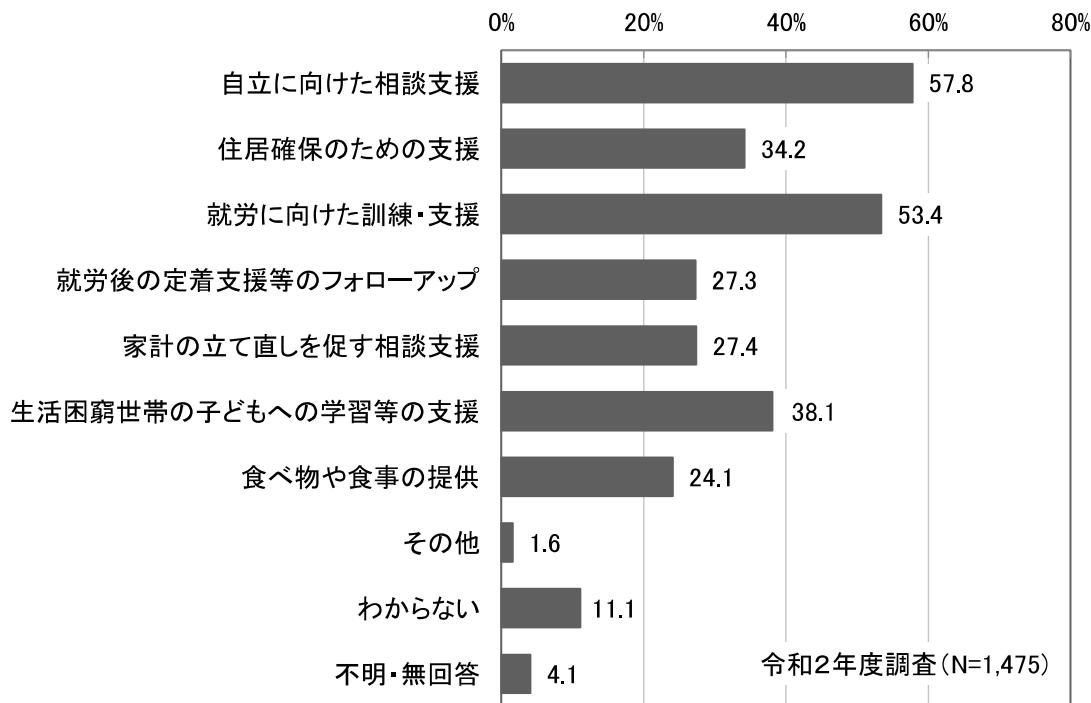
性別では、男性で「知らない」が52.2%と、女性と比べて4.1ポイント高くなっています。

年齢区分別では、70～74歳で「どのような制度か知っている」が、他の年代と比べて高くなっています。なお、20歳未満及び20～29歳で「知らない」が6割を超えていました。



問34 生活困窮者を支援するためにどのような施策が重要だと思いますか。  
(あてはまるすべての番号に○)

令和2年度調査では、全体で「自立に向けた相談支援」が57.8%と最も高く、次いで「就労に向けた訓練・支援」が53.4%、「生活困窮世帯の子どもへの学習等の支援」が38.1%となっています。

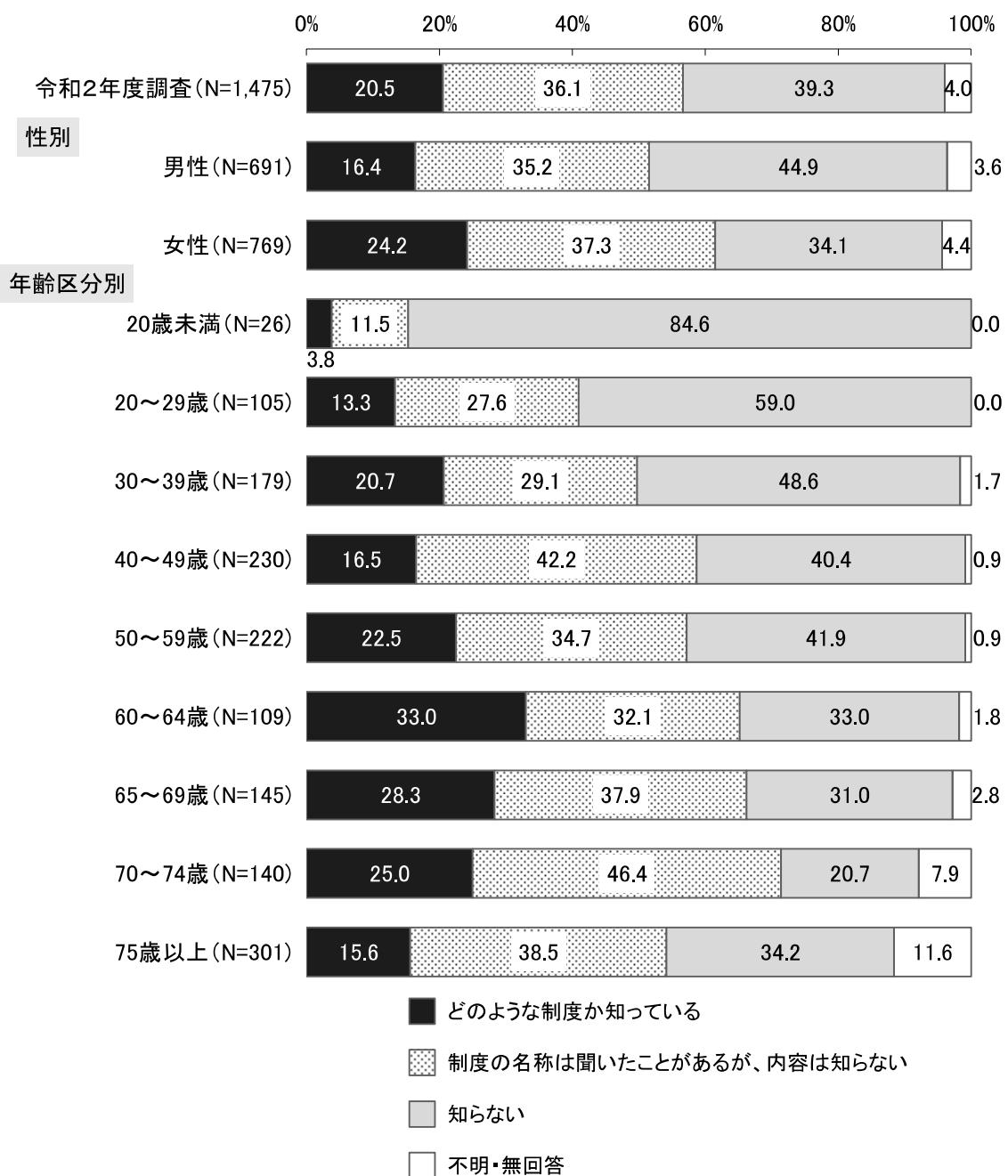


問35 判断能力が不十分な高齢者や障がいのある人の権利を守る「成年後見制度」についておたずねします。あなたは、成年後見制度を知っていますか。（1つの番号に○）

令和2年度調査では、全体で「どのような制度か知っている」が 20.5%、「制度の名称は聞いたことがあるが、内容は知らない」が 36.1%、「知らない」が 39.3%となっています。

性別では、男性で「知らない」が 44.9%と、女性と比べて 10.8 ポイント高くなっています。

年齢区分別では、20歳未満で「知らない」が、60～64歳で「どのような制度か知っている」が、他の年代と比べてそれぞれ高くなっています。



＜問35で「1.どのような制度か知っている」と回答した方に伺います＞

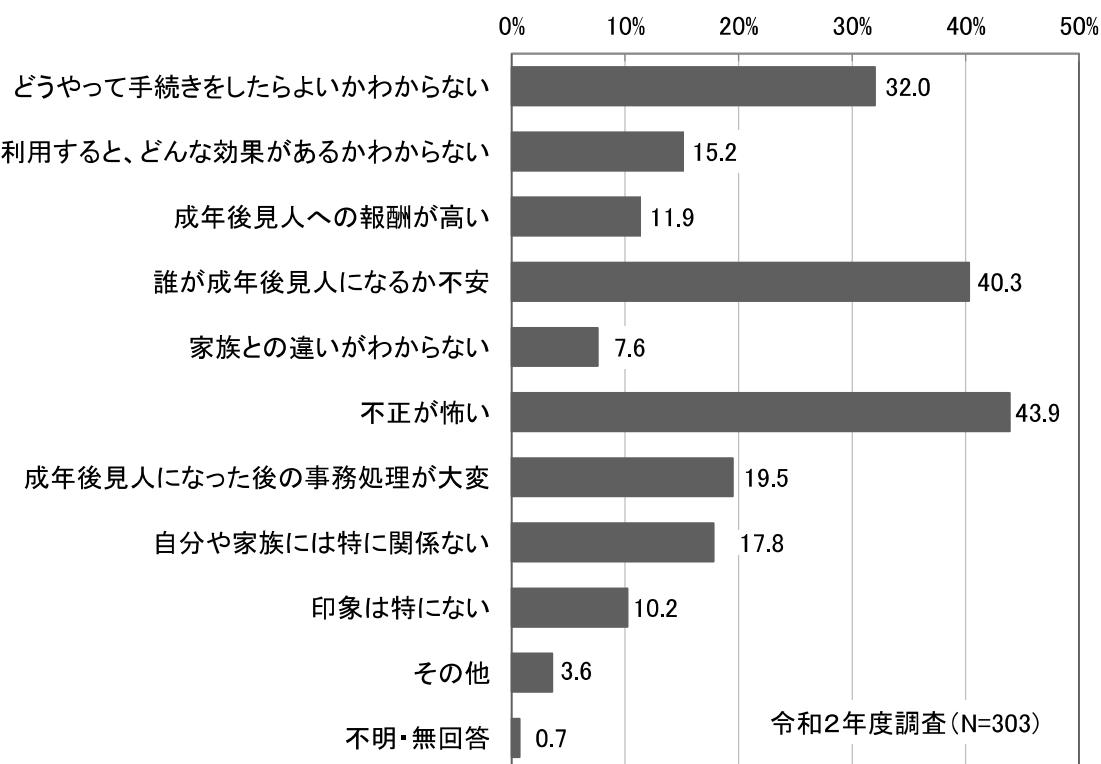
問35－1 成年後見制度について、どのような印象を持っていますか。

(あてはまるすべての番号に○)

令和2年度調査では、全体で「不正が怖い」が43.9%と最も高く、次いで「誰が成年後見人になるか不安」が40.3%、「どうやって手続きをしたらよいかわからない」が32.0%となっています。

性別では、女性で「自分や家族には特に関係ない」が20.4%と、男性と比べて6.2ポイント高くなっています。

年齢区別では、20～29歳で「印象は特にない」が、70～74歳で「自分や家族には特に関係ない」が、他の年代と比べてそれぞれ高くなっています。なお、50～59歳及び75歳以上で「どうやって手続きをしたらよいかわからない」が4割を超えています。



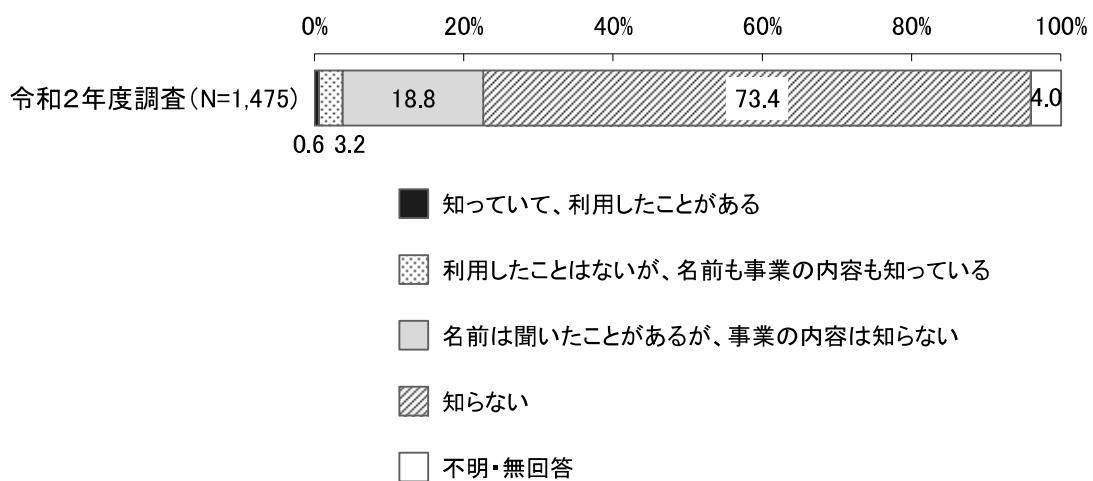
## ■クロス集計集

(単位 : %)

区分		どうやつて手続きをしたらよいかわからない	利用すると、どんな効果があるかわからない	成年後見人への報酬が高い	誰が成年後見人になるか不安	家族との違いがわからない	不正が怖い	成年後見人になった後の事務処理が大変	自分や家族には特に関係ない	印象は特にない	その他	不明・無回答
性別	男性 (N=113)	30.1	15.9	10.6	<b>42.5</b>	6.2	<b>45.1</b>	20.4	14.2	9.7	4.4	0.9
	女性 (N=186)	33.3	14.5	12.4	<b>39.2</b>	8.6	<b>43.5</b>	18.3	20.4	10.8	3.2	0.5
年齢区分別	20歳未満 (N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<b>100.0</b>	0.0	0.0	0.0	0.0
	20~29歳 (N=14)	14.3	0.0	0.0	<b>21.4</b>	0.0	14.3	7.1	7.1	<b>42.9</b>	7.1	0.0
	30~39歳 (N=37)	29.7	18.9	13.5	<b>32.4</b>	5.4	<b>37.8</b>	24.3	16.2	13.5	5.4	0.0
	40~49歳 (N=38)	21.1	13.2	10.5	<b>39.5</b>	5.3	<b>50.0</b>	10.5	5.3	23.7	2.6	0.0
	50~59歳 (N=50)	<b>44.0</b>	14.0	6.0	<b>46.0</b>	8.0	40.0	20.0	18.0	4.0	6.0	0.0
	60~64歳 (N=36)	27.8	8.3	19.4	<b>58.3</b>	8.3	<b>69.4</b>	30.6	13.9	2.8	0.0	0.0
	65~69歳 (N=41)	36.6	14.6	17.1	<b>48.8</b>	7.3	<b>53.7</b>	19.5	19.5	7.3	4.9	0.0
	70~74歳 (N=35)	25.7	17.1	8.6	<b>31.4</b>	17.1	<b>37.1</b>	14.3	<b>31.4</b>	8.6	0.0	2.9
	75歳以上 (N=47)	<b>40.4</b>	23.4	12.8	34.0	6.4	<b>36.2</b>	17.0	25.5	4.3	4.3	2.1

問 36 岡崎市では、市民の成年後見制度の利用に関する支援を行うために、「成年後見支援センター」を設置しています。あなたは、「成年後見支援センター」を知っていますか。（1つの番号に○）

令和2年度調査では、全体で「知らない」が73.4%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがあるが、事業の内容は知らない」が18.8%、「利用したことはないが、名前も事業の内容も知っている」が3.2%となっています。

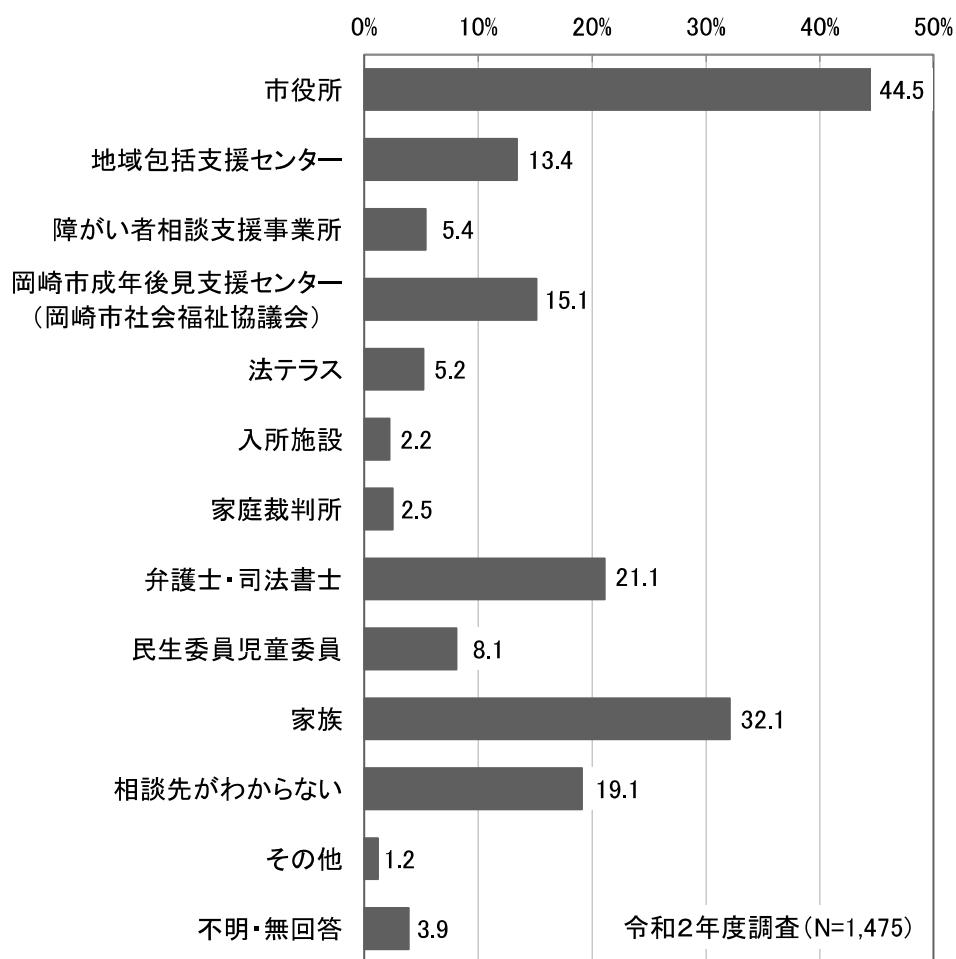


問 37 あなたの周りで財産の管理や契約等について、自分ひとりで判断することが難しい方がいた場合、どこに相談しますか。もしくは相談するよう伝えますか。(あてはまるすべての番号に○)

令和2年度調査では、全体で「市役所」が44.5%と最も高く、次いで「家族」が32.1%、「弁護士・司法書士」が21.1%となっています。

性別では、男性で「弁護士・司法書士」が25.2%と、女性と比べて8.0ポイント高くなっています。一方、女性は「家族」が35.6%と、男性と比べて7.2ポイント高くなっています。

年齢区分別では、20~29歳で「相談先がわからない」が、70~74歳で「地域包括支援センター」が、他の年代と比べてそれぞれ高くなっています。



## ■クロス集計集

(単位 : %)

区分		市役所	地域包括支援センター	障がい者相談支援事業所	岡崎市成年後見支援センター（岡崎市社会福祉協議会）	法テラス	入所施設	家庭裁判所	弁護士・司法書士	民生委員児童委員	家族	相談先がわからない	その他	不明・無回答
性別	男性 (N=691)	43.7	11.1	5.6	13.3	6.4	1.4	2.3	25.2	8.0	28.4	22.3	1.9	3.5
	女性 (N=769)	45.1	15.3	5.1	16.6	4.2	2.9	2.7	17.2	8.3	35.6	16.4	0.5	4.3
年齢区分別	20歳未満 (N=26)	26.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	19.2	0.0	50.0	26.9	0.0	0.0
	20～29歳 (N=105)	34.3	8.6	3.8	13.3	1.0	2.9	3.8	13.3	1.0	41.9	30.5	2.9	0.0
	30～39歳 (N=179)	46.9	9.5	5.6	11.2	7.3	1.1	1.1	23.5	4.5	35.2	22.3	1.7	2.2
	40～49歳 (N=230)	46.1	8.3	4.3	7.4	5.7	2.2	0.0	25.7	2.2	28.7	25.2	2.2	0.9
	50～59歳 (N=222)	55.4	12.6	5.9	14.9	7.7	2.3	1.4	23.0	6.8	24.8	24.3	1.4	0.0
	60～64歳 (N=109)	49.5	18.3	9.2	22.9	11.9	4.6	7.3	25.7	13.8	21.1	10.1	0.0	3.7
	65～69歳 (N=145)	45.5	17.9	6.2	22.1	6.2	3.4	3.4	28.3	11.7	26.2	15.9	1.4	3.4
	70～74歳 (N=140)	42.1	23.6	7.1	27.1	2.9	1.4	3.6	19.3	17.9	32.1	10.7	0.0	5.7
	75歳以上 (N=301)	37.9	14.3	4.0	13.6	2.0	1.7	3.3	12.6	11.0	40.5	13.0	0.3	11.3

## 8 地域福祉全般について

### 問38 あなたは、学区福祉委員会を知っていますか。（1つの番号に○）

本設問の選択肢は、以下のとおり合算して表記しています。

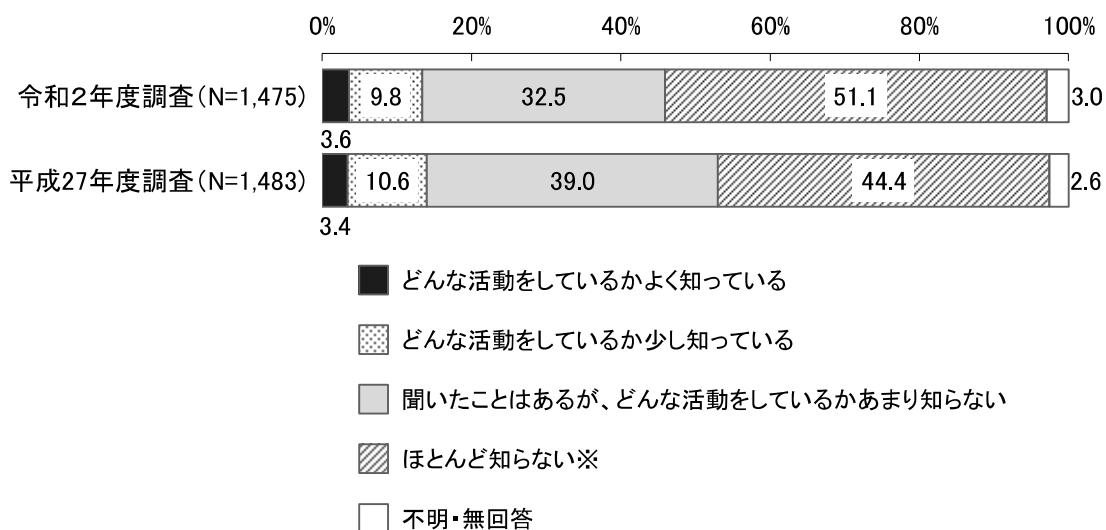
- |         |   |
|---------|---|
| 『知っている』 | …「どんな活動をしているかよく知っている」と「どんな活動をしているか少し知っている」の合算 |
| 『知らない』  | …「聞いたことはあるが、どんな活動をしているかあまり知らない」と「ほとんど知らない」の合算 |

令和2年度調査では、全体で『知っている』が13.4%、『知らない』が83.6%となっています。

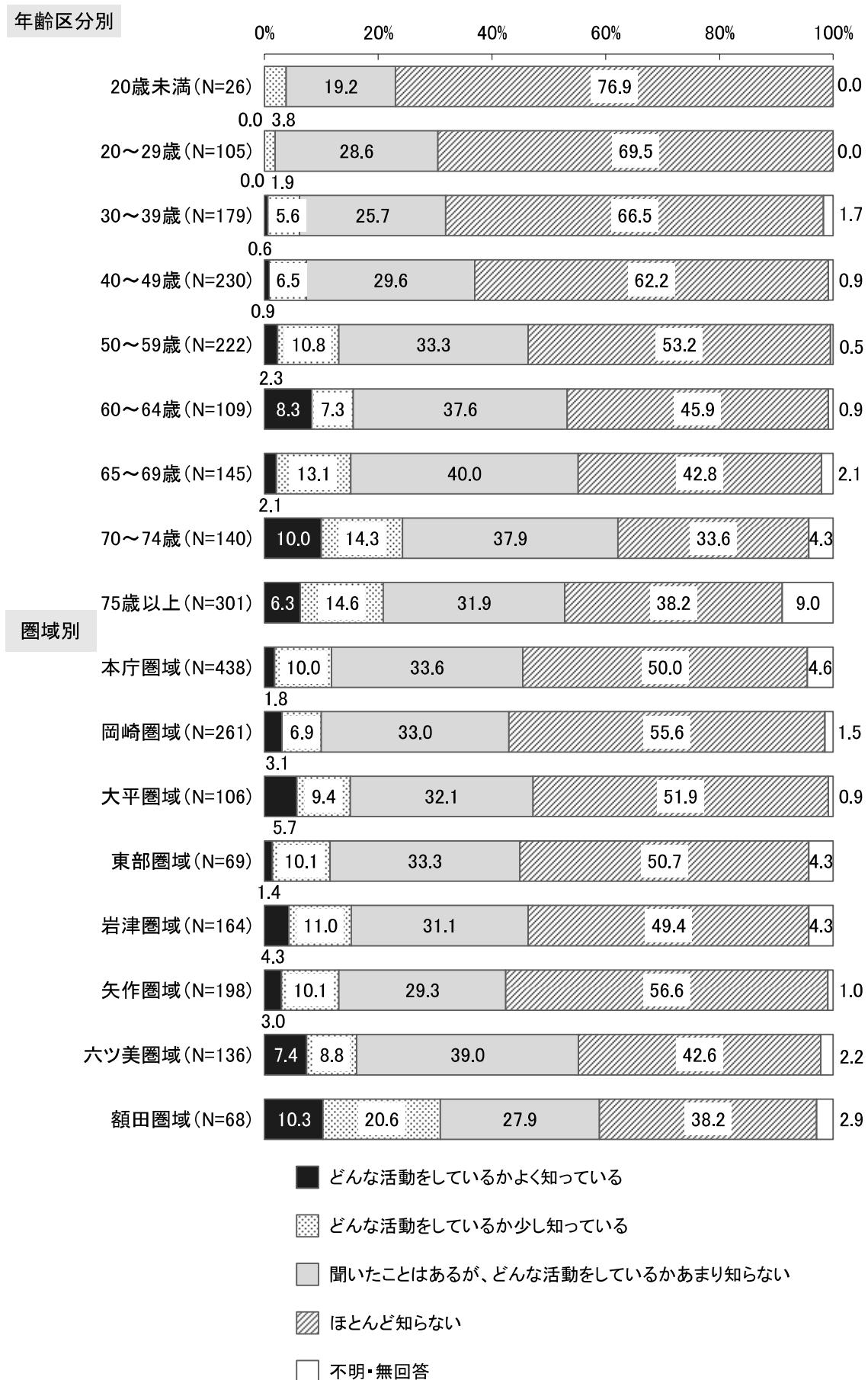
年齢区分別では、70～74歳及び75歳以上で『知っている』が、2割を超えていました。なお、いずれの年代でも『知らない』が7割を超えていました。

圏域別では、額田圏域で『知っている』が30.9%と、他の圏域と比べて高くなっています。

経年で比較すると、「ほとんど知らない」が令和2年度調査に51.1%と、平成27年度調査と比べて6.7ポイント高くなっています。

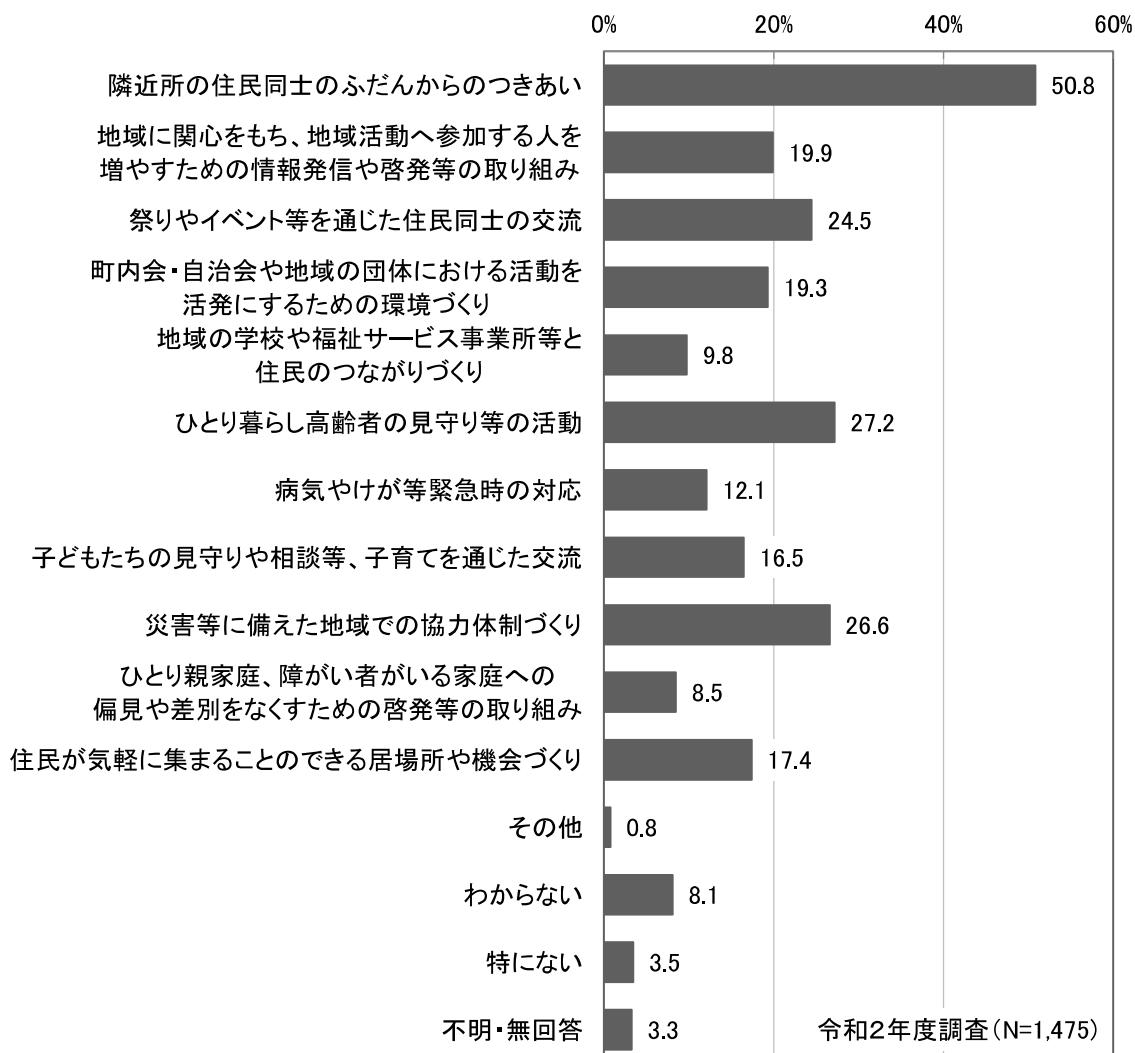


※選択肢について、令和2年度調査は「ほとんど知らない」となっていますが、平成27年度調査は「まったく知らない」です。



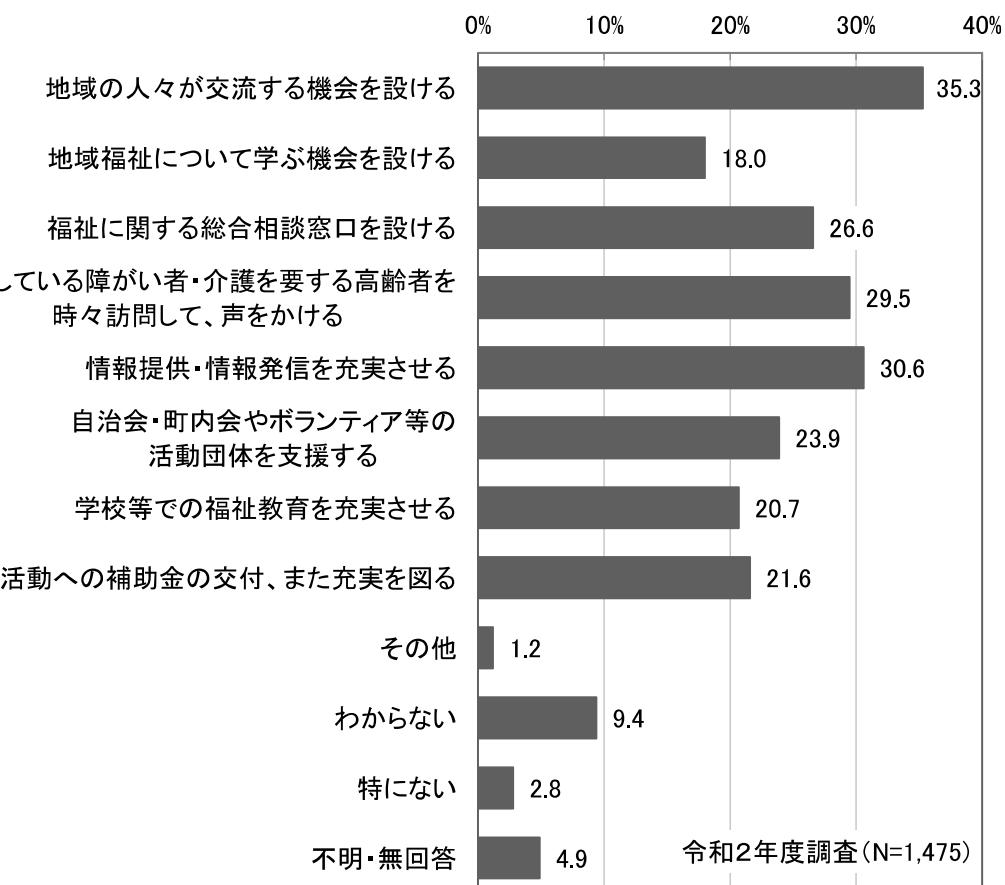
問39 地域に住む人同士が助け合い、支え合える地域づくりのために、今後地域としてどのようなことに取り組む必要があると思いますか。(3つまでの番号に○)

令和2年度調査では、全体で「隣近所の住民同士のふだんからのつきあい」が50.8%と最も高く、次いで「ひとり暮らし高齢者の見守り等の活動」が27.2%、「災害等に備えた地域での協力体制づくり」が26.6%となっています。



問40 地域に住む人同士が助け合い、支え合える地域づくりのために、今後、市ではどのような支援を行う必要があると思いますか。（3つまでの番号に○）

令和2年度調査では、全体で「地域の人々が交流する機会を設ける」が 35.3%と最も高く、次いで「情報提供・情報発信を充実させる」が 30.6%、「孤立している障がい者・介護を要する高齢者を時々訪問して、声をかける」が 29.5%となっています。



## 問41 あなたは、今の生活に満足していますか。（あてはまるすべての番号に○）

本設問の選択肢は、以下のとおり合算して表記しています。

『満足している』 …「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合算

『満足していない』 …「満足していない」と「どちらかといえば満足していない」の合算

令和2年度調査では、全体で『満足している』が77.1%、『満足していない』が13.2%、「どちらともいえない」が6.1%となっています。

性別では、女性で『満足している』が79.2%と、男性と比べて4.1ポイント高くなっています。

年齢区分では、いずれの年代でも『満足している』が、7割を超えています。なお、50～59歳で『満足していない』が、17.6%と他の年代と比べて高くなっています。

圏域別では、六ツ美圏域で『満足している』が84.6%と、他の圏域と比べて高くなっています。

